

トヨタWG共通EDI 運用ガイド

ガイド全編



2025/3/31

トヨタWG共通EDI推進協会

— 前回からの変更点 —

題目名	変更内容
発注	・よくあるお問い合わせの追加
中継	・よくあるお問い合わせの追加

— 目次 —

※項目をクリックすることで対象ページへ移動できます。

- 1. システム概要** 共通EDIの概要・構成、QRコード、
設定できる項目、使用項目の説明について
- 2. 発注元機能** 発注元の立場として、必要な設定及び
品番マスタ、内示の連携などの運用方法
- 3. 中継発注・支給機能** 商流上中継の立場として、必要な設定及び
品番マスタ、内示の連携などの運用方法
- 4. 納入指示機能** 納入先の立場として、必要な設定及び
納入指示の送信などの運用方法
- 5. 出荷機能** 出荷元の立場として、必要な設定及び
出荷などの運用方法

トヨタWG共通EDI 運用ガイド

システム概要



— 目次 —

※項目をクリックすることで対象ページへ移動できます。

1. 概要

トヨタWG共通EDIとは	P.2
トヨタWG共通EDIシステム	P.2
トヨタWG共通EDIでできること	P.2
システム環境	P.3
帳票	P.4
トヨタWG共通EDI全体図	P.4
ハードウェア構成	P.5

2. システム構成 P.6**3. 機能概要**

基本モジュール	P.7	～ P.8
オプションモジュール	P.8	～ P.9

4. 各QRのレイアウト

かんばん中央のQR	P.10	～ P.11
受注明細、納品書、受領書のQR	P.12	
便チケットのQR	P.13	

5. QRコード（DIコード）

DIコードとは	P.14
データサンプル	P.14
QRコードのセルサイズ	P.15

6. パスワードのルール P.16**7. システムパラメーター一覧** P.17 ～ P.26**8. データ項目定義** P.27 ～ P.34

1. 概要

<トヨタWG共通EDIとは>

トヨタWG共通EDI※1とは、トヨタグループ部品メーカーが共通利用できるようにトヨタワーキンググループ※2で検討・構築を行った仕組みです。
トヨタWG共通EDIでは、従来の多種多様な帳票やデータ形式を統一※3することで受発注業務を標準化し、加入しているどの企業ともEDIで取り引きすることができます。

※1 EDI…Electronic Data Interchange 電子データ交換の略。

※2 部品メーカー間部品調達の標準的な運用を提案・構築するために、2010年に結成されたワーキンググループです。

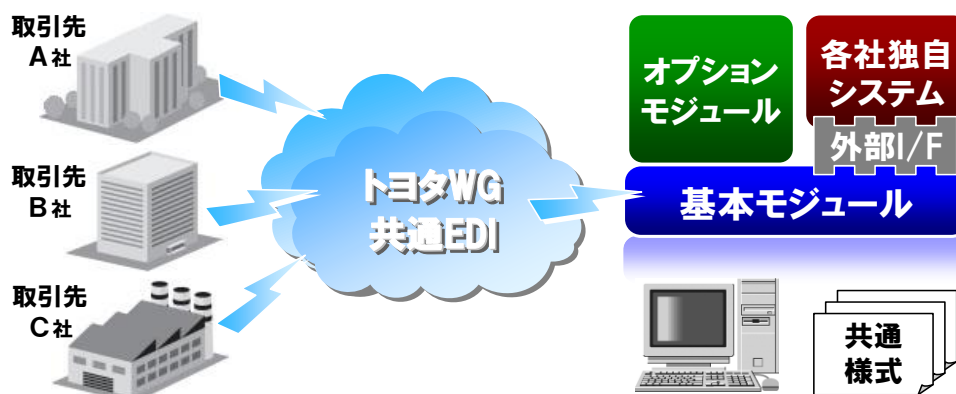
※3 標準的な帳票、交換するデータの形式は、JAMA（日本自動車工業会）、JAPIA（日本自動車部品工業会）の規格に従い、統一しています。

<トヨタWG共通EDIシステム>

トヨタWG共通EDI-ASPサービス※4として、

- ・ Webブラウザでの簡易受発注機能の『基本モジュール』
 - ・ かんばん納入指示機能／受注出荷機能を補う『オプションモジュール』
 - ・ 各社独自の基幹システムと連携して使用するための『外部インターフェイスモジュール』
- を用意しておりますので、御社の処理量・運用に合わせて、ご選択ください。

※4 異なるベンダーや異なる発注システムと、受注側各社の受注システムをつなぐインフラサービス。



<トヨタWG共通EDIでできること>

商法上の正式な発注(確定内示)をベースとして、納入指示を行います。
関連するすべての企業間で、内示情報やマスターなどのデータを連携するため、複雑な商流・物流の対応が可能です。

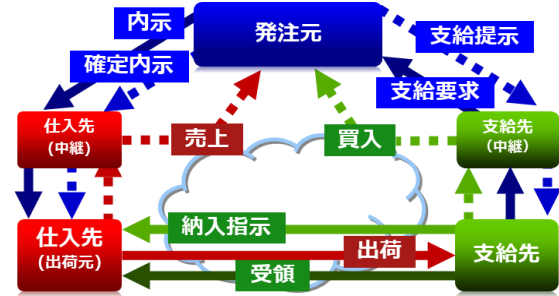
【自給】



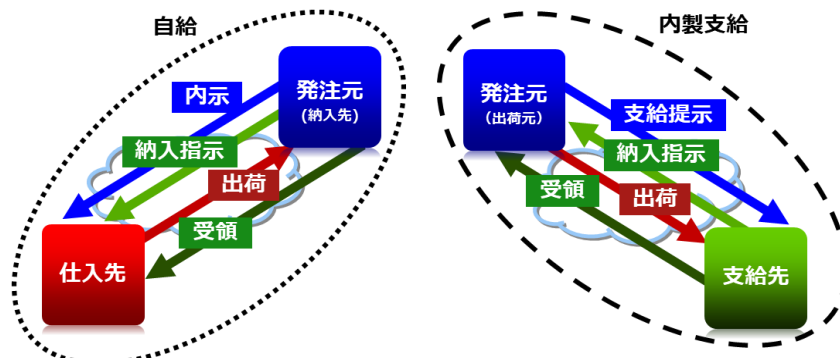
【内製支給】



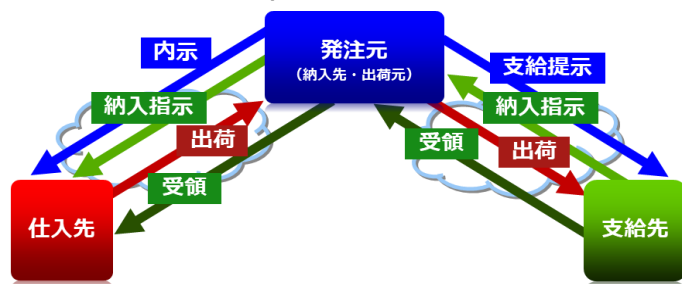
【直送支給(複数階層)】



【別送支給（在庫あり）】



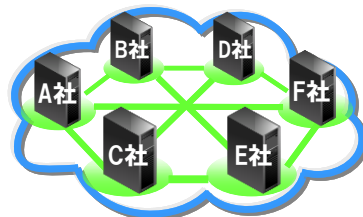
【別送支給（在庫なし）】



<システム環境>

1) データセンター／サーバ環境

データセンターに設置されたサーバを、企業ごとにご利用いただきます。データセンターは建物免震構造となっています。また、最大5日間自家発電で稼動可能な非常用発電設備や、認証システムおよび、24時間365日の有人監視によるセキュリティ対策で保護されています。統一企業コードとして「帝国データバンクコード」を使用し、商流・物流の関係に合わせて各サーバ間を接続します。



2) ネットワーク環境

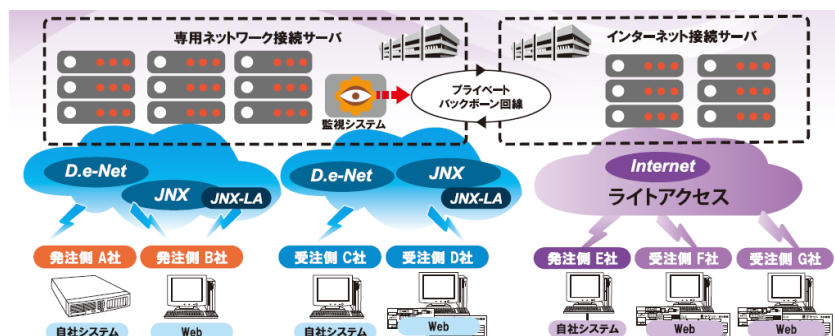
データセンターに設置する自社のサーバは、専用線用／一般インターネット用の2種類が選択可能で、どちらを使用するかによって使用するネットワーク回線が異なります。

【専用線】

- ・D.e-Net（オールトヨタ共有型のイントラネットサービス）
- ・JNX（自動車業界をはじめ産業界つなぐ業界共通ネットワーク）
- ・JNX-LA（インターネット経由でJNXに接続）

【一般インターネット回線】

- ・ライトアクセス（インターネット接続）



<帳票>

1) 取扱い帳票

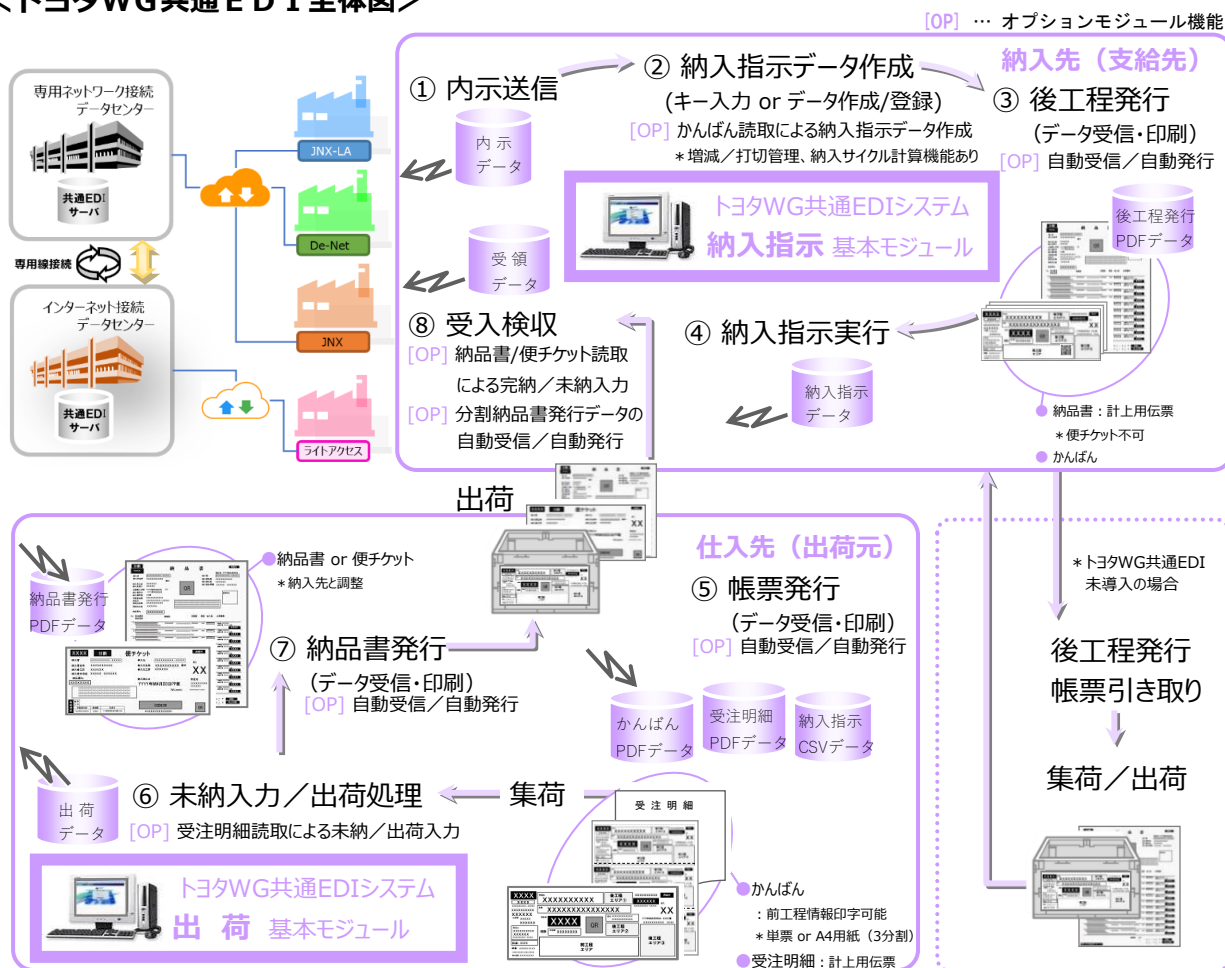
種類		前工程発行	後工程発行
かんばん	JAMA/JAPIA標準	○	○
受注明細	トヨタWG標準	○	○
JAMA納品書	JAMA/JAPIA標準	○	○
JAMA受領書	JAMA/JAPIA標準	○	○
便チケット	トヨタWG標準	○	×

2) かんばんイメージ



後工程エリア1～3【青枠】および 前工程エリア【赤枠】は、規定のレイアウトパターンより、自由に選択、ご利用いただくことができます。

<トヨタWG共通EDI全体図>



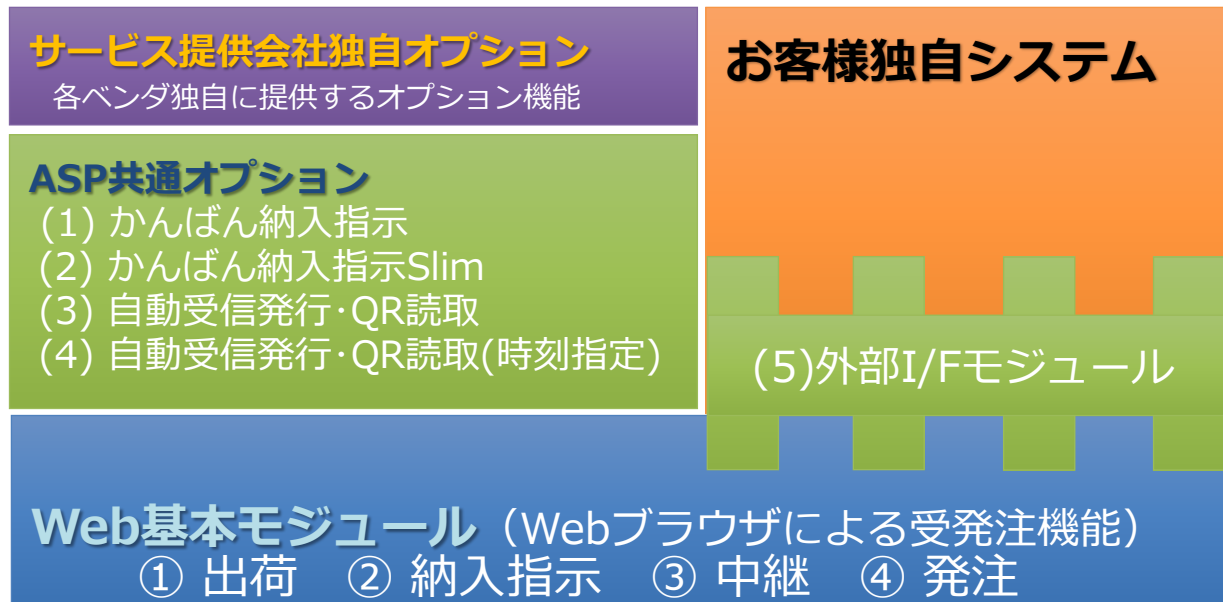
<ハードウェア構成>

機器	用途	機種／スペック／特徴など		
P C	インターネット接続 システム操作 周辺機器によって シリアルポートが必要	[CPU] インテル® Corei3以上 [メモリ] 4GB以上、 [ハードディスク] 20GB以上の空き [OS] Windows7,32bit以上 [その他] Internet Explorer 11.0 Adobe® Acrobat Reader® 10/11/DC (PDFバージョン1.4)		
プリンタ ※必須	帳票発行	普通紙かんばんサイズ／ 普通紙A4・3分割印刷		サーマル用紙印刷
	出荷側 ・かんばん ・納品書、受領書/便チケット ・受注明細書	レーザープリンタ ECOSYS LS-2100DNなど 		サーマルプリンタ B-857-TC35など 
	納入指示側 ・かんばん（後工程発行） ・納品書・受領書 （後工程発行）	発行速度：約3秒／枚（A4用紙） 耐久性：30万枚程度		発行速度：約3秒／枚 耐久性：サーマルヘッド50*程度 カッターユニット30万枚
リーダ ※オプション	帳票発行	少量処理	多機能小型リーダ	高速ホッパーリーダ
	・受注明細書読取 （未納／出荷処理）	タッチスキャナ	トビックス（株）社製 TX-3700シリーズ 	トビックス（株）社製 TX-3800シリーズ 
	・かんばん読取 （納入指示データ作成） ・納品書／便チケット 読取（受入検収）	■特徴 有線QRタッチスキャナ 読取証拠印字不可 安価に準備可能	■処理速度 約85枚／分 ■特徴 証拠印字、両面読取 かんばん・便チケットが 読取り可能	■処理速度 約200枚／分 ■特徴 かんばん読取専用、 両面読取、証拠スタンプ

2. システム構成

<トヨタWG共通EDIのシステム構成>

トヨタWG共通EDIは、基本モジュール、オプションモジュールで構成されています。
また、オプションモジュールには、各社独自システムとデータ連携する為のモジュールも用意されています。



3. 機能概要

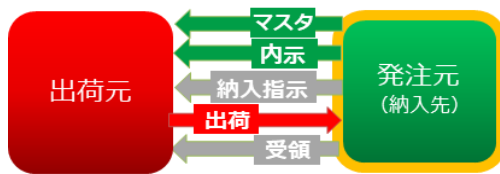
トヨタWG共通EDIの基本モジュール、オプションモジュールについての機能概要を記載します。

<基本モジュール>

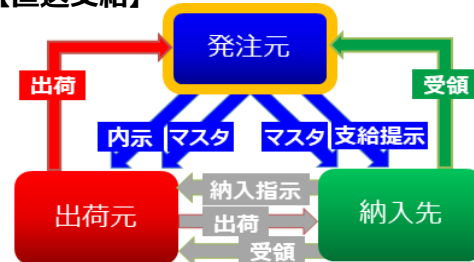
■発注

自社が自給や、直送支給などの発注元となる場合に利用するモジュールです。
自社から出荷元、納入先へマスタ、内示を送信し、各取引先が行った取引の実績を取得することが可能です。

【自給】



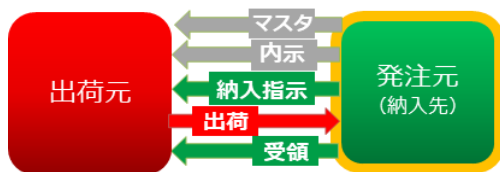
【直送支給】



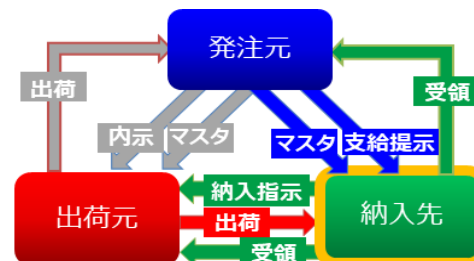
■納入指示

自社が納入先として出荷元に納入指示を行う立場の場合に使用するモジュールです。
発注元から受信したマスタ、内示情報を基に納入指示を送信します。
出荷元がトヨタWG共通EDIに加入済の場合は、出荷実績データを取得できます。
入荷時に受領処理を行うことで、出荷元と発注元などの商流上上位企業へ実績データを自動で送信します。

【自給】



【直送支給】



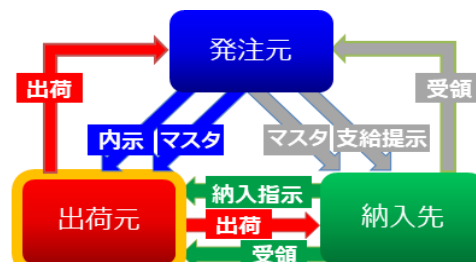
■出荷

自社が出荷元として出荷する立場の場合に使用するモジュールです。
発注元から受信したマスタ、内示情報を基に納入指示を受信し、かんばん、納品書を発行します。出荷処理を行うことで、実績を納入先、発注元などの商流上上位企業へ送信します。

【自給】



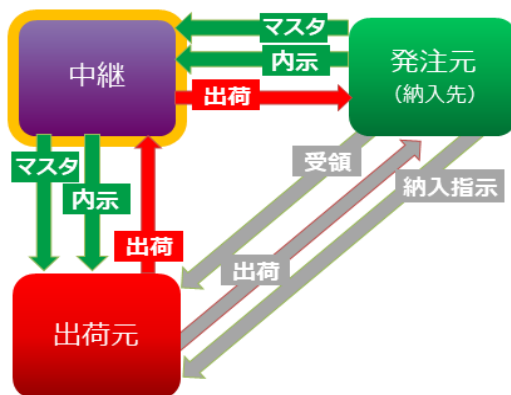
【直送支給】



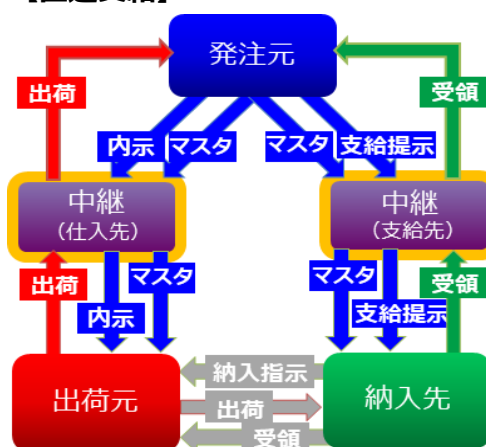
■ 中継

自社が商流のみで関係し、物流は商流上下位の企業が行う場合に使用するモジュールです。
発注元から受信したマスタ、内示情報を商流上下位の企業へ連携します。
商流上下位の企業が出荷、受領などの操作を行った場合に実績を受信します。
受信したデータは自動で発注元などの商流上上位の企業へ送信されます。

【自給】



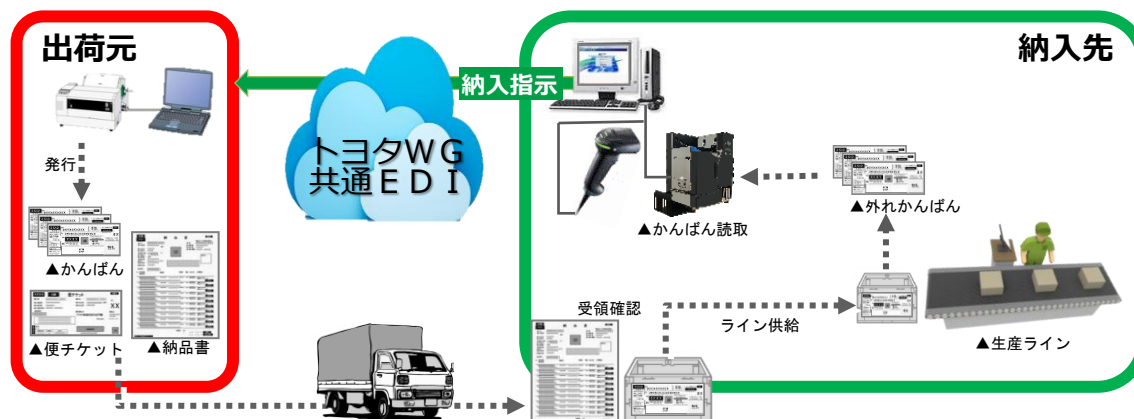
【直送支給】



<オプションモジュール>

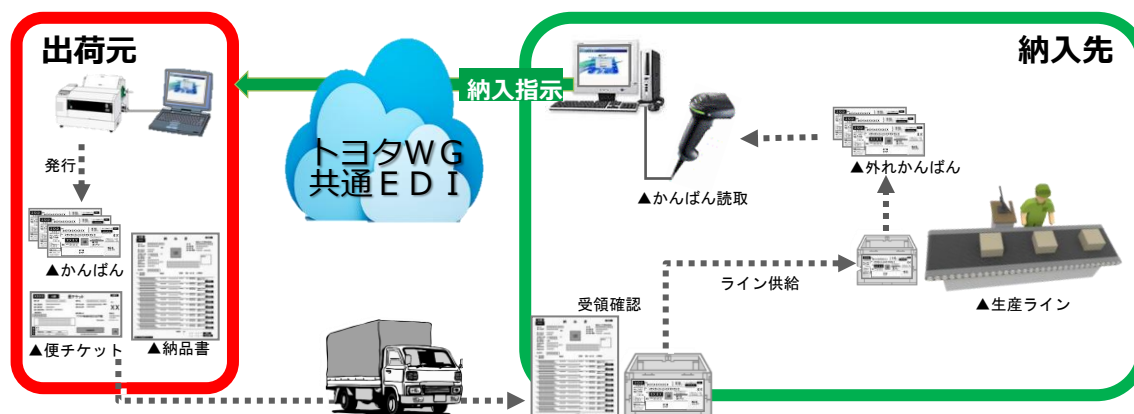
■ かんばん納入指示

生産ラインで使われた分だけ部品を手配（補充）するトヨタ生産方式を基盤とした、サイクル情報から納入指示日の算出や増減情報の制御などの機能があります。



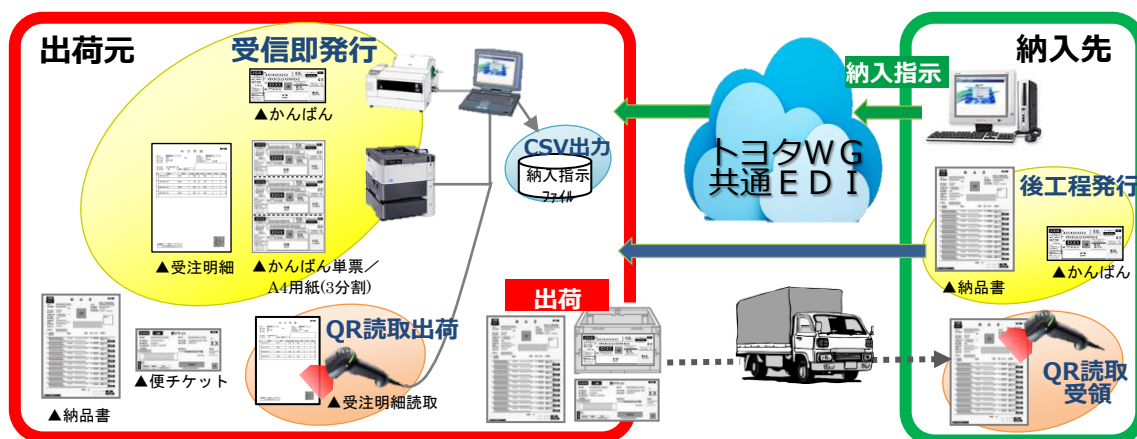
■ かんばん納入指示Slim

生産ラインで使われた分だけ部品を手配（補充）するトヨタ生産方式を基盤とした、ワンウェイかんばんによる簡易納入指示機能です。かんばんを読取した枚数分の納入指示を出荷元ごとに作成します。



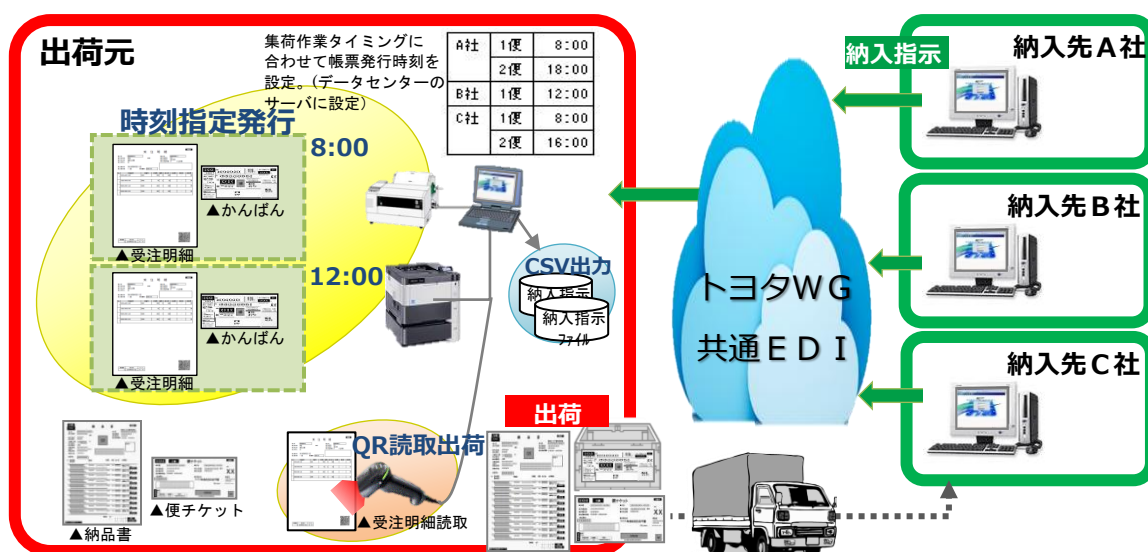
■ 自動受信発行・Q R 読取

トヨタWG共通EDIから納入指示データや帳票発行データを定期的に受信し、かんばん等の帳票を自社(前工程)で自動的に発行。納入指示のCSVファイルも保存します。
また、出荷対象の受注明細のQRコードを読取することで、出荷処理を行います。
後工程発行の場合は、納入先にてかんばん等の帳票を自動的に発行します。



■ 自動受信発行・Q R 読取（時刻指定）

トヨタWG共通EDIから納入先、便ごとに指定した時間に、かんばん、受注明細を自動的に発行します。同時に納入指示CSVファイルも保存します。
また、出荷対象の受注明細のQRコードを読取することで、出荷処理を行います。
後工程発行の場合は、納入先にてかんばん等の帳票を自動的に発行します。



4. 各QRのレイアウト

1) かんばん中央のQR

No	フィールド名	桁数	DIコード	項目の説明
1	出荷元（企業コード）	10	6V	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示すを表す企業コード（TDBコード） ※JAMAでは仕入先のDIとして定義
2	出荷元（工区コード）	5	11V	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード ※JAMAでは仕入先工区のDIとして定義
3	出荷場所	5	20L	出荷を行う企業の出荷場を表すコード
4	納入先（企業コード）	10	2L	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード（TDBコード）、工区コード 企業コード10桁（固定長）+工区を1項目とする
5	納入先（工区コード）	5		
6	納入場所	5	1L	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード（受入）
7	発注元（企業コード）	10	7V	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード（TDBコード）、工区コード 企業コード10桁（固定長）+工区を1項目とする
8	発注元（工区コード）	5		
9	帳票区分	2	9K	かんばん：“20” ※1項目に固定長（2+1+5）で入れる
10	適用業務区分	1		各社が個別業務の識別に使用 JAMA規定では、以下の通り。 "0": 適用業務の指定なし "1": 量産部品 "2": 生産試作部品 "3": KD部品 "4": 補修品・用品 "5": 直接材料 "6": 間接材／副資材 "7": 設備
11	定期／不定期区分	1		発注区分（特配・スボ等の区分） ※JAMA上は各社自由項目でMAX5桁
12	納入指示日	8	16D	納入先が指定する納入予定日
13	納入便	2	9D	納入先が指定する納入予定便
14	納品書番号	17	10K	納品書発行単位に付与する連番 納品書番号+ページNo+行No ※納品書番号のブランクは抜いて左詰め ※発行番号を使用する場合（ブランク以外）は発行番号
15	背番号	10	20P	後工程が品番の識別に使用する略番 ※JAMAの「部品番号識別-1」と同等
16	表示用品番	25	P	部品番号にハイフン等を付け、見易くしたもの。帳票に印字される。
17	収容数	8	Q	部品の収容数 ブランク（なし）なら納入数を印字する
18	打切り・設変区分	1	2P	部品発注の停止（打切り）の際に、その状態を表す区分 "0": 印字なし "1": "打切対象" "2": "打切中" "3": "打切最終" "A": "Build-Out Target" "B": "Build-Out Check" "C": "Build-Out Completion"

No	フィールド名	桁数	DIコード	項目の説明
19	かんばん識別番号	17	17K	かんばん連番
20	かんばんカーメーカーエリア（4） QRフリー項目	100	Z	各社の自由に設定 ※ただし全体でバージョンの範囲内の桁数までに収まること（セル サイズ＝0.33なら419、0.42なら221）

◆各社固有項目データ識別子（Z）の方法例

- a) 一般的な固定長で表現する。
- b) 独自ヘッダデータと、独自DIを付与する。

以下にb)の参考例を示す。

- ・独自ヘッダは、“;”（セミコロン）とする。
 - ・1A、2A、3Aは独自DIとし、データは10、20、30とする。
- 例） Z ; 1 A 1 0 ; 2 A 2 0 ; 3 A 3 0 GS （Z + ; + 独自DI + データ + GS）

2) 受注明細、納品書、受領書のQR

No	フィールド名	桁数	DIコード	項目の説明
見出し	1 出荷元（企業コード）	10	6V	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示すを表す企業コード（TDBコード） ※JAMAでは仕入先のDIとして定義
	2 出荷元（工区コード）	5	11V	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード ※JAMAでは仕入先工区のDIとして定義
	3 出荷場所	5	20L	出荷を行う企業の出荷場を表すコード
	4 納入先（企業コード）	10	2 L	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード（TDBコード）、工区コード 企業コード 1 0 桁（固定長） + 工区を 1 項目とする
	5 納入先（工区コード）	5		
	6 納入場所	5	1 L	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード（受入）
	7 発注元（企業コード）	10	7 V	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード（TDBコード）、工区コード 企業コード 1 0 桁（固定長） + 工区を 1 項目とする
	8 発注元（工区コード）	5		
	9 帳票区分	2	9K	納品書：“3 0”、受領書：“4 0”、“受注明細：B 0” ※ 1 項目に固定長（2 + 1 + 5）で入れる
	10 適用業務区分	1		各社が個別業務の識別に使用 JAMA規定では、以下の通り。 "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：K D 部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材 "7"：設備
	11 定期／不定期区分	1		発注区分（特配・スボ等の区分） ※JAMA上は各社自由項目でMAX 5 桁
	12 発行日	8	12D	発注情報を作成した日
	13 納入指示日	8	16D	納入先が指定する納入予定日
	14 納入便	2	9D	納入先が指定する納入予定便
	15 納品書番号	8	10K	納品書発行単位に付与する連番
明細	16 発行番号	17	K	ページNo + 行 ※発行番号を使用する場合（ブランク以外）は発行番号
	17 背番号	10	20P	後工程が品番の識別に使用する略番 ※JAMAの「部品番号識別 - 1」と同等
	18 表示用品番	25	P	部品番号にハイフン等を付け、見易くしたもの。帳票に印字される。 ※JAMAの「部品番号」と同等
	19 収容数	8	Q	部品の収容数
	20 納入個数	8	4Q	部品の納入数
	21 打ち切り・設変区分	1	2P	部品発注の停止（打ち切り）の際に、その状態を表す区分。 "0"：印字なし "1"："打ち対象" "2"："打ち中" "3"："打ち最終" "A"："Build-Out Target" "B"："Build-Out Check" "C"："Build-Out Completion"

3) 便チケットのQR

No	フィールド名	桁数	DIコード	項目の説明
1	出荷元（企業コード）	10	6V	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示すを表す企業コード（TDBコード） ※JAMAでは仕入先のDIとして定義
2	出荷元（工区コード）	5	11V	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード ※JAMAでは仕入先工区のDIとして定義
3	出荷場所	5	20L	出荷を行う企業の出荷場を表すコード
4	納入先（企業コード）	10	2L	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード（TDBコード）、工区コード 企業コード10桁（固定長）+工区を1項目とする
5	納入先（工区コード）	5		
6	納入場所	5	1L	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード（受入）
7	発注元（企業コード）	10	7V	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード（TDBコード）、工区コード 企業コード10桁（固定長）+工区を1項目とする
8	発注元（工区コード）	5		
9	帳票区分	2	9K	便チケット：“A0” ※1項目に固定長（2+1+5）で入れる
10	適用業務区分	1		各社が個別業務の識別に使用 JAMA規定では、以下の通り。 "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：KD部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材
11	定期／不定期区分	1		発注区分（特配・スボ等の区分） ※JAMA上は各社自由項目でMAX5桁
12	発行日	8	12D	発注情報を作成した日
13	納入指示日	8	16D	納入先が指定する納入予定日
14	納入便	2	9D	納入先が指定する納入予定便
15	納品書番号	8	10K	納品書発行単位に付与する連番
16	納入指示番号	17	K	便チケットNo

5. QRコード（DIコード）

トヨタWG共通EDIで使用しているQRコードの構成について説明します。

QRコードは可変長となっており、DIコード（データ識別子）を用いて、内容を表現しています。
文字コードは Shift-JIS を採用し、半角カナは1文字で1桁、漢字は1文字で2桁使用します。

<DIコードとは>

DIコードとは、JAMA※で定義されている、項目を識別するためのデータ識別子となります。
QRの各内容（品番情報など）の先頭にデータ識別子をもつことによって、その内容が
どの項目に該当するかを判断します。

※JAMA … 一般社団法人 日本自動車工業会

<データサンプル>

■ かんばんの中央

	① メッセージエンベロープ																																	
	② フォーマットエンベロープ																																	
	③ フォーマットデータ																																	
ASCII	[	)	>	RS	0	6	GS	6	V	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	GS	1	1	V	0	GS	Z	RS	EOT
HEX	5B	29	3E	1E	30	36	1D	36	56	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	1D	31	31	56	30	1D	5A	1E	04

① メッセージエンベロープ

メッセージの開始と終了を定義するもので、メッセージがルールに従いデータ識別子でフォーマットされていることを示します。

- ・メッセージヘッダ（開始文字）：[)>RS※（ASCII 4文字）
※「RS」はASCII レコード分離文字
- ・メッセージトレーラ（終了文字）：EOT（ASCII 伝送終了文字）

② フォーマットエンベロープ

所定フォーマット内のデータの開始と終了を定義し、エンベロープ内で使用するデータフォーマットを識別します。

- ・フォーマット識別番号：06GS※（データ識別子付きデータ）
※「GS」はASCII 要素分離文字
- ・フォーマットトレーラ（終了文字）：RS（ASCII レコード分離文字）

③ フォーマットデータ

②でフォーマット識別番号「06：データ識別子付きデータ」を使用する場合のフォーマットデータは、各データ要素の前に規定されたデータ識別子（DI）を付与すると共に、各データ要素の後にASCII 要素分離文字「GS」を付与します。
但し、データ要素がデータフォーマットの最後のフィールドである場合、ASCII 要素分離文字「GS」は付与しません。

例) 出荷元 (企業コード) を表す場合、以下となる

6	V	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	GS
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

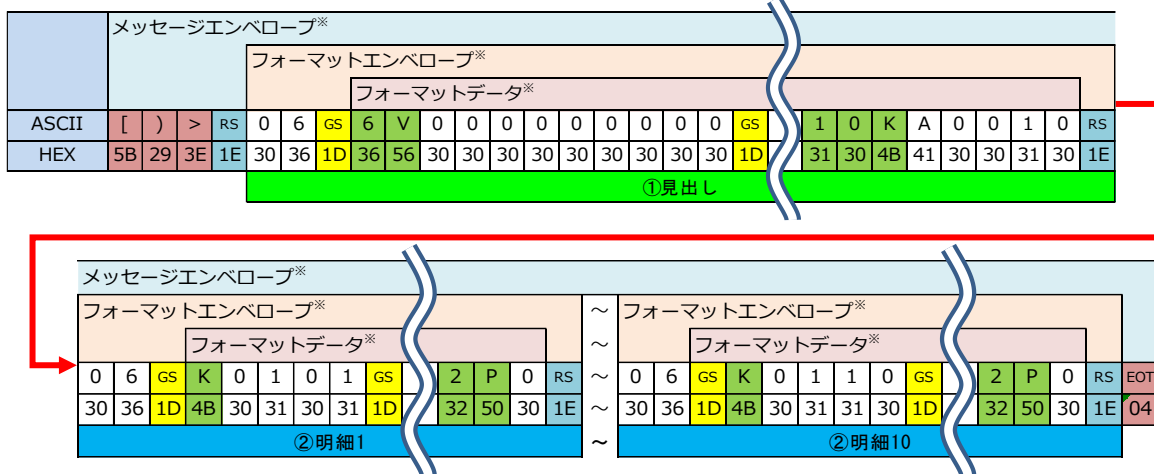
6V : 出荷元 (企業コード) のDIコード (データ識別子)

000000000 : 実際の値

GS : ASCII 要素分離文字

上記より、"出荷元 (企業コード) "の値は"000000000"と読取ることができます。

■受注明細、納品書、受領書



※メッセージエンベロープ、フォーマットエンベロープ、フォーマットデータの説明は"かんばんQR"をご確認下さい。

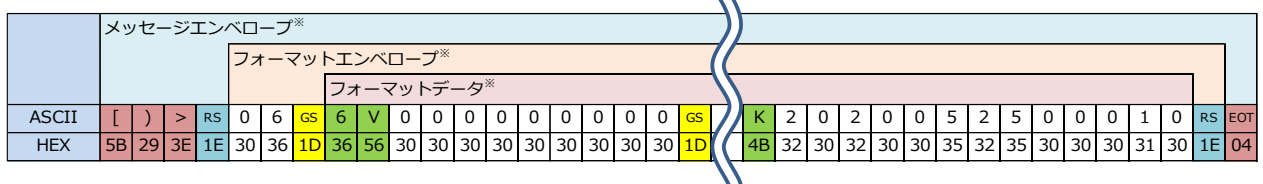
① 見出し

納入先、出荷元、納品書番号などの情報になります。

② 明細

品番毎の情報となります。対象の帳票に複数の品番が存在する場合、その品番数分フォーマットエンベロープが分かれて存在します。

■便チケット



※メッセージエンベロープ、フォーマットエンベロープ、フォーマットデータの説明は"かんばんQR"をご確認下さい。

便チケットの場合、品番情報を帳票に記載しないため、QRコード内にも品番の情報は存在しません。構成は「受注明細、納品書、受領書」の見出し部分にあたる項目と、便チケットNoになります。

<QRコードのセルサイズ>

セルサイズは、汚れや歪みなどに対する読取りの安定性からプリンタ毎に下記を推奨値としています。

- ・サーマルプリンタ (300dpi 相当) : 0.40mm/セル以上
- ・レーザープリンタ (600dpi 相当) : 0.29mm/セル以上

6. パスワードのルール

パスワードポリシーとして、以下を推奨しております。

※パスワードの運用ルールについて、ユーザー様にて決めていただきますようお願いいたします。

長さ	8桁以上																																
使用可能な文字	・ 半角英小文字 ('a'~'z') ・ 半角英大文字 ('A'~'Z') ・ 半角数字 ('0'~'9') ・ 半角記号 <table><tr><td>"</td><td>#</td><td>\$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td>=</td><td><</td></tr><tr><td>></td><td>(</td><td>)</td><td>[</td><td>]</td><td>{</td><td>}</td><td>?</td><td>@</td><td>^</td><td>_</td><td>`</td><td> </td><td>~</td><td>!</td><td></td></tr></table> 半角大文字、半角小文字、半角数字、半角記号を2つ以上組み合わせることをお勧めします。	"	#	\$	%	&	'	*	+	,	-	.	/	:	;	=	<	>	(	)	[	]	{	}	?	@	^	_	`		~	!	
"	#	\$	%	&	'	*	+	,	-	.	/	:	;	=	<																		
>	(	)	[	]	{	}	?	@	^	_	`		~	!																			
その他	ユーザIDと同じパスワードは設定しない																																
	90日でパスワードの変更を行う																																
	過去2回と同じパスワードを使用しない																																

— システムパラメーター一覧 目次 —

1) 一覧管理

① 各種画面で1ページに表示する行数	P.19
② メニューに通知する行数	P.19
③ 内示受信メッセージ過去の状況を表示する日数	P.19
④ 出荷側 出荷案内未送信の状況を表示する日数	P.19
⑤ 納入側 出荷案内未受信の状況を表示する日数	P.19
⑥ 出荷側 キャンセル状況を表示する日数	P.19
⑦ 出荷側 返品状況を表示する日数	P.20
⑧ マスタ連携の受信状況を表示する日数	P.20
⑨ 受領日のデフォルト値をこれ以前は前日とする時刻(HHMM)	P.20
⑩ 出荷日のデフォルト値をこれ以前は前日とする時刻(HHMM)	P.20
⑪ 受注、出荷案内（一括）画面で出荷実績ファイル取込ボタンを表示する	P.20
⑫ 受注、出荷案内（一括）画面でチェックボックスのを設定する	P.20
⑬ 受注、出荷案内（一括）画面で納入指示CSVの作成可否を設定する	P.21
⑭ 受注・出荷案内画面の出荷実績日のデフォルトを 「納入指示日と同一日で出荷」に設定する	P.21

2) 帳票管理

① かんばんパターン 現品票フリーエリア	P.21
② かんばんパターン 参考情報	P.21
③ かんばんパターン 後工程エリア	P.21
④ かんばん用紙設定	P.22
⑤ 仕切りかんばん出力定義値（Y:出力する N:出力しない）	P.22
⑥ 受注明細出力有無	P.22
⑦ 内示文言 1～6	P.22
⑧ 便チケット用紙設定	P.22
⑨ 前工程QR設定	P.23
⑩ かんばんの印字順 1～10	P.23
⑪ 後工程で帳票印刷を行わずに納入指示を実行する	P.23
⑫ 帳票レイアウトパターン	P.23
⑬ 0件受注の受注明細出力有無	P.23
⑭ かんばん単位情報対応	P.24
⑮ 前工程QRに枝番を指定した場合頭0埋めにする	P.24

3) 出力管理

- ① CSV入出力時に社内企業コードを優先する P.24
- ② CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない) ... P.24
- ③ XML出荷数変更区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない) ... P.24
- ④ CSV変更情報提供識別ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない) ... P.24
- ⑤ 受注明細の発行番号出力有無 P.24
- ⑥ CSVダウンロード全項目ダブルクォーテーション付与 P.25
- ⑦ 受入品番CSV帳票発行区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない) P.25
- ⑧ CSV別送支給区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない) P.25
- ⑨ XML別送支給区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない) P.25
- ⑩ CSV出荷品番マスタの納品書フリー明細ダウンロードフラグ
(Y:利用する N:利用しない) P.25

4) 発注管理

- ① 納品書番号の自動採番 P.26
- ② 外部I/F納番指定の許可 P.26
- ③ 内示・支給スルー区分 P.26
- ④ 納入指示送受信時の商流情報チェック P.26
- ⑤ 中継実績の受入・物流情報復元 P.26
- ⑥ マスタの自動連携 P.26

7. システムパラメーター一覧

トヨタWG共通EDIで変更できる設定を一覧で記載します。

1) 一覧管理

① 各種画面で1ページに表示する行数

説明	各種画面で1ページに表示可能な件数を設定します。
設定できる値	5 : 5行 / 10 : 10行 / 20 : 20行 / 50 : 50行 / 100 : 100行
初期値	20 (20行)

② メニューに通知する行数

説明	TOP画面に通知される伝票未発行等の情報の表示可能件数を設定します。
設定できる値	1~5 (件) ※推奨
初期値	3 (3件)

③ 内示受信メッセージ過去の状況を表示する日数

説明	内示情報を受信すると、TOP画面に内示受信メッセージを表示します。 そのメッセージを過去何日分まで表示するかを設定します。
設定できる値	1~5 (日) ※推奨
初期値	3 (3日)

④ 出荷側 出荷案内未送信の状況を表示する日数

説明	納入日が当日以前の場合に、TOP画面に出荷案内未送信メッセージを表示します。 そのメッセージを過去何日分まで表示するかを設定します。
設定できる値	1~5 (日) ※推奨
初期値	3 (3日)

⑤ 納入側 出荷案内未受信の状況を表示する日数

説明	納入日が当日以前の場合に、TOP画面に出荷案内未受信メッセージを表示します。 そのメッセージを過去何日分まで表示するかを設定します。
設定できる値	1~5 (日) ※推奨
初期値	3 (3日)

⑥ 出荷側 キャンセル状況を表示する日数

説明	受注キャンセルがあった場合に、TOP画面にメッセージを表示します。 そのメッセージを何日前の納入日分まで表示するかを設定します。
設定できる値	1~5 (日) ※推奨
初期値	3 (3日)

⑦ 出荷側 返品状況を表示する日数	
説明	納入先より返品通知があった場合に、TOP画面にメッセージを表示します。 そのメッセージを何日前の納入日分まで表示するかを設定します。
設定できる値	1~5（日）※推奨
初期値	3（3日）
⑧ マスタ連携の受信状況を表示する日数	
説明	品番マスタを受信した場合に、TOP画面にメッセージを表示します。 そのメッセージを何日前の受信分まで表示するかを設定します。
設定できる値	1~5（日）※推奨
初期値	3（3日）
⑨ 受領日のデフォルト値をこれ以前は前日とする時刻(HHMM)	
説明	受領処理画面の受領日には当日の日付がデフォルトでセットされています。 その日付を更新する時刻を設定します。
設定できる値	HHMM（時刻4桁） 例）"0800"と指定すると、8：00までは前日の日付がデフォルトでセットされます。
初期値	0000（午前0時）
⑩ 出荷日のデフォルト値をこれ以前は前日とする時刻(HHMM)	
説明	出荷処理画面の出荷実績日には当日の日付がデフォルトでセットされています。 その日付を更新する時刻を設定します。
設定できる値	HHMM（時刻4桁） 例）"0800"と指定すると、8：00までは前日の日付がデフォルトでセットされます。
初期値	0000（午前0時）
⑪ 受注、出荷案内（一括）画面で出荷実績ファイル取込ボタンを表示する	
説明	受注・出荷案内(一括)画面に出荷実績ファイル取込ボタンを表示するかどうかを設定します。 表示することで、CSVを使用して出荷処理を行うことができます。
設定できる値	Y：表示する / N：表示しない
初期値	N（表示しない）
⑫ 受注、出荷案内（一括）画面でチェックボックスの初期値を設定する	
説明	出荷案内を行う際は、対象データのチェックボックスにチェックを入れてから出荷処理を行います。ここでは、受注・出荷案内（一括）画面において、初期値としてチェックボックスにチェックを入れた状態にするかどうかを設定します。
設定できる値	Y：チェックあり / N：チェックなし
初期値	N（チェックなし）

⑬ 受注、出荷案内（一括）画面で納入指示CSVの作成可否を設定する	
説明	受注・出荷案内（一括）画面でデータ一括作成を行った際に、納入指示CSVファイルを作成するかどうかを設定します。 オプションの自動発行モジュールを利用し、自動で納入指示CSVを出力する場合、"Y：作成する"に設定が必要となります。
設定できる値	Y：作成する / N：作成しない
初期値	N (作成しない)
⑭ 受注・出荷案内画面の出荷実績日のデフォルトを「納入指示日と同一日で出荷」に設定する	
説明	出荷案内を行う際に、出荷実績日を"納入指示日と同一日"とするか、"処理当日の日付"にするかを選択できます。ここではどちらをデフォルト値とするかを設定します。
設定できる値	Y：納入指示日と同一日で出荷 / N：出荷実績日を指定
初期値	N (出荷実績日を指定)
2) 帳票管理	
① かんばんパターン 現品票フリーエリア	
説明	納入先にて、かんばん内の後工程エリアである"現品票フリーエリア"のレイアウトパターンを設定します。
設定できる値	01：搬入コース・MROS・分割No / 02：搬入コース+2項目 / 03：自由設定2段 / 04：自由設定3段 / 05：自由設定1段 / 06：輸出用国内調達2段 / 07：輸出用国内調達1段 / 08：輸出品対応 / 09：鋼材対応
初期値	01 (搬入コース・MROS・分割No)
② かんばんパターン 参考情報	
説明	納入先にて、かんばん内の後工程エリアである"参考情報"のレイアウトパターンを設定します。
設定できる値	01：3行 / 02：1行 / 03：5行 / 04：海外対応（文字のみ） / 05：バーコード / 06：企業シリアルNo.（3行） / 07：企業シリアルNo.（1行） / 08：企業シリアルNo.（5行） / 09：企業シリアルNo.（バーコード）
初期値	01 (3行)
③ かんばんパターン 後工程エリア	
説明	納入先にて、かんばん内の後工程エリアである"後工程エリア"のレイアウトパターンを設定します。
設定できる値	01：文字のみ / 02：QR付き / 03：文字のみ10行 / 04：バーコード / 05：海外対応（4行+QR） / 06：海外対応（バーコード+QR） / 07：海外対応（3行+QR） / 08：輸出品対応（4行+QR） / 09：輸出品対応（バーコード+QR）
初期値	01 (文字のみ)

④ かんばん用紙設定	
説明	かんばんを印刷する用紙サイズを設定します。 前工程発行の場合、出荷元にて設定を行います。 後工程発行の場合、納入先にて設定を行います。
設定できる値	1 : かんばんサイズ / 2 : A4(3枚) / 3 : A4(3枚ソート実行)
初期値	1 (かんばんサイズ)
⑤ 仕切りかんばん出力定義値 (Y : 出力する N : 出力しない)	
説明	サーマルプリンタを使用する場合に、仕切りかんばんを印刷するかどうかを設定します。 前工程発行の場合、出荷元にて設定を行います。 後工程発行の場合、納入先にて設定を行います。
設定できる値	Y : 出力する / N : 出力しない
初期値	Y (出力する)
⑥ 受注明細出力有無	
説明	受注明細を印刷するかどうかを設定します。 前工程発行の場合、出荷元にて設定を行います。 後工程発行の場合、納入先にて設定を行います。
設定できる値	0 : 印字しない / 1 : 印字する
初期値	1 (印字する)
⑦ 内示文言 1～6	
説明	発注元にて内示情報に記載したい補足事項などがある場合に設定します。 設定した文言は取引先の内示CSVデータ ("文言 1"～"文言 6") および内示PDFファイル内に記載されます。
設定できる値	(任意の文字)
初期値	(空白)
⑧ 便チケット用紙設定	
説明	便チケットを印刷する用紙サイズを設定します。 前工程発行の場合、出荷元にて設定を行います。 後工程発行の場合、納入先にて設定を行います。
設定できる値	1 : E-かんばんサイズ(100mm×200mm) / 2 : A5(148mm×210mm) / 3 : A4(3枚 99mm×210mm) / 4 : かんばんサイズ(85mm×210mm)
初期値	1 (E-かんばんサイズ)

⑨ 前工程QR設定	
説明	全品番に対して、かんばんの前工程エリアQR、バーコードに同じ値を登録したい場合に設定します。 前工程発行の場合、出荷元にて設定を行います。 後工程発行の場合、納入先にて設定を行います。 ※品番毎に前工程エリアQR、バーコードの設定がある場合でも、こちらの設定が優先となります。
設定できる値	(任意文字列)
初期値	(ブランク)
⑩ かんばんの印字順 1 ～ 1 0	
説明	システムパラメータの「かんばん印字順」と出荷品番マスタの「発行順情報」を使用することで、かんばんを印字する順序を設定することができます。 出荷品番マスタの「発行順情報1」を使用する場合は、「かんばんの印字順1」の設定をします。
設定できる値	0：対象外 / 1：昇順 / 2：降順
初期値	0 (対象外)
⑪ 後工程で帳票印刷を行わずに納入指示を実行する	
説明	後工程発行でWebから納入指示を送信する場合に、Webから帳票印刷を行うかどうかを設定します。 オプションの自動発行モジュールを利用し、自動で帳票を発行する場合は、「Y：印刷が不要」に設定することで、納入指示を送信時に、自動で発行されます。
設定できる値	Y：印刷が不要 / N：印刷が必要
初期値	N (印刷が必要)
⑫ 帳票レイアウトパターン	
説明	発行する帳票のレイアウトパターンを設定します。
設定できる値	1：旧レイアウト / 2：新レイアウト
初期値	2 (新レイアウト)
⑬ 0件受注の受注明細出力有無	
説明	0件納入指示を受信した場合に、受注明細出力を行うかどうかを設定します。
設定できる値	0：印字しない / 1：印字する
初期値	1 (印字する)

⑭ かんばん単位情報対応	
説明	出荷元にて、かんばん1枚単位に個別の情報を印字する対応を行うかどうかを設定します。 納入先より指示があった場合に設定を行ってください。
設定できる値	Y：行う / N：行わない
初期値	N (行わない)
⑮ 前工程QRに枝番を指定した場合頭0埋めにする	
説明	前工程QRに枝番を指定した場合頭0埋めを行うかどうかを設定します。
設定できる値	Y：行う / N：行わない
初期値	N (行わない)
3) 出力管理	
① CSV入出力時に社内企業コードを優先する	
説明	社内企業コードを設定している場合、CSV入出力時には、統一企業コードではなく社内企業コードを優先するように設定できます。
設定できる値	Y：使用する / N：使用しない
初期値	Y (使用する)
② CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ(Y：利用する N：利用しない)	
説明	品番マスタのCSV出力時に、出荷数変更区分の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y：利用する / N：利用しない
初期値	Y (利用する)
③ XML出荷数変更区分ダウンロードフラグ(Y：利用する N：利用しない)	
説明	外部I/Fモジュールを使用する場合に、品番マスタのXML出力時に、出荷数変更区分の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y：利用する / N：利用しない
初期値	N (利用しない)
④ CSV変更情報提供識別ダウンロードフラグ(Y：利用する N：利用しない)	
説明	納入指示CSV出力時に、変更情報識別の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y：利用する / N：利用しない
初期値	Y (利用する)
⑤ 受注明細の発行番号出力有無	
説明	受注明細出力時に、発行番号の出力を行うかどうかを選択できます。
設定できる値	Y：印字する / N：印字しない
初期値	Y (印字する)

⑥ CSVダウンロード全項目ダブルクォーテーション付与	
説明	CSV出力時に、全項目をダブルクォーテーション付与するかどうかを設定できます。
設定できる値	Y : 利用する / N : 利用しない
初期値	Y (利用する)
⑦ 受入品番CSV帳票発行区分ダウンロードフラグ(Y : 利用する N : 利用しない)	
説明	受入品番マスタのCSV出力時に、帳票発行区分の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y : 利用する / N : 利用しない
初期値	N (利用しない)
⑧ CSV別送支給区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない)	
説明	品番マスタのCSV出力時に、別送支給区分の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y : 利用する / N : 利用しない
初期値	N (利用しない)
⑨ XML別送支給区分ダウンロードフラグ(Y:利用する N:利用しない)	
説明	品番マスタのXML出力時に、別送支給区分の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y : 利用する / N : 利用しない
初期値	N (利用しない)
⑩ CSV出荷品番マスタの納品書フリー明細ダウンロードフラグ (Y:利用する N:利用しない)	
説明	出荷品番マスタのCSV出力時に、納品書フリー明細の情報を出力するかを設定できます。
設定できる値	Y : 利用する / N : 利用しない
初期値	N (利用しない)

4) 発注管理

① 納品書番号の自動採番

説明	納入指示作成時に、納品書番号をシステムで自動的に採番するかどうかを設定します。 自動的に採番を実施しない場合、Web画面から納入指示の新規登録及びオプションのかんばん納入指示を行うことはできません。
設定できる値	Y：実施する / N：実施しない
初期値	Y (実施する)

② 外部I/F納番指定の許可

説明	納品書番号の自動採番が「Y：実施する」に設定されていても、外部I/Fモジュールから納品書番号を指定しての納入指示送信を許可するかどうか設定できます。
設定できる値	Y：許可する / N：許可しない
初期値	N (許可しない)

③ 内示・支給スルー区分

説明	中継発注を利用する場合、中継先へ内示情報を自動で送信することができます。 中継の企業にて内示情報を受信する前に、中継先へ品番マスタが連携済みであることが送信の条件となります。
設定できる値	01：スルーしない / 02：スルーする
初期値	01 (スルーしない)

④ 納入指示送受信時の商流情報チェック

説明	納入指示の送受信時に、複数の商流が混在していないかのチェックを実施するかを選択できます。
設定できる値	01：無効 / 02：有効
初期値	01 (無効)

⑤ 中継実績の受入・物流情報復元

説明	中継の企業にて、実績の受信時に受入・物流情報を内示情報を基に、復元を行うかどうかを設定できます。
設定できる値	Y：行う / N：行わない
初期値	N (行わない)

⑥ マスタの自動連携

説明	中継発注を利用する場合、一度マスタ連携を行っている品番マスタの受信時に自動で連携を行うかどうかを設定できます。
設定できる値	N：自動連携しない / Y：自動連携する / U：更新のみ自動連携する ※ U：更新のみ自動連携するは同一キーで変更があった場合のみ更新する。
初期値	N (自動連携しない)

8. データ項目定義

トヨタWG共通EDIで使用している項目について一覧で記載します。

◎：必須 ○：省略可 -：項目なし

No.	項目名称	項目定義	管理企業	登録例	入出力ファイル						
					品番マスタ	注文(内示)	納入指示	品番マスタからの変更	納期回答	出荷実績	受領実績
1	情報区分コード	各情報を業務分類と購入／支給識別で識別するコード。 1～3桁目：業務分類 4桁目：購入／支給識別									
		注文	"6111" (仮内示) "6121" (確定内示) "6112" (支給提示) "6122" (支給要求)	発注元	"6121"	-	◎	-	-	-	-
		納入指示	"6201" (納入指示情報(自給)) "6202" (納入指示情報(支給))	納入先	"6201"	-	-	◎	-	-	-
		納期回答	"7121" (納入進捗回答情報)	出荷元	"7121"	-	-	-	-	◎	-
		出荷実績	"7201" (出荷情報) "7202" (支給出荷情報)	出荷元	"7201"	-	-	-	-	-	◎
		受領実績	"7301" (受領情報) "7302" (支給品受領情報) "7420" (返品)	納入先	"7301"	-	-	-	-	-	◎
2	メッセージ識別	業務分類、適用業務区分等の単位に情報を識別するコード。									
		注文	"241" (注文(通常、定期))	発注元	"241"			-			
		納入指示	"242" (納入指示(定期・不定期))	納入先	"242"	-	-	◎	-	-	-
		納期回答	"348" (回答情報)	出荷元	"348"	-	-	-	-	◎	-
		出荷実績	"351" (出荷情報)	出荷元	"351"	-	-	-	-	-	◎
		受領実績	"632" (受領情報)	納入先	"632"	-	-	-	-	-	◎
3	変更情報提供識別	情報の状態を表すコード。									
		注文	"9" (初回内示) "4" (変更内示)	発注元	"9"	-	◎	-	-	-	-
		納入指示	"9" (納入指示) "4" (納入指示取消)	納入先	"9"	-	-	◎	-	-	-
		納期回答	"9" (新規作成)	出荷元	"9"	-	-	-	-	◎	-
		出荷実績	"9" (新規作成)	出荷元	"9"	-	-	-	-	-	◎
		受領実績	"9" (受領) "4" (返品)	納入先	"9"	-	-	-	-	-	◎
4	発注者(企業コード)	商流上発注者の共通EDIサーバを示す企業コード。	発注元	"3000000000"		◎	◎	◎	×	◎	◎

5	発注者(事業所コード)	商流上発注者の共通EDIサーバ上の工場コード。	発注元	"0"	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
6	受注者(企業コード)	商流上受注者の共通EDIサーバを示す企業コード。	発注元	"200000000"	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
7	受注者(事業所コード)	商流上受注者の共通EDIサーバ上の工場コード。	発注元	"0"	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
8	部品番号	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報。商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある。 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する。 後空白不可。	発注元	"1234567890"	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
9	部品取扱識別	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別。 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる。 後空白不可。 ※部品取扱識別が設定されている場合は必須。	発注元	"1111 2AA"	○	○	○	×	○	○	○
10	発注元(企業コード)	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバを示す企業コード。	発注元	"100000000"	◎	◎	◎	×	-	-	-
11	発注元(工区コード)	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバ上の工場コード。	発注元	"0"	◎	◎	◎	×	-	-	-
12	発注元名称(企業名)	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバを示す企業の名称。	納入先	"○○工業"	-	○	○	-	-	-	-
13	発注元名称(工場名)	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバ上の工場の名称。	納入先	"豊田工場"	-	○	○	-	-	-	-
14	出荷元(企業コード)	出荷を行う企業の共通EDIサーバを示す企業コード。(仕入先)	発注元	"200000000"	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
15	出荷元(工区コード)	出荷を行う企業の共通EDIサーバ上の工場コード。(仕入先工区)	発注元	"0"	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
16	出荷場所	出荷を行う企業の出荷場を表すコード。	発注元	"30A"	○	○	○	○	-	○	○
17	出荷元名称(企業名)	出荷を行う企業の共通EDIサーバを示す企業名称。(仕入先名)	納入先	"■製作所"	-	○	○	-	○	○	○
18	出荷元名称(工場名)	出荷を行う企業の工場の名称。(仕入先工場名)	納入先	"安城工場"	-	○	○	-	○	○	○
19	出荷場所名称	出荷を行う企業の出荷場の名称。	納入先	"北出荷場"	-	○	○	-	-	○	○
20	納入先(企業コード)	納入指示を行う企業の共通EDIサーバを示す企業コード。(納入先)	発注元	"300000000"	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
21	納入先(工区コード)	納入指示を行う企業の共通EDIサーバ上の工場コード。(納入先工区)	発注元	"0"	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
22	納入場所	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード。(受入)	発注元	"103"	○	○	○	○	○	○	○
23	納入先名称(企業名)	納入指示を行う企業の共通EDIサーバを示す企業名称。(納入先名)	納入先	"△△機工"	-	○	○	-	○	○	○
24	納入先名称(工場名)	納入指示を行う企業の共通EDIサーバ上の工場名称。(納入先工場名)	納入先	"名古屋工場"	-	○	○	-	○	○	○
25	定期／不定期区分(コード)	納入先企業が任意に設定する発注の種類を表すコード。	納入先	"1"	-	-	◎	-	-	-	-

26	定期／不定期区分(内容)	納入先企業が任意に設定する発注の種類 の名称。 "号口"、"臨時"、"特配"、"スポ特"など。	納入先	"臨時"	-	-	◎	-	-	-	-
27	適用業務区分	現品票（かんばん）QR、納品書QRに印 字される区分。納入先が任意で設定す る。 JAMA規定では、以下の通り。 "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：K D部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材 "7"：設備	納入先	"0"	-	○	○	-	-	○	○
28	納入指示日/時刻	納入先が指定する納入予定日、時刻。	納入先	"201706280 958"	-	-	◎	-	◎	◎	◎
29	便番号	納入先が指定する納入予定便。	納入先	"01"	-	-	◎	-	◎	◎	◎
30	輸送識別	納入便の略称。	納入先	"名古屋1便"	-	-	○	-	-	-	-
31	納入指示番号	便チケットの縦バーコード、QRコード に印字する情報。 納入先で便チケットの縦バーコード、 QRコードを読み取って検収する場合に使用 する。(便チケット番号)	納入先	"A001010"	-	-	○	-	○	○	○
32	納品書番号	納品書発行単位に付与する連番。 英数字等の付番ルールは発注元による。 下1桁は分納回数の為、初回は0。 システムで自動採番する場合は省略可。	発注元/ 納入先	"A0010"	-	-	◎	-	◎	◎	◎
33	納品書明細番号(ページ 数)	同一納品書番号の中のページNo.(2桁)。 1ページ目は"01"、2ページ目は"02"と なる。 システムで自動採番する場合は省略可。	納入先	"01"	-	-	◎	-	◎	◎	◎
34	納品書明細番号(行No.)	同一納品書番号の中の行No.(2桁)。 1行目は"01"、2行目は"02"となる。 システムで自動採番する場合は省略可。	納入先	"01"	-	-	◎	-	◎	◎	◎
35	納入指示明細番号	外部システムで、品番毎に番号管理して いる場合に、利用する項目。(発行番 号)	納入先	"A00100110 "	-	-	○	-	○	○	○

36	品番(表示用品番)	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたもの。帳票に印字される。 ※発注元が設定した値から変更不可。 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある。	発注元	"12345-67890"	◎	◎	◎※	×	-	-	-
37	背番号	後工程が品番の識別に使用する略番。	発注元	"10B6"	○	○	○※	○	-	-	-
38	品名	部品の名称。	発注元	"FR7"レーキ	○	○	○※	○	○	○	○
39	収容数	部品箱一箱の最大入り数。 取引契約単位の入数。	発注元	"2"	○	○	○※	○	-	○	-
40	供給工程	部品の所番地(置き場)の名称。	納入先	"1B-105"	○	○	○※	○	-	-	-
41	荷姿コード	部品収容機の箱種を表すコード。	納入先	"B4"	○	○	○※	○	-	-	-
42	打切区分	部品発注の停止(打切り)の際に、その状態を表す区分。 この区分に従って、かんばんに打切りの状態を印字する。 "0": 印字なし "1": "打切対象" "2": "打切中" "3": "打切最終" "A": "Build-Out Target" "B": "Build-Out Check" "C": "Build-Out Completion"	納入先	"2"	-	-	○	-	-	-	-
43	打切残数	部品発注の停止の際の、発注停止までの残数。	納入先	"24"	-	-	○	-	-	-	-
44	端数区分	端数発注(収容数に満たない発注)の場合に、現品票(かんばん)にコメントを印字する為の区分。 "1"(端数) "A"(FRACTION)	納入先	"1"	-	-	○	-	-	-	-
45	かんばん識別番号	現品票(かんばん)1枚単位の連番。 品番単位に付与する。 最大17桁だが、かんばんの印字は下4桁。 4桁セットの場合「9999」の次は「0001」となるが、5桁以上の場合印字は下4桁表示のため「0000」が表示される。 外部システムでコントロールし、通し連番として使用することも可能。	納入先	"2071"	-	-	◎	-	-	-	-
46	納入数	部品の納入数量。	納入先	"8"	-	-	◎	-	-	◎	◎

47	数量単位	数量の単位が何であるかを表す。 CS：箱 GRM：グラム KGM：キログラム K6：キロリットル LTR：リットル MLT：ミリリットル MMT：ミリメートル MTR：メートル MTK：平方メートル CMQ：立方センチメートル MTO：立方メートル C62：個(枚、本等含む) SET：セット	納入先	"C62"	-	○	○	-	○	○	○
48	手配担当	部品発注担当者の名前。	納入先	"藤井"	-	-	○	-	-	-	-
49	納品書カーメーカーエリア(ヘッダー)	納品書に印字する発注単位の備考項目。	納入先	"支払条件等： "	-	-	○	-	-	-	-
50	納品書カーメーカーエリア(明細)	納品書に印字する品番単位の備考項目。	納入先	"Left Assy"	-	-	○	-	-	-	-
51	納入方式(コード)	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分。	納入先	"0"	-	○	○	-	-	-	-
52	納入方式(内容)	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分の名称。	納入先	"後補充"	-	○	○	-	-	-	-
53	内示/確定区分	内示(支給提示)か、確定内示(支給要求)かを表す区分。 "4" (内示 /支給提示) "1" (確定内示/支給要求)	発注元	"1"	-	◎	-	-	-	-	-
54	支払方法等文言(6行)	トヨタWG共通EDIで発行できる注文書の備考項目。	発注元	""	-	○	-	-	-	-	-
55	現品票サイズ	現品票(かんばん)の発行可否。 "00": 発行しない "01": 発行する	納入先	"01"	-	-	◎	-	-	-	-
56	帳票発行指示区分	納品書、受領書の種類と発行可否。 "00": 発行しない "01": JAMA納品書+受領書 "02": JAMA納品書のみ "03": JAMA受領書のみ "04": 便チケット	納入先	"01"	-	-	◎	-	-	-	-
57	後工程エリアパターン番号	後工程エリア(1)~(3)のレイアウトを設定する	納入先	"01"	-	-	○	-	-	-	-
58	後工程エリア(1)~(3)	現品票(かんばん)の後工程フリーエリアに印字する値を設定	納入先	"01"	-	-	○	-	-	-	-

59	後工程エリア(4)	かんばん中央のQRのフリー項目を設定	納入先	"Z;1A10;2A4AG" (Z++;独自DI+データ+終端コード)	-	-	○	-	-	-	-
60	後工程エリア(3)QR・バーコード桁数	後工程エリア(3)でバーコード、QRを使用する場合に桁数を設定する。 バーコード (CODE39) : 最大9桁 QR : 最大178桁	納入先	"84"	-	-	○	-	-	-	-
61	部品色	部品の色を表すコード。	発注元	"00"	-	○	○	-	-	-	-
62	梱包/包装単位個数	梱包包装単位個数。	納入先	"2"	-	-	○	-	-	-	-
63	発行日	トヨタWG共通EDIに連携するデータを作成した日付。	納入先	"20170627"	-	◎	◎	-	◎	◎	◎
64	処理日/時刻	データを作成した日付、時刻をセットする。	発注元/ 納入先	"20170627"	-	◎	◎	-	◎	◎	◎
65	処理番号	外部システムから共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目。 0~9999999999999999の範囲で設定。	納入先/ 自動付与	"0000000000001"	-	○	○	-	○	○	○
66	マスタ品目区分	マスタを登録する際、そのマスタが売り、買い等、何を示しているかを区別するための区分。 "1" (購入) : "2" (売り) "3" (支給) "4" (受給) "5" (直送支給) "6" (製造委託) "7" (受給品を直送支給)	発注元	"1"	◎	-	-	-	-	-	-
67	マスタスルー区分 (マスタ自動連携区分)	中継する立場の場合に、マスタの参考情報変更について自動連携可否を設定する。 "0" (自動連携しない) "1" (自動連携する) ※未対応機能 (2017/06時点)	中継企業	"0"	◎	-	-	-	-	-	-
68	前工程QR・バーコード	現品票 (かんばん) の前工程フリーエリアのバーコードまたはQRコードに印字する項目。	出荷元	"12345678900001"	○	-	-	-	-	-	-
69	前工程QR・バーコード桁数	前工程エリアのバーコードまたはQRコードの桁数 バーコード (コード 39) : 最大17桁 QR : 最大178桁	発注元	"14"	○	-	-	-	-	-	-
70	前工程情報 1 ~ 6	現品票 (かんばん) の前工程フリーエリアに印字する項目	出荷元	"部品置場"	○	-	-	-	-	-	-

71	直送先・委託先（企業）	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先の共通EDIサーバを示す企業コードを設定する。	発注元/ 納入先	"400000000"	○	-	-	-	-	-	-	-
72	直送先・委託先（工区）	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先の共通EDIサーバ上の工区コードを設定する。	発注元/ 納入先	"1"	○	-	-	-	-	-	-	-
73	直送先・委託先部品番号	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先へ連携する部品番号を設定する。 ※連携時は必須	発注元/ 納入先	"1234567890"	○	-	-	-	-	-	-	-
74	直送先・委託先部品取扱識別	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先へ連携する部品取扱識別を設定する。 ※連携時に部品取扱識別を設定する場合は必須	発注元/ 納入先	"1111 2AA"	○	-	-	-	-	-	-	-
75	送信者(企業コード)	発注元企業コードと同じ値を設定する。	発注元	"100000000"	◎	-	-	-	-	-	-	-
76	送信者(事業所・工区コード)	発注元工区コードと同じ値を設定する。	発注元	"0"	◎	-	-	-	-	-	-	-
77	取引開始日	共通EDI上マスタを有効開始とする日付。	発注元	"20170620"	◎	-	-	-	-	-	-	-
78	取引終了日	共通EDI上マスタを有効期限とする日付。	発注元	"99999999"	○	-	-	-	-	-	-	-
79	納入指示対象期間指示単位	送信した内示と、納入指示の引当チェックを行う単位を設定する。 "M" (月単位)	発注元	"M"	-	◎	-	-	-	-	-	-
80	確定注文対象期間	確定内示の期間(年月)を設定する。	発注元	"201707"	-	◎	-	-	-	-	-	-
81	納入サイクル	納入サイクルを仕入先へ情報連携する。 "AA-BB-CC.DD"形式で登録する。	納入先	"01010200"	-	○	-	-	-	-	-	-
82	納入指示日／時刻（当月）	内示月の年月を設定する。	発注元	"201707"	-	◎	-	-	-	-	-	-
83	納入指示数(1日～31)	日別の必要数を設定する。	発注元	"100"	-	○	-	-	-	-	-	-
84	納入指示数（当月合計）	内示月の必要数合計を設定する。	発注元	"2000"	-	○	-	-	-	-	-	-
85	納入指示日／時刻（次月）	内示月の翌月の年月を設定する。	発注元	"201708"	-	◎	-	-	-	-	-	-
86	納入指示数（次月合計）	内示月の翌月の必要数合計を設定する。	発注元	"1800"	-	○	-	-	-	-	-	-
87	納入指示日／時刻（次々月）	内示月の翌々月の年月を設定する。	発注元	"201709"	-	◎	-	-	-	-	-	-
88	納入指示数（次々月合計）	内示月の翌々月の必要数合計を設定する。	発注元	"2000"	-	○	-	-	-	-	-	-
89	当月最終日	内示月の終わりとする日付を設定する。 4月の場合は"30"を設定。	発注元	"31"	-	◎	-	-	-	-	-	-
90	回答納入日	出荷時に未納が発生した際の挽回予定納入日。	出荷元	"20170629"	-	-	-	-	◎	-	-	-

91	回答納入時刻(便番号)	出荷時に未納が発生した際の挽回予定納入便。	出荷元	"99"	-	-	-	-	◎	-	-
92	回答納入数	出荷時に未納が発生した際の納入残数。	出荷元	"2"	-	-	-	-	◎	-	-
93	回答コード	納期回答の固定コード"68" (分割納入)	出荷元	"68"	-	-	-	-	◎	-	-
94	出荷実績日	出荷元が出荷実績を送信した日付。	出荷元	"20170628"	-	-	-	-	-	◎	-
95	出荷数	出荷元からの出荷数。	出荷元	"6"	-	-	-	-	-	◎	-
96	未納数	出荷時に未納が発生した際の未納数。	出荷元	"2"	-	-	-	-	-	◎	◎
97	売上先	商流上の売上先の企業コードが出力される。	-	"3000000000"	-	-	-	-	-	○	-
98	売上先工区	商流上の売上先の工区コードが出力される。	-	"0"	-	-	-	-	-	○	-
99	受領日	納入先で受領をした日付。	納入先	"20170628"	-	-	-	-	-	-	◎
100	受領数	納入先の受領数。	納入先	"6"	-	-	-	-	-	-	◎
101	購入先	商流上の購入先の企業コードが出力される。	-	"2000000000"	-	-	-	-	-	-	○
102	購入先工区	商流上の購入先の工区コードが出力される。	-	"0"	-	-	-	-	-	-	○

※未設定時、品番マスタから補完

トヨタWG共通EDI 運用ガイド

発注元機能



2025/3/28

トヨタWG共通EDI推進協会

— 目次 —

※項目をクリックすることで対象ページへ移動できます。

1. 発注元の機能について	P.3	～ P.4
2. 自給において発注元の業務を行う		
基本機能を利用する		
初期設定	P.5	
品番マスタ作成、連携	P.6	
内示の作成、送信	P.7	
外部I/Fを利用する		
品番マスタ作成、連携	P.8	
内示の作成、送信	P.8	
3. 直送支給において発注元の業務を行う		
基本機能を利用する		
初期設定	P.9	
品番マスタ作成、連携	P.10	
内示・支給提示の作成、送信	P.11	
外部I/Fを利用する		
品番マスタ作成、連携	P.12	
内示・支給提示の作成、送信	P.13	
4. 内製支給において発注元の業務を行う		
基本機能を利用する		
初期設定	P.14	
品番マスタ作成、連携	P.15	
支給提示の作成、送信	P.16	
外部I/Fを利用する		
品番マスタ作成、連携	P.17	
支給提示の作成、送信	P.17	
5. 別送支給（在庫あり）において発注元の業務を行う		
業務について	P.18	
運用での注意点	P.18	

6. 別送支給（在庫なし）において発注元の業務を行う

基本機能を利用する

初期設定	P.19	～ P.20
品番マスタ作成、連携	P.20	～ P.21
内示・支給提示の作成、送信	P.21	～ P.22
支給先からの納入指示受信～仕入先への納入指示送信 ...	P.22	
仕入先からの出荷情報受信～支給先への出荷情報送信 ...	P.22	
状況確認	P.23	

外部I/Fを利用する

初期設定	P.23	～ P.24
品番マスタ作成、連携	P.24	
内示・支給提示の作成、送信	P.24	～ P.25
支給先からの納入指示受信～仕入先への納入指示送信 ...	P.25	～ P.27
仕入先からの出荷情報受信～支給先への出荷情報送信 ...	P.27	～ P.29

運用上での注意点

キャンセルについて	P.29	～ P.30
分納について	P.30	～ P.31

7. 材料について P.32

8. CSVレイアウト

受入品番マスタ（直送支給・自給・別送支給（在庫なし）） ...	P.33	～ P.41
出荷品番マスタ（内製支給）	P.42	～ P.45
内示（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））	P.46	～ P.49
支給提示（直送支給・内製支給・別送支給（在庫なし）） ...	P.50	～ P.54

9. 取得できるデータ P.55 ～ P.59

10. よくある問い合わせ P.60

1. 発注元の機能について

ここでは発注元の立場としてのトヨタWG共通EDIでの機能について説明します。

以下の商流において、自社が"発注元"の立場にあたる場合に業務を行います。

文中にある以下の各アイコンはサポートサイトに掲載しているマニュアルの章と項番です。



…基本モジュール

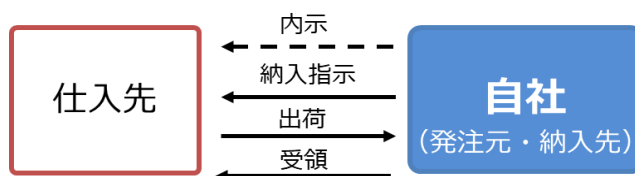


…材料（出荷数変更）

本機能を使用するには"発注"の契約が必要です。

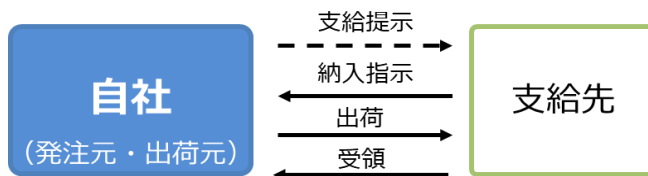
トヨタWG共通EDIでは、「自給」「内製支給」「直送支給」「別送支給（在庫なし）」「別送支給（在庫あり）」の5パターンの商流に対応しており、各パターンについて説明します。

【自給】



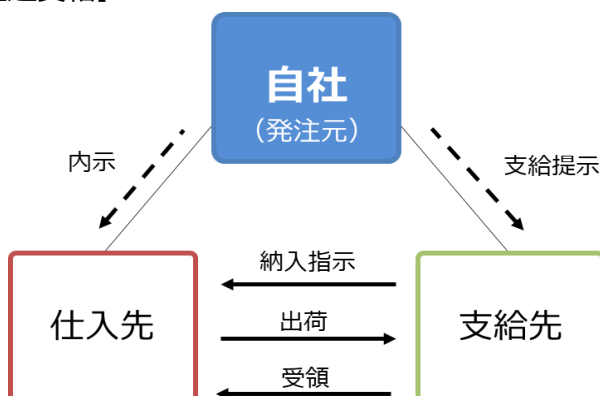
「自給」は自社（発注元）で必要な部品について、自社から仕入先へ納入指示を行う商物流で、自社が発注元かつ納入先となります。

【内製支給】



「内製支給」は、支給先から自社（発注元）へ納入指示を行う商物流で、自社が発注元かつ出荷元となります。自社にて製造した部品（内製品）の支給以外にも、自社にて購入した部品を支給する場合も同様の商物流となります。

【直送支給】



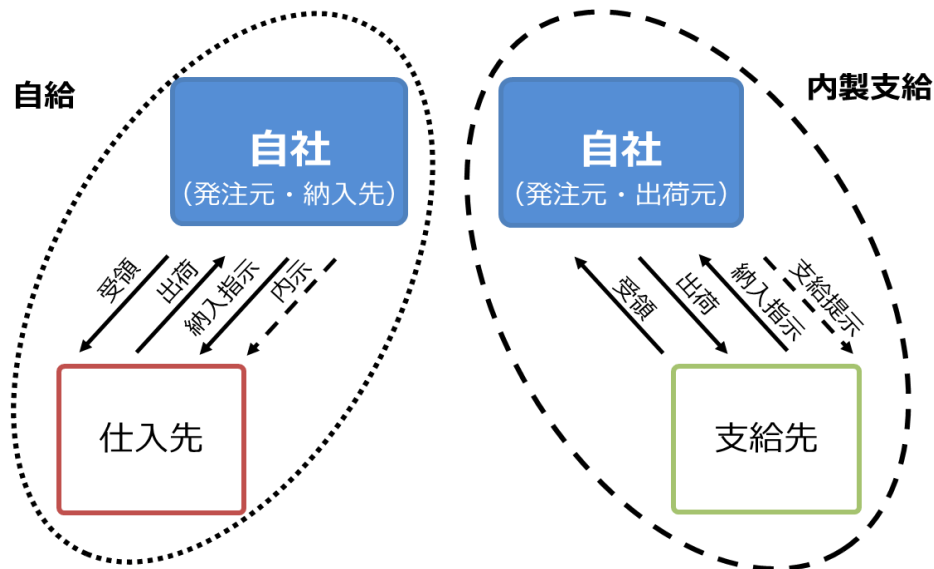
「直送支給」は、支給先から仕入先へ直接納入指示を行う商物流で、支給先への基本的な物流は、自社（発注元）を経由しません。仕入先から支給先へ直接供給されるため、自社では商流上の管理のみを行います。

【別送支給】

「別送支給」は、支給先から自社（発注元）への依頼を受けて、自社から仕入先へ納入指示を行う商物流で、支給先への基本的な物流は、自社経由で供給されます。

「別送支給」には、自社が在庫を管理して物流を完全に制御する「在庫あり」のパターンと、在庫を管理せず支給先に連携する「在庫なし」のパターンがあります。下記にて各パターンの説明をします。

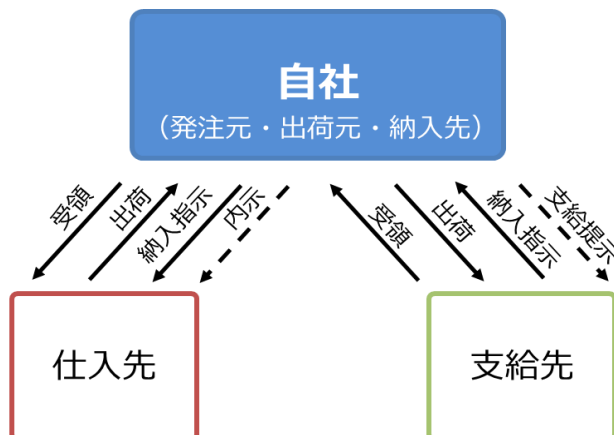
【別送支給（在庫あり）】



「在庫あり」の場合、自社で在庫を管理するので完全に物流を制御することができます。

仕入先－自社の間は「自給」、自社－支給先の間は「内製支給」として別々に取り扱います。

【別送支給（在庫なし）】



「在庫なし」の場合、仕入先で発行されたかんばんを自社で差し替えずそのまま支給先に納入できるため、物流を制御しながら在庫を持つ手間を省くことが可能となります。

詳細については、商流によって業務の流れが異なるため、2～6章にて説明します。

2. 自給において発注元の業務を行う

ここでは自給の商流で、トヨタWG共通EDIで業務を行うにあたり、基本機能や外部I/Fを利用した場合の初期設定や業務の流れについてそれぞれ説明します。

基本機能を利用する

トヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面から業務を行う際の準備と業務の流れについて説明します。

<初期設定>

基本機能を利用し、業務を行うにあたり、運用に応じて必要な設定について説明します。

■任意■

1) 内示、支給提示へ注文書の備考項目を設定したい

内示、支給提示のデータに注文書の備考項目を設定することができます。

 マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：帳票管理）"内示文言1～内示文言6"」を参照

2) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

CSVファイルをアップロードやダウンロードをする際に、企業コードを社内で使用しているコードに変換したい場合に設定します。

① 社内で使用しているコードを登録する

対象企業に対して社内で使用しているコードを登録します。登録を行いますと、Web画面上に表示される企業コードが全て登録したコードに変更され、検索でも使用することができます。

 マニュアルの「6.5 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照

② CSVファイルにて、社内で使用しているコードの優先設定を行う

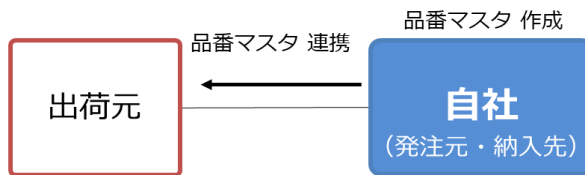
CSVファイルをアップロード、ダウンロードする際に、社内で使用しているコードを優先する設定をします。

 マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：出力管理）"CSV入出力時に社内企業コードを優先する"」を参照

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、出荷元へ品番情報の連携を行います。

【自給】



1) 品番マスタの作成

自社にて、取引を行う品番を受入品番マスタに登録します。

"受入品番マスタ"にて出荷元と取引する品番のマスタを作成します。

A) Web画面から登録を行う

 マニュアルの「6.8 自給品の品番情報(受入品番)に登録する」を参照

B) CSVファイルで登録を行う

① 受入品番マスタCSVファイルの作成する

出荷元と取引する品番について、CSVファイルを作成します。

※P.33 受入品番マスタ（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））を参照

② CSVファイルをアップロードする

品番マスタCSVファイルの準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への品番情報の登録が完了となります。

"受入品番マスタ"画面の"受入品番CSV取込"からアップロードを行います。

2) 品番マスタの連携

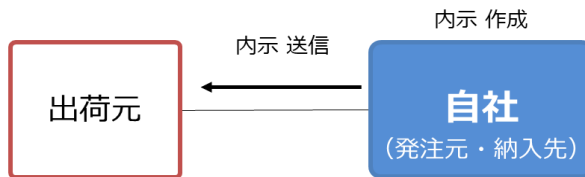
Web画面を操作し、登録した品番情報を出荷元へ送信し、連携を行います。

 マニュアルの「6.11 登録した自給品の品番情報(受入品番)を受注者側企業へ送信する」を参照

<内示の作成、送信>

出荷元へ連携した品番に対して、自社にて内示の情報をCSVファイルを用いて登録し、出荷元へ送信します。情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【自給】



1) 内示の作成

CSVファイルをアップロードすることにより、内示の情報を自社に登録します。

① 内示のCSVファイルの作成する

出荷元と取引する品番について、内示のCSVファイルを作成します。

※P.46 内示CSVレイアウト（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））を参照

② CSVファイルをアップロードする

内示のCSVファイルが準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への登録が完了となります。



マニュアルの「7.1.1 内示情報のCSVデータをアップロードし、登録する」

「7.2.1 確定内示情報のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

2) 内示の送信

自社に登録した内示の情報を出荷元へ送信します。



マニュアルの「7.1.2 登録した内示情報を仕入先へ送信する」

「7.2.2 登録した確定内示情報を仕入先へ送信する」を参照

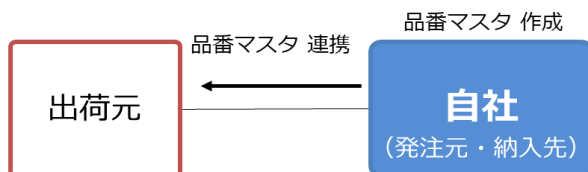
外部I/Fを利用する

トヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用する外部システムとの連携の業務について説明します。
業務はトヨタWG共通EDIと外部システムでファイルのやり取りで行うため、
外部システムの操作方法や自社システムとの連携方法、ファイルの作成要領に関しては
システム提供会社へご確認ください。

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、出荷元へ品番情報の連携を行います。

【自給】



自社から出荷元へ送信する品番マスタファイルを作成し、外部システムより
アップロードすることで、品番情報が出荷元へ送信され、連携を行います。

① 受入品番マスタファイルを作成する

出荷元と取引する品番について、受入品番マスタファイルを作成します。

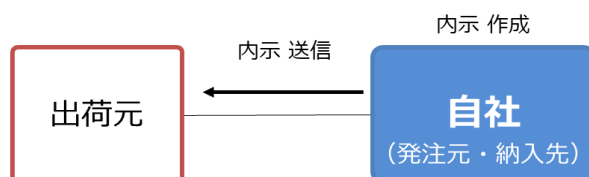
② 受入品番マスタファイルを送信する

作成した受入品番マスタファイルを外部システムよりアップロードします。

<内示の作成、送信>

出荷元へ連携した品番に対して、自社にて内示の情報を作成し、出荷元へ送信します。
情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【自給】



自社から出荷元へ送信する内示ファイルを作成し、外部システムより
アップロードすることで、内示の情報が出荷元へ送信されます。

① 内示ファイルを作成する

出荷元と取引する品番について、内示ファイルを作成します。

② 内示ファイルを送信する

作成した内示ファイルを外部システムよりアップロードします。

3. 直送支給において発注元の業務を行う

ここでは直送支給の商流で、トヨタWG共通EDIで業務を行うにあたり、基本機能や外部I/Fを利用した場合の初期設定や業務の流れについてそれぞれ説明します。

基本機能を利用する

トヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面から業務を行う際の準備と業務の流れについて説明します。

<初期設定>

基本機能を利用し、業務を行うにあたり、運用に応じて必要な設定について説明します。

■任意■

1) 内示、支給提示へ注文書の備考項目を設定したい

内示、支給提示のデータに注文書の備考項目を設定することができます。



マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：帳票管理）」

"内示文言1～内示文言6"を参照

2) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

CSVファイルをアップロードやダウンロードをする際に、企業コードを社内で使用しているコードに変換したい場合に設定します。

① 社内で使用しているコードを登録する

対象企業に対して社内で使用しているコードを登録します。登録を行いますと、Web画面上に表示される企業コードが全て登録したコードに変更され、検索でも使用することができます。



マニュアルの「6.5 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照

② CSVファイルにて、社内で使用しているコードの優先設定を行う

CSVファイルをアップロード、ダウンロードする際に、社内で使用しているコードを優先する設定をします。



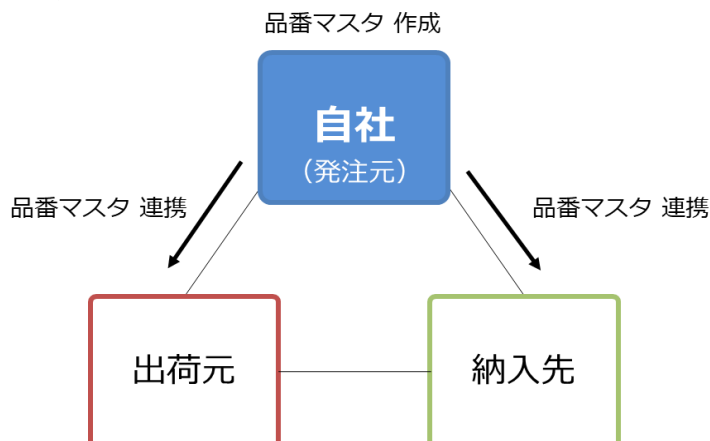
マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：出力管理）」

"CSV入出力時に社内企業コードを優先する"を参照

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、納入先、出荷元へ品番情報の連携を行います。

【直送支給】



1) 品番マスタの作成

自社にて、取引を行う品番を受入品番マスタに登録します。

"受入品番マスタ"にて支給先、仕入先と取引する品番のマスタを作成します。

作成した受入品番マスタを仕入先、支給先へ連携します。

A) Web画面から登録を行う

 マニュアルの「6.23 直送支給品の品番情報(受入品番)を登録する」を参照

B) CSVファイルで登録を行う

① 受入品番マスタCSVファイルの作成する

納入先、出荷元と取引する品番について、CSVファイルを作成します。

※P.33 受入品番マスタ（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））を参照

② CSVファイルをアップロードする

品番マスタCSVファイルの準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への品番情報の登録が完了となります。

"受入品番マスタ"画面の"受入品番CSV取込"からアップロードを行います。

2) 品番マスタの連携

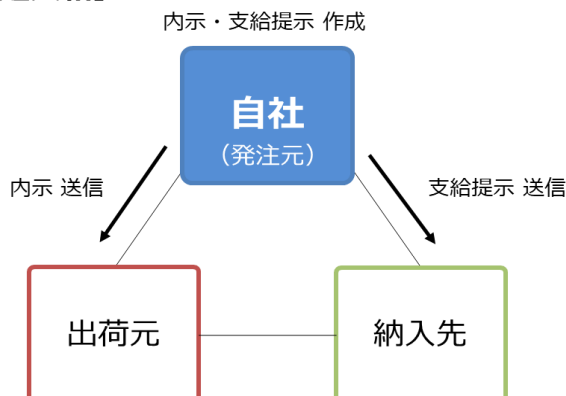
Web画面を操作し、登録した品番情報を納入先、出荷元へ送信し、連携を行います。

 マニュアルの「6.24 登録した直送支給品の品番情報(受入品番)を仕入先、支給先へ送信する」を参照

<内示・支給提示の作成、送信>

取引先へ連携した品番に対して、自社にて内示・支給提示の情報をCSVファイルを用いて登録し、取引先へ送信します。情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【直送支給】



1) 内示・支給提示の作成

CSVファイルをアップロードすることにより、内示・支給提示の情報を自社に登録します。自社から納入先へ送信する支給提示の情報と出荷元へ送信する内示の情報の2つを登録します。

① 内示のCSVファイルの作成する

出荷元と取引する品番について、内示のCSVファイルを作成します。

※P.46 内示CSVレイアウト（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））を参照

② 支給提示のCSVファイルの作成する

納入先と取引する品番について、支給提示のCSVファイルを作成します。

※P.50 支給提示CSVレイアウト（直送支給・内製支給・別送支給（在庫なし））を参照

③ CSVファイルをアップロードする

内示・支給提示のCSVファイルがそれぞれ準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への登録が完了となります。

A) 内示 / 確定内示



マニュアルの「7.1.1 内示情報のCSVデータをアップロードし、登録する」

「7.2.1 確定内示情報のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

B) 支給提示



マニュアルの「7.10.1 支給提示のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

2) 内示・支給提示の送信

自社に登録した内示・支給提示の情報を取引先へ送信します。

自社から出荷元へ内示の情報、納入先へ支給提示の情報を送信します。

A) 内示 / 確定内示



マニュアルの「7.1.2 登録した内示情報を仕入先へ送信する」

「7.2.2 登録した確定内示情報を仕入先へ送信する」を参照

B) 支給提示



マニュアルの「7.10.2 登録した支給提示情報を支給先へ送信する」を参照

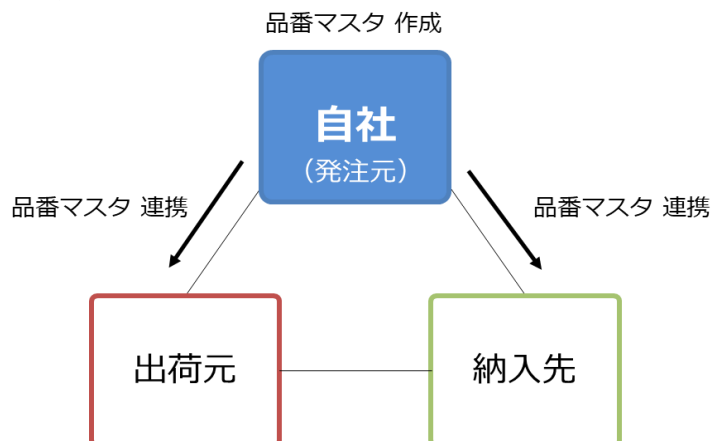
外部I/Fを利用する

トヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用する外部システムとの連携の業務について説明します。
業務はトヨタWG共通EDIと外部システムでファイルのやり取りで行うため、
外部システムの操作方法や自社システムとの連携方法、ファイルの作成要領に関しては
システム提供会社へご確認ください。

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、納入先、出荷元へ品番情報の連携を行います。

【直送支給】



自社から取引先へ送信する品番マスタファイルを作成し、外部システムよりアップロードすることで、品番情報が取引先へ送信され、連携を行います。

① 受入品番マスタファイルを作成する

納入先、出荷元と取引する品番について、受入品番マスタファイルを作成します。

連携先が2企業となりますが、作成する品番情報は1品番に対して、1つになります。

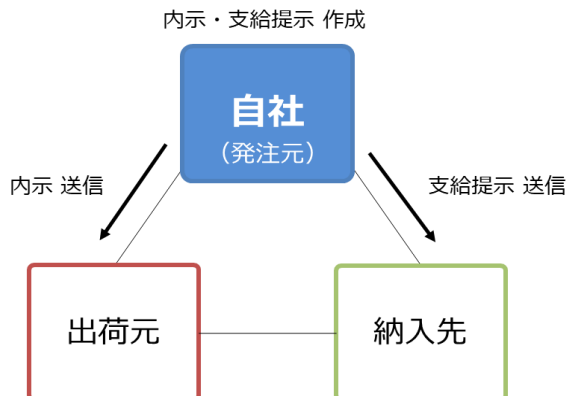
② 受入品番マスタファイルを送信する

作成した受入品番マスタファイルを外部システムよりアップロードします。

<内示・支給提示の作成、送信>

取引先へ連携した品番に対して、自社にて内示・支給提示の情報を作成し、取引先へ送信します。情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【直送支給】



1) 内示・支給提示の送信

自社から出荷元へ送信する内示の情報と納入先へ送信する支給提示の情報の内示・支給提示ファイルの2つを作成します。
作成した内示・支給提示ファイルを外部システムよりアップロードすることで、内示・支給提示の情報が取引先へ送信されます。

① 内示ファイルを作成する

出荷元と取引する品番について、内示ファイルを作成します。

② 支給提示ファイルを作成する

納入先と取引する品番について、支給提示ファイルを作成します。

③ 内示・支給提示ファイルを送信する

作成した内示・支給提示ファイルを外部システムよりアップロードします。

4. 内製支給において発注元の業務を行う

ここでは内製支給の商流で、トヨタWG共通EDIで業務を行うにあたり、基本機能や外部I/Fを利用した場合の初期設定や業務の流れについてそれぞれ説明します。

基本機能を利用する

トヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面から業務を行う際の準備と業務の流れについて説明します。

<初期設定>

基本機能を利用し、業務を行うにあたり、運用に応じて必要な設定について説明します。

■任意■

1) 内示、支給提示へ注文書の備考項目を設定したい

内示、支給提示のデータに注文書の備考項目を設定することができます。



マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：帳票管理）」

"内示文言1～内示文言6"を参照

2) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

CSVファイルをアップロードやダウンロードをする際に、企業コードを社内で使用しているコードに変換したい場合に設定します。

① 社内で使用しているコードを登録する

対象企業に対して社内で使用しているコードを登録します。登録を行いますと、Web画面上に表示される企業コードが全て登録したコードに変更され、検索でも使用することができます。



マニュアルの「6.5 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照

② CSVファイルにて、社内で使用しているコードの優先設定を行う

CSVファイルをアップロード、ダウンロードする際に、社内で使用しているコードを優先する設定をします。



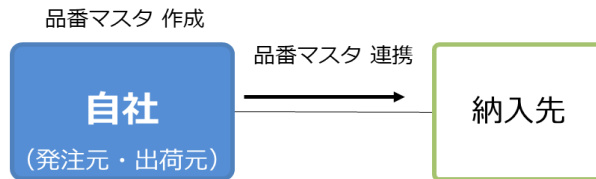
マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：出力管理）」

"CSV入出力時に社内企業コードを優先する"を参照

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、納入先へ品番情報の連携を行います。

【内製支給】



1) 品番マスタの作成

自社にて、取引を行う品番を受入品番マスタに登録します。

出荷品番マスタにて納入先と取引する品番のマスタを作成します。

A) Web画面から登録を行う



マニュアルの「6.25 内製支給品の品番情報(出荷品番)を登録する」を参照

B) CSVファイルで登録を行う

① 出荷品番マスタCSVファイルの作成する

納入先と取引する品番について、CSVファイルを作成します。

※P.25 出荷品番マスタCSVレイアウト(内製支給) を参照

② CSVファイルをアップロードする

品番マスタCSVファイルの準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への品番情報の登録が完了となります。

"出荷品番マスタ"画面の"出荷品番CSV取込"からアップロードを行います。

2) 品番マスタの連携

Web画面を操作し、登録した品番情報を納入先へ送信し、連携を行います。

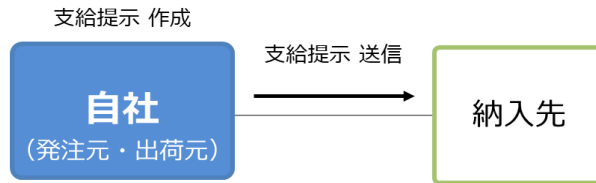


マニュアルの「6.26 登録した内製支給品の品番情報(出荷品番)を支給先へ送信する」を参照

<支給提示の作成、送信>

納入先へ連携した品番に対して、自社にて支給提示の情報をCSVファイルを用いて登録し、納入先へ送信します。情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【内製支給】



1) 支給提示の作成

CSVファイルをアップロードすることにより、支給提示の情報を自社に登録します。

① 支給提示のCSVファイルの作成する

納入先と取引する品番について、支給提示のCSVファイルを作成します。

※P.50 支給提示CSVレイアウト（直送支給・内製支給・別送支給（在庫なし））を参照

② CSVファイルをアップロードする

支給提示のCSVファイルが準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への登録が完了となります。

 マニュアルの「7.10.1 支給提示のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

2) 支給提示の送信

自社に登録した支給提示の情報を納入先へ送信します。

 マニュアルの「7.10.2 登録した支給提示情報を支給先へ送信する」を参照

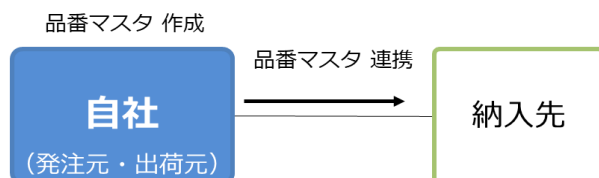
外部I/Fを利用する

トヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用する外部システムとの連携の業務について説明します。
業務はトヨタWG共通EDIと外部システムでファイルのやり取りで行うため、
外部システムの操作方法や自社システムとの連携方法、ファイルの作成要領に関しては
システム提供会社へご確認ください。

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、納入先へ品番情報の連携を行います。

【内製支給】



自社から納入先へ送信する品番マスタファイルを作成し、外部システムより
アップロードすることで、品番情報が納入先へ送信され、連携を行います。

① 出荷品番マスタファイルを作成する

納入先と取引する品番について、出荷品番マスタファイルを作成します。

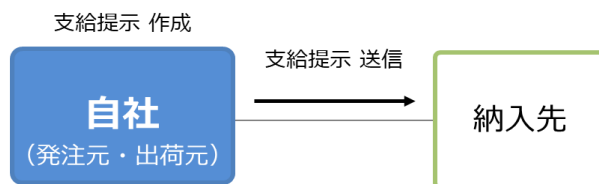
② 出荷品番マスタファイルを送信する

作成した出荷品番マスタファイルを外部システムよりアップロードします。

<支給提示の作成、送信>

納入先へ連携した品番に対して、自社にて支給提示の情報を作成し、納入先へ送信します。
情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【内製支給】



自社から納入先へ送信する支給提示ファイルを作成し、外部システムより
アップロードすることで、支給提示の情報が納入先へ送信されます。

① 支給提示ファイルを作成する

納入先と取引する品番について、支給提示ファイルを作成します。

② 支給提示ファイルを送信する

作成した内示ファイルを外部システムよりアップロードします。

5. 別送支給（在庫あり）において発注元の業務を行う

別送支給（在庫あり）の場合、支給先との受発注を**内製支給**、仕入先との受発注を**自給**としてトヨタWG共通EDI上では扱います。

詳細につきましては、発注元機能の「1. 発注元の機能について」をご参照ください。

業務について

トヨタWG共通EDIで業務を行うにあたり、基本機能や外部I/Fを利用した場合の初期設定や業務の流れについては、各商流毎に以下の見出しをご参照ください

A) 支給先との受発注（内製支給）

⇒発注元機能の「4. 内製支給において発注元の業務を行う」参照

B) 仕入先との受発注（自給）

⇒発注元機能の「2. 自給において発注元の業務を行う」参照

運用での注意点

- ・支給先からかんばんが持ち込まれる運用の場合

基本機能では支給先への納品書を発行できないため、外部システムまたは、かんばん読取支給オプションを使用し、納品書を発行してください。

※かんばん読取支給オプションについては、将来対応予定です。

6. 別送支給（在庫なし）において発注元の業務を行う

ここでは別送支給（在庫なし）の商流で、トヨタWG共通EDIで業務を行うにあたり、基本機能や外部I/Fを利用した場合の初期設定や業務の流れについてそれぞれ説明します。本章は支給先から発注元へ納入指示を利用し、支給依頼を行う運用の場合の説明となります。

別送支給（在庫なし）は基本モジュールのみでは全ての業務を行えません。
外部システムの対応または、かんばん納入指示オプションの利用が必要です。

・仕入先への納入指示について

別送支給（在庫なし）では、支給先から納入指示を受信した際に、トヨタWG共通EDIにて仕入先工区単位に納入指示を分割します。分割した納入指示に対し、仕入先への納入指示日、便、納品書番号の設定が必要です。

※外部システム（外部I/F）につきましては、本章の「外部I/Fを利用する」の<支給先からの納入指示受信～仕入先への納入指示送信>をご参照ください。

※かんばん納入指示オプションの仕入先への納入指示作成機能については将来対応予定です。



ご利用前のお願い

別送支給（在庫なし）を初めてご利用いただく場合は、サーバの設定変更が必要となります。事前にトヨタWG共通EDIのサポート窓口へご連絡をお願いします。

基本機能を利用する

トヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面から業務を行う際の準備と業務の流れについて説明します。

<初期設定>

基本機能を利用し、業務を行うにあたり、運用に応じて必要な設定について説明します。

■任意■

1) 内示、支給提示へ注文書の備考項目を設定したい

内示、支給提示のデータに注文書の備考項目を設定することができます。



マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：帳票管理）」

" 内示文言 1～内示文言 6 " を参照

2) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

CSVファイルをアップロードやダウンロードをする際に、企業コードを社内で使用しているコードに変換したい場合に設定します。

① 社内で使用しているコードを登録する

対象企業に対して社内で使用しているコードを登録します。登録を行いますと、Web画面上に表示される企業コードが全て登録したコードに変更され、検索でも使用することができます。

 マニュアルの「6.5 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照

② CSVファイルにて、社内で使用しているコードの優先設定を行う

CSVファイルをアップロード、ダウンロードする際に、社内で使用しているコードを優先する設定をします。

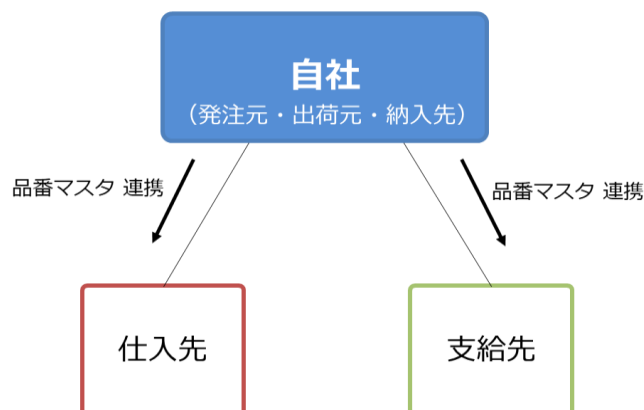
 マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：出力管理）」

"CSV入出力時に社内企業コードを優先する"を参照

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、支給先、仕入先へ品番情報の連携を行います。

【別送支給（在庫なし）】



1) 品番マスタの作成

自社にて、取引を行う品番を受入品番マスタに登録します。

"受入品番マスタ"にて支給先、仕入先と取引する品番のマスタを作成します。

作成した受入品番マスタを仕入先、支給先へ連携します。

A) Web画面から登録を行う

 マニュアルの「11.1 別送支給品(在庫なし)の品番情報(受入品番)を登録する」を参照

B) CSVファイルで登録を行う

① 受入品番マスタCSVファイルの作成する

支給先、仕入先と取引する品番について、CSVファイルを作成します。

※P.33 受入品番マスタ（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））を参照

② CSVファイルをアップロードする

品番マスタCSVファイルの準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への品番情報の登録が完了となります。

"受入品番マスタ"画面の"受入品番CSV取込"からアップロードを行います。

2) 品番マスタの連携

Web画面を操作し、登録した品番情報を支給先、仕入先へ送信し、連携を行います。



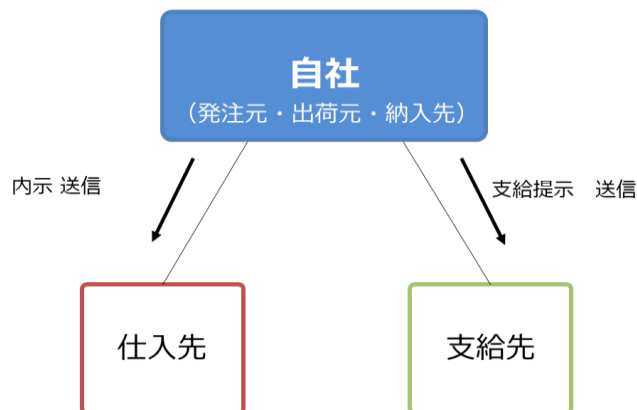
マニュアルの「11.2 登録した別送支給品(在庫なし)の品番情報(受入品番)を

仕入先、支給先へ送信する」を参照

<内示・支給提示の作成、送信>

取引先へ連携した品番に対して、自社にて内示・支給提示の情報をCSVファイルを用いて登録し、取引先へ送信します。情報が月単位で確定、もしくは変更した際に実施します。

【別送支給（在庫なし）】



1) 内示・支給提示の作成

CSVファイルをアップロードすることにより、内示・支給提示の情報を自社に登録します。自社から支給先へ送信する支給提示の情報と仕入先へ送信する内示の情報の2つを登録します。

① 内示のCSVファイルの作成する

仕入先と取引する品番について、内示のCSVファイルを作成します。

※P.46 内示CSVレイアウト（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））を参照

② 支給提示のCSVファイルの作成する

支給先と取引する品番について、支給提示のCSVファイルを作成します。

※P.50 支給提示CSVレイアウト（直送支給・内製支給・別送支給（在庫なし））を参照

③ CSVファイルをアップロードする

内示・支給提示のCSVファイルがそれぞれ準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで、自社への登録が完了となります。

A) 内示 / 確定内示



マニュアルの「7.1.1 内示情報のCSVデータをアップロードし、登録する」

「7.2.1 確定内示情報のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

B) 支給提示



マニュアルの「7.10.1 支給提示のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

2) 内示・支給提示の送信

自社に登録した内示・支給提示の情報を取引先へ送信します。

自社から仕入先へ内示の情報、支給先へ支給提示の情報を送信します。

A) 内示 / 確定内示



マニュアルの「7.1.2 登録した内示情報を仕入先へ送信する」

「7.2.2 登録した確定内示情報を仕入先へ送信する」を参照

B) 支給提示



マニュアルの「7.10.2 登録した支給提示情報を支給先へ送信する」を参照

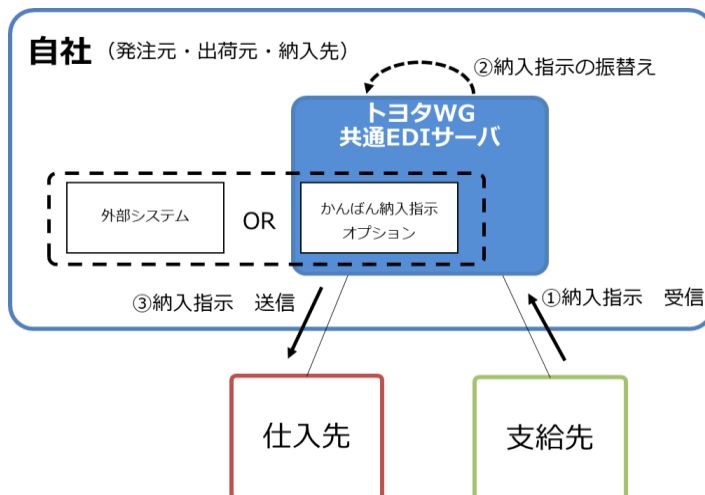
<支給先からの納入指示受信～仕入先への納入指示送信>

支給先から納入指示を受信し、トヨタWG共通EDIサーバにて、仕入先への納入指示へ振り替えたデータを作成します。振り替えたデータを基に、外部システムまたは、かんばん納入指示オプションを利用し、納入指示の作成・送信します。

※外部システム（外部I/F）につきましては、本章の「外部I/Fを利用する」の

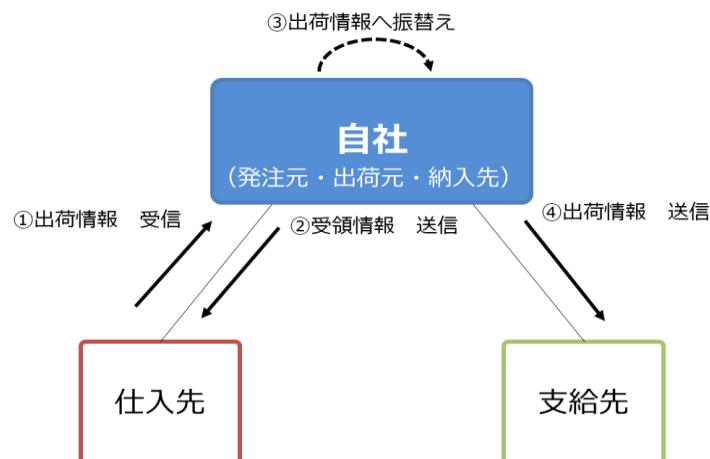
<支給先からの納入指示受信～仕入先への納入指示送信>をご参照ください。

※かんばん納入指示オプションの仕入先への納入指示作成機能については将来対応予定です。



<仕入先からの出荷情報受信～支給先への出荷情報送信>

仕入先から出荷情報を受信し、自社にて受領すると、支給先への出荷情報へ振り替えを行います。振り替えた出荷情報を基に支給先への出荷処理を行います。



1) 仕入先からの納品物を受領する

仕入先から部品が届いた後、受領処理を行います。

受領処理を行うと支給先への出荷情報へと振替えられます。

受領処理の流れについて帳票の発行先（前工程／後工程）毎に説明します。

A) 前工程発行



マニュアルの「7.4.1 画面からデータを選択し、受領する」を参照

B) 後工程発行

未納がある場合、受領処理を行う前に、このタイミングで作業を行います。



マニュアルの「7.4.2 画面からデータを選択し、受領する(後工程発行)」

「7.4.3 画面からデータを選択し、未納処理を行う(後工程発行)」を参照

2) 支給先への出荷情報送信

振り替えた出荷情報を基に別送出荷案内画面にて出荷を行います。

仕入先から受信した出荷情報を基に支給先への出荷とするため、

仕入先にて未納がある場合、自動的に未納情報を作成して、送信します。



マニュアルの「11.3 別送支給品(在庫なし)の出荷処理を行う」を参照

<状況確認>

支給先から受信した納入指示を基に、仕入先へ送信した納入指示について、それぞれの処理状況を確認することができます。



マニュアルの「11.4 別送支給品(在庫なし)の処理状況を確認する」を参照

外部I/Fを利用する

トヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用する外部システムとの連携の業務について説明します。

業務はトヨタWG共通EDIと外部システムでファイルのやり取りで行うため、

外部システムの操作方法や自社システムとの連携方法、ファイルの作成要領に関してはシステム提供会社へご確認ください。

<初期設定>

外部I/Fを利用し、業務を行うにあたり、運用に応じて必要な設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 帳票発行先を変更する

仕入先へ送信する納入指示について、かんばんを発行する場所（前工程／後工程）を仕入先工区単位または、品番単位に設定します。

A) 仕入先工区単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。



マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

B) 品番単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。



マニュアルの「6.14 帳票発行先を設定する(品番単位)」を参照



ワンポイント

- ・帳票発行先の規定値は後工程発行となっています。
前工程発行で納入指示を行う場合は、事前に設定を変更してください。
- ・帳票発行先の設定によって以下のように動作します。
前工程発行…仕入先にデータを送信し、仕入先でかんばんを発行
後工程発行…仕入先にデータを送信せずに、自社でかんばんを発行

2) 納品書番号を設定する

納入指示ファイルに納品書番号を手動で割り当てる場合、Web画面で納品書番号を自動採番しないように設定します。

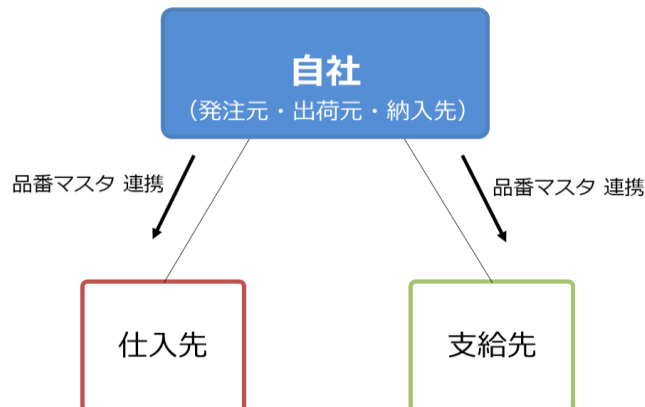
システムパラメータ「納品書番号の自動採番」：「N:実施しない」

 マニュアルの「6.18 納品書番号を自動で採番する」を参照

<品番マスタ作成、連携>

自社にて取り扱う品番のマスタを作成し、支給先、仕入先へ品番情報の連携を行います。

【別送支給（在庫なし）】



自社から取引先へ送信する品番マスタファイルを作成し、外部システムよりアップロードすることで、品番情報が取引先へ送信され、連携を行います。

① 受入品番マスタファイルを作成する

支給先、仕入先と取引する品番について、受入品番マスタファイルを作成します。

連携先が2企業となりますが、作成する品番情報は1品番に対して、1つになります。

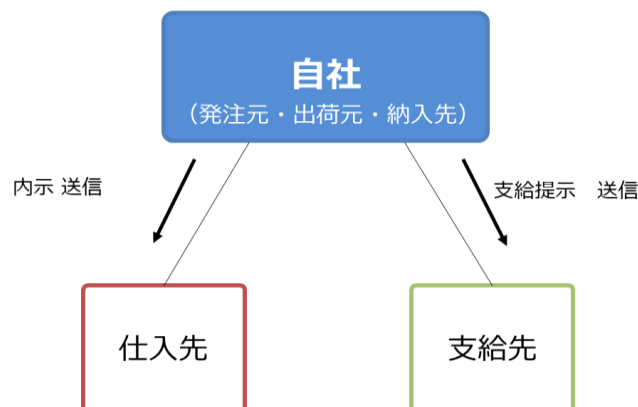
② 受入品番マスタファイルを送信する

作成した受入品番マスタファイルを外部システムよりアップロードします。

<内示・支給提示の作成、送信>

取引先へ連携した品番に対して、自社にて内示・支給提示の情報を作成し、取引先へ送信します。情報が月単位で確定、もしくは変更した際に、実施します。

【別送支給（在庫なし）】



1) 内示・支給提示の送信

自社から仕入先へ送信する内示の情報と支給先へ送信する支給提示の情報の内示・支給提示ファイルの2つを作成します。

作成した内示・支給提示ファイルを外部システムよりアップロードすることで、内示・支給提示の情報が取引先へ送信されます。

① 内示ファイルを作成する

仕入先と取引する品番について、内示ファイルを作成します。

② 支給提示ファイルを作成する

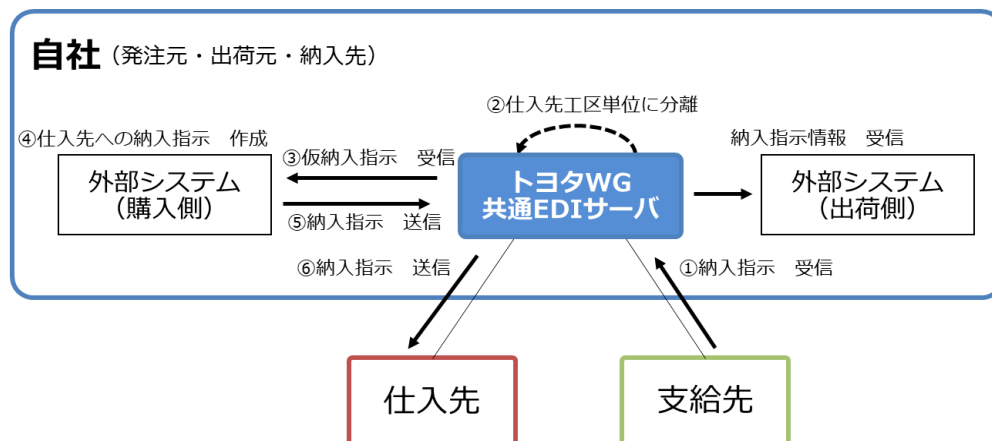
支給先と取引する品番について、支給提示ファイルを作成します。

③ 内示・支給提示ファイルを送信する

作成した内示・支給提示ファイルを外部システムよりアップロードします。

<支給先からの納入指示受信～仕入先への納入指示送信>

支給先から納入指示を受信し、仕入先への納入指示へ振り替えた納入指示の作成、送信をおこないます。



- ① 支給先から納入指示を自社のトヨタWG共通EDIサーバで受信します。
- ② 受信した納入指示について、自社のトヨタWG共通EDIサーバ内で仕入先工区単位に分かれたデータを作成します。（仮納入指示の作成）
- ③ 購入側の外部システムにて仮納入指示を受信します。
- ④ 購入側の外部システムにて仮納入指示を基に仕入先への納入指示を作成します。
- ⑤ 作成した納入指示を自社のトヨタWG共通EDIサーバへ送信します。
- ⑥ 自社のトヨタWG共通EDIサーバにて受信した納入指示が仕入先へ送信します。

1) 仮納入指示を取得する

"仮納入指示"は発注元のトヨタWG共通EDIサーバで受信した支給先からの納入指示を仕入先工区毎に分けた納入指示です。

購入側の外部システムで仮納入指示をダウンロードし、仕入先への納入指示を作成します。

また、仕入先へ納入指示送信前に納入指示キャンセルを受信した場合、キャンセル情報についても取得できます。



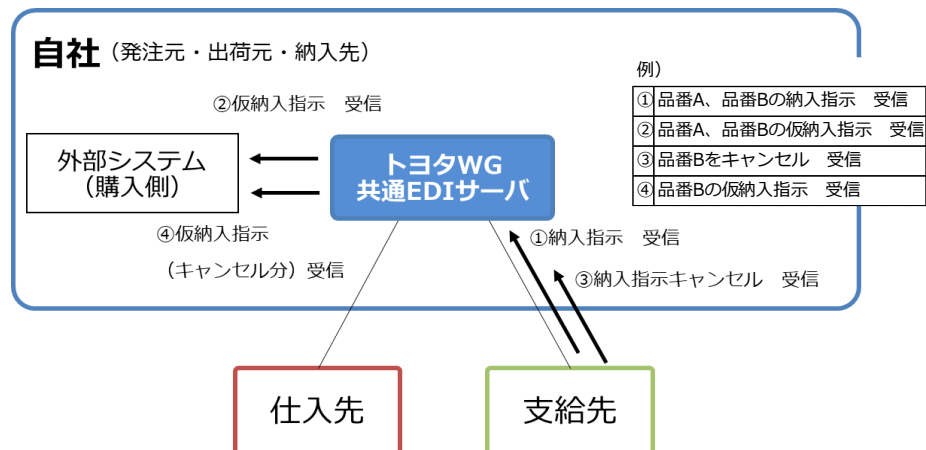
ワンポイント

- ・仮納入指示のキャンセル分について

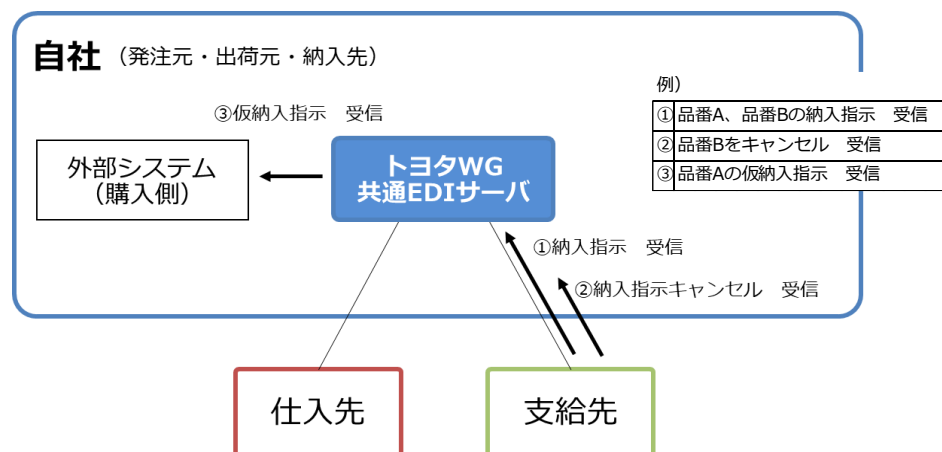
支給先からのキャンセル時に、仮納入指示を取得しているか、否かによって、取得できる仮納入指示の内容が異なります。

A) 仮納入指示を取得している場合

該当品番について、キャンセルの情報（キャンセルの区分、納入指示数0）で新たに仮納入指示を取得できます。



B) 仮納入指示を取得していない場合



2) 仕入先へ納入指示を送信する

購入側の外部システムにて、ダウンロードした仮納入指示を基に納入指示を作成し、送信します。

納入指示送信の流れを帳票発行先（前工程／後工程）毎にそれぞれ説明します。

A) 前工程発行

① 納入指示ファイルを作成する

ダウンロードした仮納入指示を基に、仕入先への納入指示を外部システムにて作成します。

納入指示を作成する際には、納品書番号や納入指示日等を設定します。

② 納入指示ファイルを送信する

作成した納入指示ファイルを外部システムよりアップロードします。

B) 後工程発行

① 納入指示ファイルを作成する

ダウンロードした仮納入指示を基に、仕入先への納入指示を外部システムにて作成します。

納入指示を作成する際には、納品書番号や納入指示日等を設定します。

② 納入指示ファイルを送信する

作成した納入指示ファイルを外部システムよりアップロードします。

③ 帳票を発行し、送信する

Web画面から出荷元に渡す帳票を発行した後、納入指示を送信します。

 マニュアルの「7.3.3 画面からデータを入力し、納入指示を送信する(後工程発行)」を参照



ワンポイント

- ・納入指示ファイルの作成について

仮納入指示から必須で変更する項目は以下となります。

- ・現品票サイズ
- ・帳票発行指示区分
- ・納入指示日
- ・便
- ・納品書番号
- ・納品書明細番号
- ・納入指示番号
- ・納入指示明細番号

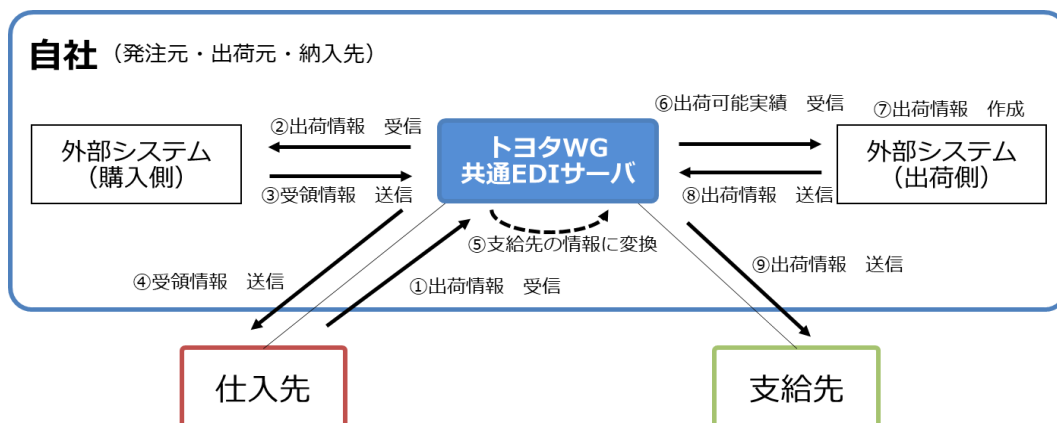
任意変更項目は以下となります。

- ・後工程エリア(1)~(3)

<仕入先からの出荷情報受信～支給先への出荷情報送信>

仕入先から届いた出荷情報を基に、自社にて受領します。

受領したデータについて、支給先への出荷処理を行います。



- ① 仕入先から出荷情報を自社のトヨタWG共通EDIサーバで受信します。
- ② 購入側の外部システムにて出荷情報を受信します。
- ③ 出荷情報を基に購入側の外部システムにて受領情報を送信します。
- ④ 自社のトヨタWG共通EDIサーバにて受信した受領情報が仕入先へ送信されます。
- ⑤ 受領処理がされると、支給先へのお荷情報の基となるデータを自社のトヨタWG共通EDIサーバにて発注者、受注者、お荷元、納入先のお情報を支給先向けのお情報に変換し、作成します。（お荷可能実績）
- ⑥ お荷側の外部システムにてお荷可能実績を受信します。
- ⑦ お荷側の外部システムにてお荷可能実績を基に支給先へのお荷情報を作成します。
- ⑧ 作成したお荷情報を自社のトヨタWG共通EDIサーバへ送信します。
- ⑨ 自社のトヨタWG共通EDIサーバにて受信したお荷情報が支給先へ送信されます。

1) 仕入先からの納品物を受領する

仕入先から部品が届いた後、受領処理を行います。

受領処理の流れについて帳票の発行先（前工程／後工程）毎に説明します。

A) 前工程発行

- ① 受領実績ファイルを作成する

お荷元から製品が届いた後、外部システムにて受領実績ファイルを作成します。

- ② 受領実績を送信する

作成した受領実績ファイルを外部システムよりアップロードします。

B) 後工程発行

Web画面から受領処理を行います。

未納がある場合、受領処理を行う前に、このタイミングで作業を行います。



マニュアルの「7.4.2 画面からデータを選択し、受領する(後工程発行)」

「7.4.3 画面からデータを選択し、未納処理を行う(後工程発行)」を参照

2) お荷可能実績を取得する

発注元がお荷側の外部システムを利用する場合、お荷側と購入側でシステムが分かれているため、仕入先からのお荷情報をお荷側の外部システムで取込みする必要があります。

受領処理を行うと、トヨタWG共通EDIサーバで、支給先へのお荷できる情報に振り替えたお荷可能実績が作成され、お荷側の外部システムにて、ダウンロードします。

3) お荷可能実績を編集し、支給先へお荷実績を送信する

発注元がお荷システムを利用する場合、お荷可能実績を基に支給先へのお荷実績を作成します。

仕入先から未納があった場合、支給先へも未納の処理を行うため、お荷実績と納期回答の2ファイルが必要となります。



ワンポイント

- ・未納がある場合の納期回答ファイルの作成について
トヨタWG共通EDIでは未納がある出荷の場合、出荷実績と納期回答の2ファイルが必要ですが、ダウンロードできるのは出荷可能実績のみになります。
出荷可能実績の未納数が1以上の場合、出荷実績ファイルに加え、納期回答ファイルも作成してください。

A) 完納による出荷を行う

① 出荷実績ファイルを作成する

出荷可能実績を基に支給先へのお荷実績ファイルを作成します。

② 出荷実績を送信する

作成した出荷実績ファイルを外部システムよりアップロードします。

B) 未納がある場合の出荷を行う

① 出荷実績ファイルを作成する

出荷可能実績を基に支給先へのお荷実績ファイルを作成します。

② 納期回答ファイルを作成する

出荷可能実績の未納数に1以上の値がある場合、出荷可能実績の未納数を納期回答の回答納入数とし、支給先への納期回答ファイルを作成します。
また、別送支給（在庫なし）の場合、挽回日・便は初回の納入指示と同じ値を設定します。

③ 出荷実績を送信する

作成した出荷実績ファイルを外部システムよりアップロードします。

④ 納期回答を送信する

作成した納期回答ファイルを外部システムよりアップロードします。

運用上での注意点

<納入指示キャンセルについて>

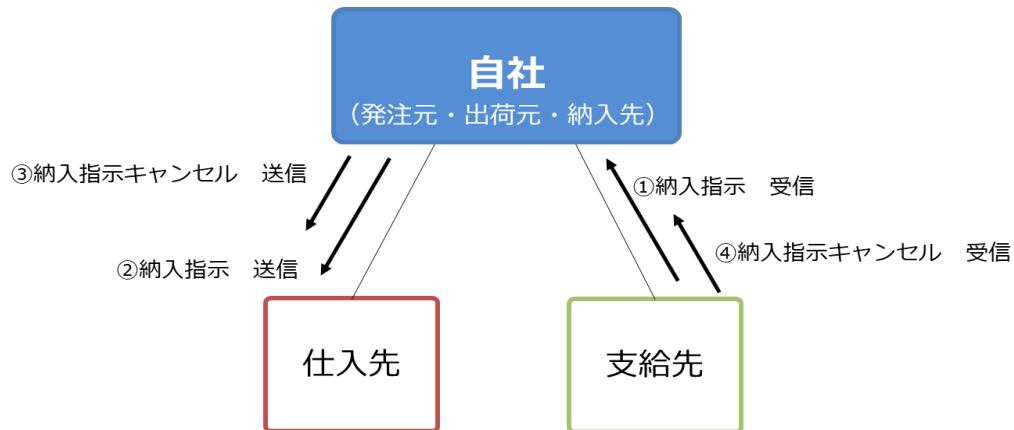
別送支給（在庫なし）では、納入指示キャンセルは、自社から仕入先へキャンセルした後、支給先から自社に対して、キャンセルをする流れとなります。
ただし、自社から仕入先へ納入指示を送信していない場合は、支給先から自社に対してのキャンセルのみとなります。

○キャンセルの必要可否

	仕入先へ納入指示送信	
	送信済み	未送信
自社⇒仕入先へキャンセル	○	×
支給先⇒自社へキャンセル	○	○

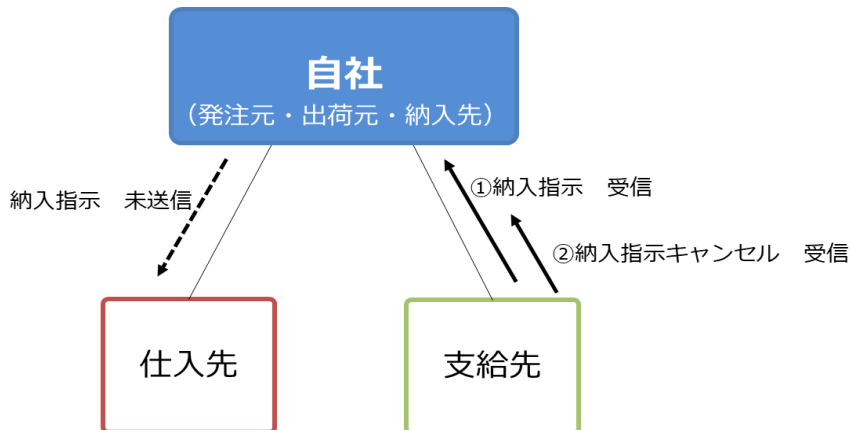
A) 仕入先へ納入指示を送信している場合

初めに自社から仕入先へキャンセルし、次に支給先から自社へキャンセルとなります。



B) 仕入先へ納入指示を送信していない場合

支給先から自社へ納入指示をキャンセルして完了となります。



<分納について>

支給先からの納入指示について、仕入先が複数に分かれる場合、各仕入先の分納が多いと支給先への分納回数が増えていき上限の9回となり、それ以上の分納ができなくなります。

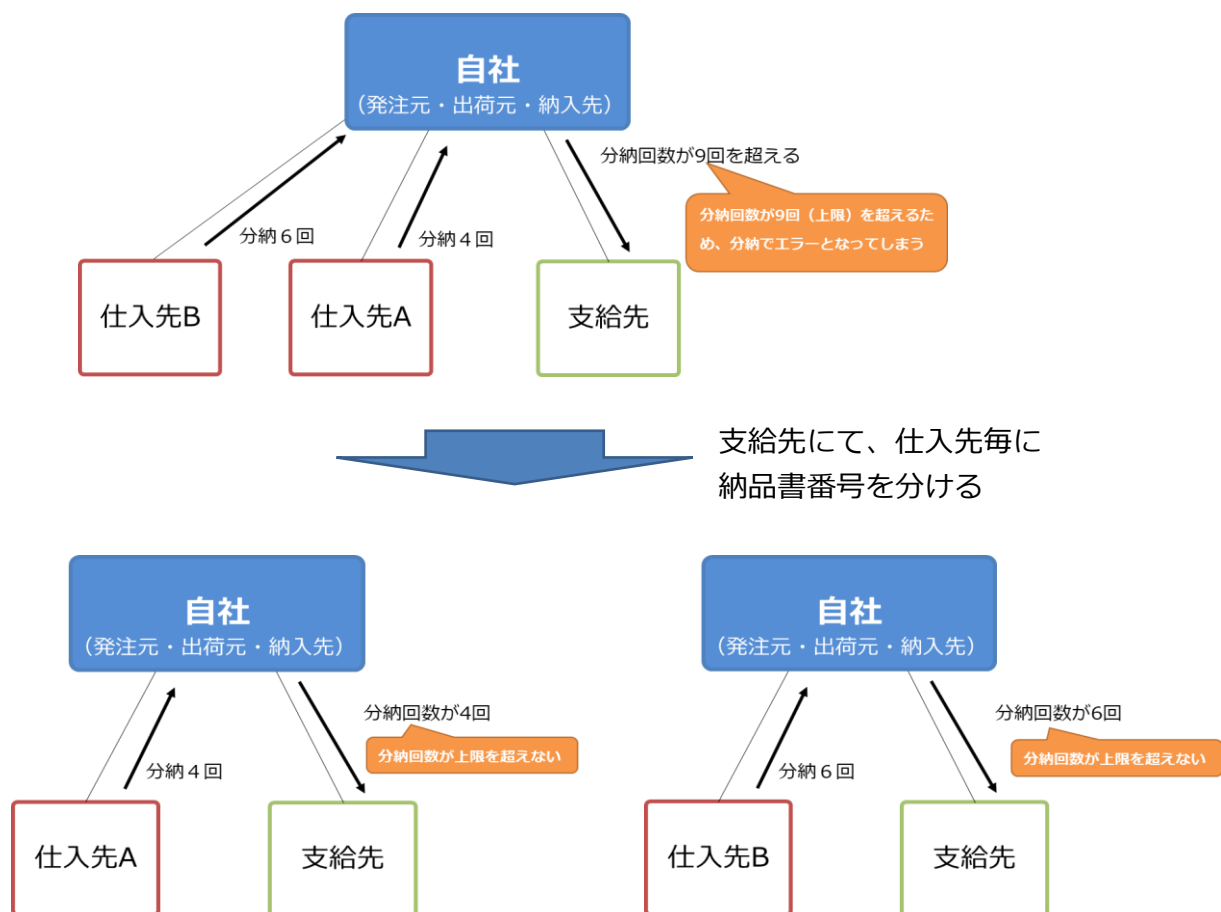
例) 支給先 1 社に対して仕入先が2社の場合

仕入先が 4 回分納し、支給先への分納も4回行います。

その後、別の仕入先が6回分納した場合、支給先への分納も6回行いますが、5回分納した時点で上限である9回となり、それ以上分納を行うことができません。

そのため、仕入先の分納が多い場合、支給先 1 社に対して、仕入先 1 社となる様、仕入先毎に納品書番号を分ける対応を支給先へご依頼ください。

また、支給先への出荷が9回目で未納がある場合、分納ができないため、運用上では部品の引き取りは継続いただき、トヨタWG共通EDI上での支給先への出荷につきましては、全ての仕入先からの未納分が全て完納となった後で、出荷処理をお願いします。



ここでは、発注元の立場で材料を扱う場合のトヨタWG共通EDIでの運用について説明します。

■ 必須 ■

材料は納入指示数と異なる数量で出荷することがあります。



マニュアルの「1.1 出荷数変更対象品番情報(受入品番)を登録する」を参照

かんばんへ材質、寸法の情報を印字する必要があるため、発注元では品番マスタの納品書フリー明細へ必要な情報を登録し、支給先へ連携します。

納品書フリー明細

1～30桁 31～60桁

SCGA270DX 45V 6.05x125 x173

材質、目付など 寸法など

8. CSVレイアウト

<受入品番マスタCSVレイアウト（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））>

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
1	発注者	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)		
2	発注者事業所	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード		
3	受注者	○	CHAR	10	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(出荷元のTDBコード)		
4	受注者事業所	○	CHAR	5	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(出荷元工区)		
5	品番	○	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する 後ろブランク不可		
6	部品取扱識別		CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+ 受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる 後ろブランク不可		
7	取引開始日	○	NUM	8	トヨタWG共通EDI上マスタを有効開始とする日付(yyyymmdd)		
8	取引終了日		NUM	8	トヨタWG共通EDI上マスタを有効期限とする日付(yyyymmdd)		
9	発注元	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)		
10	発注元工区	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(TDBコード)		
11	出荷元	○	CHAR	10	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示すを表す企業コード(出荷元のTDBコード)		
12	出荷元工区	○	CHAR	5	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(出荷元工区)		
13	出荷場所		CHAR	5	出荷を行う企業の出荷場を表すコード		
14	出荷場所名称		CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称		
15	納入先	○	CHAR	10	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(納入先のTDBコード)	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)	支給先企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(支給先のTDBコード)
16	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード	支給先企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(支給先工区)
17	納入場所		CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可	自社の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可	支給先企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可
18	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある		
19	背番号		CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番		
20	品名		CHAR	30	部品の名称		
21	収容数		NUM	8	部品箱一箱の最大入り数		
22	所番地		CHAR	10	部品の置き場の名称		
23	箱種		CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード		
24	単位		CHAR	4	数量の単位が何であるかを表す		
25	部品色		CHAR	35	部品の色を表すコード		

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
26	納品書フリー明細		CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目 鋼材の場合、材質、寸法など、必要な情報を設定します。 1～30桁目 …材質、目付など 31～60桁目…寸法など		
27	納入方式		CHAR	1	—	自社で任意に設定する納入方法を識別するための区分	—
28	後工程エリア(1)－1		CHAR	256	後工程エリア (1) パターンの値 "01"時：1桁 "02"時：1桁 "03"時：10桁 "04"時：20桁 "05"時：4桁 "06"時：2桁 "07"時：2桁 "08"時：1桁 "09"時：2桁		
29	後工程エリア(1)－2		CHAR	256	後工程エリア (1) パターンの値 "01"時：4桁 "02"時：8桁 "03"時：10桁 "04"時：20桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 "07"時：8桁 "08"時：6桁 "09"時：8桁		
30	後工程エリア(1)－3		CHAR	256	後工程エリア (1) パターンの値 "01"時：4桁 "02"時：8桁 "03"時：未使用 "04"時：20桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 "07"時：8桁 "08"時：12桁 "09"時：8桁		
31	後工程エリア(1)－4		CHAR	256	後工程エリア (1) パターンの値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：5桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁		

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
32	後工程エリア(1)－5		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：6桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁		
33	後工程エリア(1)－6		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：12桁 "07"時：4桁 "08"時：12桁 "09"時：未使用		
34	後工程エリア(1)－7		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：22桁 "07"時：未使用 "08"時：22桁 "09"時：未使用		
35	後工程エリア(1)－8		CHAR	256			
36	後工程エリア(1)－9		CHAR	256			
37	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
38	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
39	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
40	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
41	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
42	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
43	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
44	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
45	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
46	後工程エリア(1)－		CHAR	256			
47	後工程エリア(1)－		CHAR	256			

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
48	後工程エリア(2)－1		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：8桁 "03"時：20桁 "04"時：19桁 "05"時：11桁+CD1桁 "06"時：18桁 "07"時：8桁（企業シリアルNo.） "08"時：20桁 "09"時：8桁（企業シリアルNo.）		
49	後工程エリア(2)－2		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：2桁 "05"時：未使用 "06"時：18桁 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用		
50	後工程エリア(2)－3		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：5桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁（企業シリアルNo.） "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用		
51	後工程エリア(2)－4		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：16桁（全角8桁） "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用		
52	後工程エリア(2)－5		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：10桁 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：8桁（企業シリアルNo.） "09"時：未使用		

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
53	後工程エリア(2)－6		CHAR	256			
54	後工程エリア(2)－7		CHAR	256			
55	後工程エリア(2)－8		CHAR	256			
56	後工程エリア(2)－9		CHAR	256			
57	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
58	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
59	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
60	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
61	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
62	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
63	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
64	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
65	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
66	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
67	後工程エリア(2)－		CHAR	256			
68	後工程エリア(3)－1		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "03"時：24桁 "04"時：9桁(バーコード) "05"時：20桁 "06"時：11桁+CD1桁 "07"時：10桁 "08"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR) "09"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR)		
69	後工程エリア(3)－2		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：16桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：20桁(全角10桁) "06"時：16桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：11桁		
70	後工程エリア(3)－3		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：10桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "06"時：10桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：16桁		

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
71	後工程エリア(3)－4		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：4桁 "06"時：6桁 "07"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "08"時：4桁 "09"時：10桁		
72	後工程エリア(3)－5		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：2桁 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：2桁 "09"時：6桁		
73	後工程エリア(3)－6		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：6桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁		
74	後工程エリア(3)－7		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：6桁		

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
75	後工程エリア(3)－8		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁		
76	後工程エリア(3)－9		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：3桁		
77	後工程エリア(3)－10		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁		
78	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
79	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
80	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
81	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
82	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
83	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
84	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
85	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
86	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
87	後工程エリア(3)－		CHAR	256			
88	Q Rフリー項目		CHAR	100			
89	前工程バーコード		CHAR	178	前工程発行パターンの値 "01"時：17桁(CODE39バーコード) "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR)		

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
90	前工程情報1		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：23桁 "02"時：23桁 "03"時：23桁 "04"時：13桁		
91	前工程情報2		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：13桁 "02"時：13桁 "03"時：13桁 "04"時：5桁		
92	前工程情報3		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：20桁 "02"時：46桁 "03"時：46桁 "04"時：20桁		
93	前工程情報4		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：12桁 "02"時：26桁 "03"時：26桁 "04"時：12桁		
94	前工程情報5		CHAR	20	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：10桁 "04"時：20桁		
95	前工程情報6		CHAR	12	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：4桁 "04"時：12桁		
96	納入サイクル		NUM	8	サイクルAA-BB-CC-DD		
97	マスタ区分	○	CHAR	1	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "5"：直送支給	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "1"：購入	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "8"：別送支給
98	直送先／委託先	※	CHAR	10	納入先のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)を設定する ※直送支給の場合、必須の設定	—	支給先のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)を設定する ※別送支給の場合、必須の設定
99	直送先／委託先工区	※	CHAR	5	納入先のトヨタWG共通EDIサーバ上の工区コードを設定する ※直送支給の場合、必須の設定	—	支給先のトヨタWG共通EDIサーバ上の工区コードを設定する ※別送支給の場合、必須の設定

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		
					直送支給	自給	別送支給
100	直送先／委託先部品番号	※	CHAR	25	納入先へ連携する部品番号を設定する ※直送支給の場合、必須の設定	—	支給先へ連携する部品番号を設定する 項目「品番」と同じ値を設定する ※別送支給の場合、必須の設定
101	直送先／委託先部品取扱識別	※	CHAR	25	納入先へ連携する部品取扱識別を設定する ※直送支給の場合で、部品取扱識別を設定する場合は必須の設定	—	支給先へ連携する部品取扱識別を設定する 項目「部品取扱識別」と同じ値を設定する ※別送支給の場合で、部品取扱識別を設定する場合は必須の設定
102	スルー区分	○	NUM	1	中継する立場の場合に、マスタの参考情報変更について自動連携可否を設定する "0"：スルーしない		
103	帳票発行区分		CHAR	1	"1"：後工程 ブランク：企業コードマスタの帳票発行先の設定となる ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "受入品番CSV帳票発行区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力		
104	出荷数変更区分		CHAR	1	材料品として扱うかの設定 "0"：なし "1"：あり ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力		
105	出荷数変更上限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力		
106	出荷数変更下限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力		
107	別送支給区分		CHAR	1	"0"：別送支給品以外 "1"：別送支給品 ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV別送支給区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力		

<出荷品番マスタCSVレイアウト（内製支給）>

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
1	発注者	○	CHAR	10	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(納入先のTDBコード)
2	発注者事業所	○	CHAR	5	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)
3	受注者	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
4	受注者事業所	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(TDBコード)
5	品番	○	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する 後ろブランク不可
6	部品取扱識別		CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる 後ろブランク不可
7	取引開始日	○	NUM	8	トヨタWG共通EDI上マスタを有効開始とする日付(yyyymmdd)
8	取引終了日		NUM	8	トヨタWG共通EDI上マスタを有効期限とする日付(yyyymmdd)
9	発注元	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
10	発注元工区	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
11	出荷元	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
12	出荷元工区	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
13	出荷場所		CHAR	5	自社の出荷場を表すコード 後ろブランク不可
14	出荷場所名称		CHAR	12	自社の出荷場の名称
15	納入先	○	CHAR	10	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(納入先のTDBコード)
16	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)
17	納入場所		CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可
18	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある
19	背番号		CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番
20	品名		CHAR	30	部品の名称
21	収容数		NUM	8	部品箱一箱の最大入り数 取引契約単位の入数(#####0)
22	所番地		CHAR	10	部品の置き場の名称
23	箱種		CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード
24	部品色		CHAR	35	部品の色を表すコード

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
25	単位		CHAR	4	数量の単位が何であるかを表す CS：箱 GRM：グラム KGM：キログラム K6：キリットル LTR：リットル MLT：ミリリットル MMT：ミリメートル CMT：センチメートル MTR：メートル MTK：平方メートル CMQ：立方センチメートル MTQ：立方メートル C62：個(枚、本等含む) SET：セット
26	納入方式		CHAR	1	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分
27	前工程バーコード		CHAR	178	前工程発行パターンの値 "01"時：17桁(CODE39バーコード) "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR)
28	前工程情報1		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：23桁 "02"時：23桁 "03"時：23桁 "04"時：13桁
29	前工程情報2		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：13桁 "02"時：13桁 "03"時：13桁 "04"時：5桁
30	前工程情報3		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：20桁 "02"時：46桁 "03"時：46桁 "04"時：20桁
31	前工程情報4		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：12桁 "02"時：26桁 "03"時：26桁 "04"時：12桁
32	前工程情報5		CHAR	20	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：10桁 "04"時：20桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
33	前工程情報6		CHAR	12	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：4桁 "04"時：12桁
34	発行順情報1		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
35	発行順情報2		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
36	発行順情報3		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
37	発行順情報4		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
38	発行順情報5		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
39	発行順情報6		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
40	発行順情報7		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
41	発行順情報8		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
42	発行順情報9		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
43	発行順情報10		CHAR	256	かんぱん発行時に、並び替えを行う項目
44	納入サイクル		NUM	8	サイクルAA-BB-CC.DD
45	マスタ区分	○	CHAR	1	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "3"：支給
46	直送先／委託先		CHAR	10	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コードを設定する
47	直送先／委託先工区		CHAR	5	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先のトヨタWG共通EDIサーバ上の工区コードを設定する
48	直送先／委託先部品番号		CHAR	25	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先へ連携する部品番号を設定する ※連携時は必須
49	直送先／委託先部品取扱識別		CHAR	25	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先へ連携する部品取扱識別を設定する ※連携時に部品取扱識別を設定する場合は必須
50	スルー区分	○	NUM	1	中継する立場の場合に、マスタの参考情報変更について自動連携可否を設定する "0"：スルーしない
51	出荷数変更区分		CHAR	1	材料品として扱うかの設定 "0"：なし "1"：あり ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
52	出荷数変更上限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
53	出荷数変更下限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
54	別送支給区分		CHAR	1	"0" : 別送支給品以外 "1" : 別送支給品 ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV別送支給区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
55	納品書フリー明細		CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目 鋼材の場合、材質、寸法など、必要な情報を設定します。 1～30桁目 …材質、目付など 31～60桁目…寸法など ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷品番マスタの納品書フリー明細ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

<内示CSVレイアウト（直送支給・自給・別送支給（在庫なし））>

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		受入品番CSV対応No	
					直送支給・自給	別送支給	直送支給・自給	別送支給
1	発注者	○	CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの発注者		1	1
2	発注者事業所	○	CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの発注者事業所		2	2
3	受注者	○	CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの受注者		3	3
4	受注者事業所	○	CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの受注者事業所		4	4
5	品番	○	CHAR	25	受入品番マスタCSVファイルの品番		5	5
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	受入品番マスタCSVファイル部品取扱識別 ※1：部品取扱識別が設定されている場合は必須		6	6
7	発注元		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの発注元		9	9
8	発注元工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの発注元工区		10	10
9	発注元名称		CHAR	20	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業の名称			
10	発注元工場名		CHAR	12	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場の名称			
11	出荷元		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの出荷元		11	11
12	出荷元工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの出荷元工区		12	12
13	出荷場所		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの出荷場所		13	13
14	出荷元名称		CHAR	20	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業名称（出荷元名）			
15	出荷元工場名		CHAR	12	出荷を行う企業の工場の名称(出荷元工場名)			
16	出荷場所名称		CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称			
17	納入先		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの納入先	受入品番マスタCSVファイルの発注元	15	9
18	納入先工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの納入先	受入品番マスタCSVファイルの発注元	16	10
19	納入場所		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの納入場所	発注元の納入場所	17	
20	納入先名称		CHAR	20	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業名称（納入先名）			
21	納入先工場名		CHAR	12	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場名称（納入先工場名）			
22	適用業務区分		NUM	1	現品票（かんばん）QR、納品書QRに印字される区分納入先が任意で設定する JAMA規定では、以下の通り "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：KD部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材 "7"：設備			
23	発行日		NUM	8	作成した日付(yyyyMMdd)			
24	表示用品番		CHAR	25	受入品番マスタCSVファイルの表示用品番		18	18
25	背番号		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの背番号		19	19
26	品名		CHAR	30	受入品番マスタCSVファイルの品名		20	20
27	収容数		NUM	8	受入品番マスタCSVファイルの収容数		21	21
28	所番地		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの所番地		22	22
29	箱種		CHAR	8	受入品番マスタCSVファイルの箱種		23	23

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		受入品番CSV対応No	
					直送支給・自給	別送支給	直送支給・自給	別送支給
30	1（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
31	2（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
32	3（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
33	4（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
34	5（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
35	6（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
36	7（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
37	8（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
38	9（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
39	10（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
40	11（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
41	12（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
42	13（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
43	14（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
44	15（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		受入品番CSV対応No	
					直送支給・自給	別送支給	直送支給・自給	別送支給
45	16（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
46	17（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
47	18（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
48	19（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
49	20（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
50	21（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
51	22（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
52	23（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
53	24（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
54	25（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
55	26（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
56	27（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
57	28（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
58	29（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
59	30（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明		受入品番CSV対応No	
					直送支給・自給	別送支給	直送支給・自給	別送支給
60	31（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う			
61	当月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）			
62	次月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）			
63	次々月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）			
64	部品色		CHAR	35	受入品番マスタCSVファイルの部品色		25	25
65	納入方式		CHAR	1	受入品番マスタCSVファイルの納入方式		27	27
66	納入方式名称		CHAR	12	納入方式の名称			
67	内示／確定区分	○	NUM	1	"4"：内示（速報） "1"：確定内示			
68	文言1		CHAR	80	参考として付与する任意の文字			
69	文言2		CHAR	80	参考として付与する任意の文字			
70	文言3		CHAR	80	参考として付与する任意の文字			
71	文言4		CHAR	80	参考として付与する任意の文字			
72	文言5		CHAR	80	参考として付与する任意の文字			
73	文言6		CHAR	80	参考として付与する任意の文字			
74	情報区分コード		NUM	10	仮内示 "6111" 確定内示 "6121"			
75	確定注文対象期間区分	○	CHAR	1	"M"：月単位			
76	確定注文対象期間	○	NUM	6	対象期間(年月)を設定する(yyyymm)			
77	処理番号		NUM	14	外部システムからトヨタWG共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目 (#####0)			
78	納入サイクル		NUM	8	受入品番マスタCSVファイルの納入サイクル		96	96
79	単位		CHAR	4	受入品番マスタCSVファイルの単位		24	24

<支給提示CSVレイアウト（直送支給・内製支給・別送支給（在庫なし））>

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明			受入品番 CSVNo		出荷品 番
					直送支給	別送支給	内製支給	直送支給	別送支給	内製支給
1	発注者	○	CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの直送先 ／委託先		出荷品番マスタCSV ファイルの発注者	98	98	1
2	発注者事業所	○	CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの直送先 ／委託先工区		出荷品番マスタCSV ファイルの発注者事 業所	99	99	2
3	受注者	○	CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの発注者		出荷品番マスタCSV ファイルの受注者	1	1	3
4	受注者事業所	○	CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの発注者 事業所		出荷品番マスタCSV ファイルの受注者事 業所	2	2	4
5	品番	○	CHAR	25	受入品番マスタCSVファイルの直送先 ／委託先部品番号		出荷品番マスタCSV ファイルの品番	100	100	5
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	受入品番マスタCSVファイルの直送先 ／委託先部品取扱識別 ※1：部品取扱識別が設定されている場 合は必須		出荷品番マスタCSV ファイルの部品取扱 識別 ※1：部品取扱識別 が設定されている場 合は必須	101	101	6
7	発注元		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの発注元		出荷品番マスタCSV ファイルの発注元	9	9	9
8	発注元工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの発注元 工区		出荷品番マスタCSV ファイルの発注元工 区	10	10	10
9	発注元名称		CHAR	20	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す 企業の名称		自社のトヨタWG共 通EDIサーバを示す 企業の名称			
10	発注元工場名		CHAR	12	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工 場の名称		自社のトヨタWG共 通EDIサーバ上の工 場の名称			
11	出荷元		CHAR	10	受入品番マスタ CSVファイルの出 荷元	受入品番マスタ CSVファイルの発 注元	出荷品番マスタCSV ファイルの出荷元	11	9	11
12	出荷元工区		CHAR	5	受入品番マスタ CSVファイルの出 荷元工区	受入品番マスタ CSVファイルの発 注元工区	出荷品番マスタCSV ファイルの出荷元工 区	12	10	12
13	出荷場所		CHAR	5	受入品番マスタ CSVファイルの出 荷場所	発注元の出荷場所	出荷品番マスタCSV ファイルの出荷場所	13		13
14	出荷元名称		CHAR	20	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDI サーバを示す企業名称(出荷元名)		自社のトヨタWG共 通EDIサーバを示す 企業名称			

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明			受入品番 CSVNo		出荷品番
					直送支給	別送支給	内製支給	直送支給	別送支給	内製支給
15	出荷元工場名		CHAR	12	出荷を行う企業の工場の名称(出荷元工場名)		自社の工場の名称			
16	出荷場所名称		CHAR	12	受入品番マスタCSVファイルの出荷場所名称		出荷品番マスタCSVファイルの出荷場所名称	14	14	14
17	納入先		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの納入先		出荷品番マスタCSVファイルの納入先	15	15	15
18	納入先工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの納入先工区		出荷品番マスタCSVファイルの納入先工区	16	16	16
19	納入場所		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの納入場所		出荷品番マスタCSVファイルの納入場所	17	17	17
20	納入先名称		CHAR	20	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業名称（納入先名）					
21	納入先工場名		CHAR	12	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場名称（納入先工場名）					
22	適用業務区分		NUM	1	現品票（かんばん）QR、納品書QRに印字される区分納入先が任意で設定する JAMA規定では、以下の通り "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：K D部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材 "7"：設備					
23	発行日		NUM	8	作成した日付(yyyyMMdd)					
24	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある		出荷品番マスタCSVファイルの表示用品番			18
25	背番号		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの背番号		出荷品番マスタCSVファイルの背番号	19	19	19
26	品名		CHAR	30	受入品番マスタCSVファイルの品名		出荷品番マスタCSVファイルの品名	20	20	20
27	収容数		NUM	8	受入品番マスタCSVファイルの収容数		出荷品番マスタCSVファイルの収容数	21	21	21
28	所番地		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの所番地		出荷品番マスタCSVファイルの所番地	22	22	22

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明			受入品番 CSVNo		出荷品番
					直送支給	別送支給	内製支給	直送支給	別送支給	内製支給
29	箱種		CHAR	8	受入品番マスタCSVファイルの箱種		出荷品番マスタCSVファイルの箱種	23	23	23
30	1（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
31	2（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
32	3（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
33	4（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
34	5（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
35	6（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
36	7（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
37	8（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
38	9（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
39	10（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
40	11（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
41	12（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
42	13（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明			受入品番		出荷品
								CSVNo		番
					直送支給	別送支給	内製支給	直送支給	別送支給	内製支給
43	14（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
44	15（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
45	16（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
46	17（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
47	18（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
48	19（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
49	20（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
50	21（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
51	22（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
52	23（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
53	24（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
54	25（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
55	26（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
56	27（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明			受入品番		出荷品
								CSVNo		番
					直送支給	別送支給	内製支給	直送支給	別送支給	内製支給
57	28（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
58	29（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
59	30（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
60	31（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う					
61	当月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）					
62	次月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）					
63	次々月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）					
64	部品色		CHAR	35	受入品番マスタCSVファイルの部品色	出荷品番マスタCSV ファイルの部品色		25	25	24
65	納入方式		CHAR	1	受入品番マスタCSVファイルの納入方式	出荷品番マスタCSV ファイルの納入方式		27	27	26
66	納入方式名称		CHAR	12	納入方式の名称					
67	内示／確定区分	○	NUM	1	"4"：内示					
68	文言1		CHAR	80	参考として付与する任意の文字					
69	文言2		CHAR	80	参考として付与する任意の文字					
70	文言3		CHAR	80	参考として付与する任意の文字					
71	文言4		CHAR	80	参考として付与する任意の文字					
72	文言5		CHAR	80	参考として付与する任意の文字					
73	文言6		CHAR	80	参考として付与する任意の文字					
74	情報区分コード		NUM	10	支給提示 "6112"					
75	確定注文対象期間区分	○	CHAR	1	"M"：月単位					
76	確定注文対象期間	○	NUM	6	対象期間(年月)を設定する。(yyyymm)					
77	処理番号		NUM	14	外部システムからトヨタWG共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目(#####0)					
78	納入サイクル		NUM	8	受入品番マスタCSVファイルの納入サイクル	出荷品番マスタCSV ファイルの納入サイクル		96	96	44
79	単位		CHAR	4	受入品番マスタCSVファイルの単位	出荷品番マスタCSV ファイルの単位		24	24	25

9. 取得できるデータ

ここでは発注元の立場で取得できるデータについて説明します。

1) 取得できるデータについて

Web画面、外部I/Fから取得できるデータについて説明します。

外部I/Fの場合、ファイルの連携方法はシステム提供会社へお問い合わせをお願いします。



ワンポイント

共通EDIではデータを90日間保持しています。

90日を超えた場合、共通EDIからは削除されますので、実績など必要な場合、適宜保存をお願いします。

※品番マスタは取引終了日から90日間保持

・品番マスタ

自社で取り扱う品番の情報になります。自社から商流上の取引先へ連携した品番情報になります。



マニュアルの「3.15 品番情報の照会をする」を参照

・支給提示

自社から納入先へ送信した支給提示の情報になります。

外部I/Fでは送信した支給提示について、取得することはできません。



マニュアルの「7.10.4 支給先への支給提示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・内示

自社から出荷元へ送信した内示の情報になります。

外部I/Fでは送信した内示について、取得することはできません。



マニュアルの「7.1.4 仕入先への内示情報のCSVデータをダウンロードする」

「7.2.4 仕入先への確定内示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・納入指示

別送支給（在庫なし）において、支給先から受信した納入指示の情報になります。



マニュアルの「5.6 集計条件を指定し、CSVデータをダウンロードする」を参照

・仮納入指示

別送支給（在庫なし）において、支給先から納入指示を受信した場合に取得できる情報です。仮納入指示は仕入先へ送信する納入指示の基となる情報となります。

※外部I/Fを利用した場合のみ取得可能

・ 出荷実績

出荷元で出荷した実績になります。

A) 自給



マニュアルの「8.4.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.4.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

B) 直送支給



マニュアルの「10.4.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「10.4.2 受注者単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

C) 内製支給



マニュアルの「5.2.1 集計条件を指定し、CSVデータをダウンロードする」

「5.2.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

D) 別送支給（在庫あり）



マニュアルの「8.4.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.4.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

E) 別送支給（在庫なし）



マニュアルの「8.4.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.4.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

・ 出荷可能実績

別送支給（在庫なし）において、仕入先への受領を行うと、仕入先からの出荷・未納情報を基に支給先へのお荷できる情報に振り替えた実績になります。

※外部I/Fを利用した場合のみ取得可能

・ 受領実績

納入先で受領した実績になります。

A) 自給



マニュアルの「8.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.2.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

B) 直送支給

納入先で受領した実績になります。



マニュアルの「10.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「10.2.2 発注者単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

C) 内製支給



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

D) 別送支給（在庫あり）



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

E) 別送支給（在庫なし）



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

・受領実績（返品分）

納入先で受領した品番の内、返品が発生した実績になります。

返品の実績は受領数が"マイナス"の値で取得されます。

A) 自給



マニュアルの「8.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.2.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

B) 直送支給

納入先で受領した実績になります。



マニュアルの「10.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「10.2.2 発注者単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

C) 内製支給



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

D) 別送支給（在庫あり）



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

E) 別送支給（在庫なし）



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

2) データ送受信の相関図と取得可能なデータ

各データの送受信の流れと取得できるデータについて説明します。

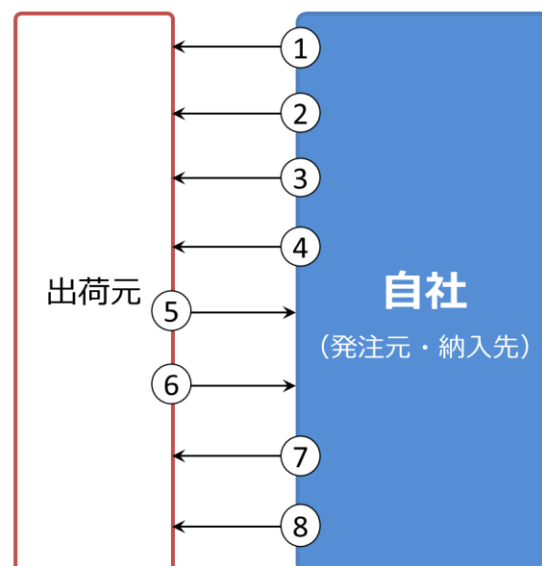
A) 自給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	内示	送信	○	×
③	納入指示	送信	○	○
④	納入指示キャンセル	送信	○	○
⑤	出荷実績	受信	○	○
⑥	納期回答	受信	○	○
⑦	受領実績	送信	○	○
⑧	受領実績 返品	送信	○	○



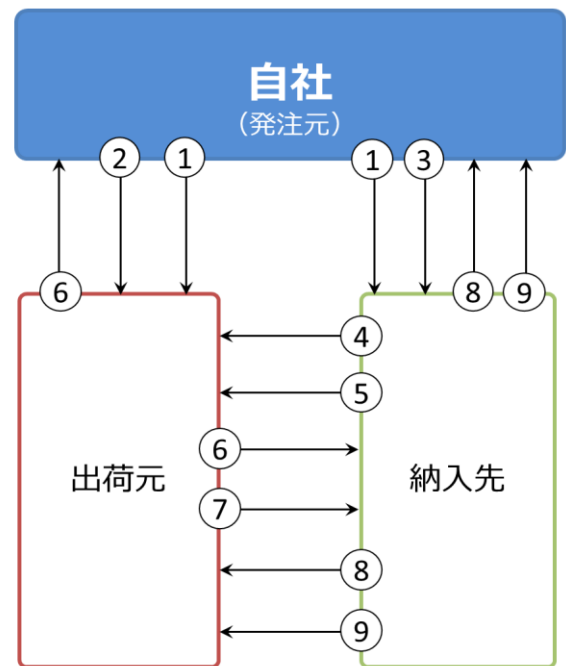
B) 直送支給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【実績取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	内示	送信	○	×
③	支給提示	送信	○	×
④	納入指示	—	×	×
⑤	納入指示キャンセル	—	×	×
⑥	出荷実績	受信	○	○
⑦	納期回答	—	×	×
⑧	受領実績	受信	○	○
⑨	受領実績 返品	受信	○	○



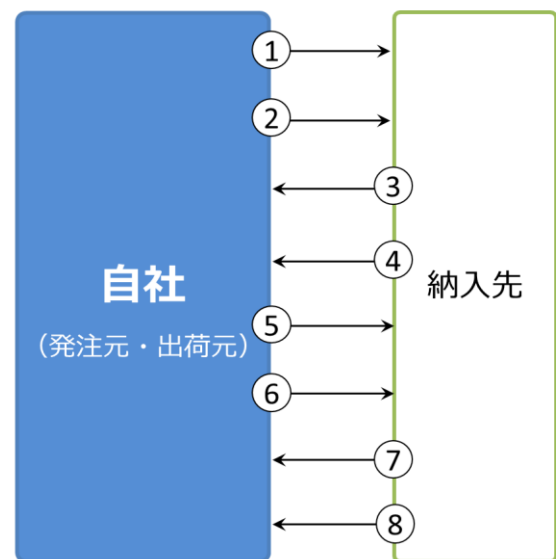
C) 内製支給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	支給提示	送信	○	×
③	納入指示	受信	○	○
④	納入指示キャンセル	受信	○	○
⑤	出荷実績	送信	○	○
⑥	納期回答	送信	○	○
⑦	受領実績	受信	○	○
⑧	受領実績 返品	受信	○	○



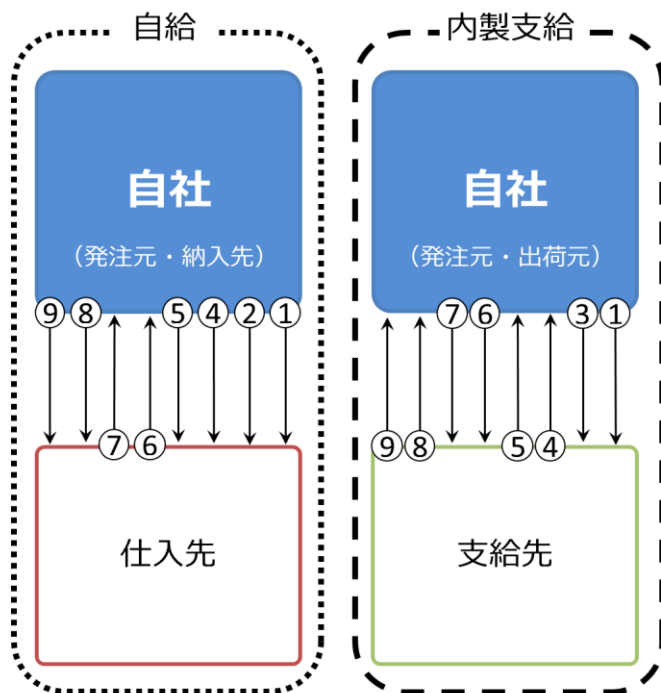
D) 別送支給（在庫あり）

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	内示	送信	○	×
③	支給提示	送信	○	×
④	納入指示	送受信	○	○
⑤	納入指示キャンセル	送受信	○	○
⑥	出荷実績	送受信	○	○
⑦	納期回答	送受信	○	○
⑧	受領実績	送受信	○	○
⑨	受領実績 返品	送受信	○	○



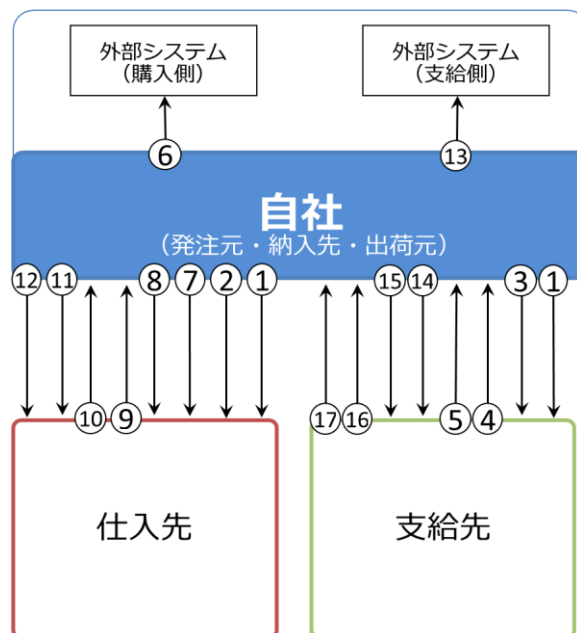
E) 別送支給（在庫なし）

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	内示	送信	○	×
③	支給提示	送信	○	×
④	納入指示	受信	○	○
⑤	納入指示キャンセル	受信	○	○
⑥	仮納入指示	—	×	○
⑦	納入指示	送信	○	○
⑧	納入指示キャンセル	送信	○	○
⑨	出荷実績	受信	○	○
⑩	納期回答	受信	○	○
⑪	受領実績	送信	○	○
⑫	受領実績 返品	送信	○	○
⑬	出荷可能実績	—	×	○
⑭	出荷実績	送信	○	○
⑮	納期回答	送信	○	○
⑯	受領実績	受信	○	○
⑰	受領実績 返品	受信	○	○



10. よくある問合せ

下記に記載のない症状については、サポートサイトのよくあるご質問を参照頂くか、サポートデスクへご連絡ください。

出荷	
こんなとき（症状）	どうする（対応方法）
自社では品番マスタが削除されているが、連携先で品番マスタが存在してしまっている	トヨタWG共通EDIサポートデスクへお問い合わせください。 連携先の企業に対して、サポートデスクにて品番マスタ削除の対応を行います。 ※Web画面、CSVを使用し、取引終了日の項目など、既に存在する品番情報に対して更新した場合は、マスタの連携まで行ってください。 自給の場合： （⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 11項） 直送支給の場合： （⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 24項） 内製支給の場合：
内示と確定内示どちらを送信したらよいか、また、両方とも送信する必要があるか	"内示"が速報の情報、"確定内示"が確定した情報となり、トヨタWG共通EDIのシステムではどちらかが存在していれば、納入指示を送信することができます。 どのように運用していくかは、取引先と相談して決めてください。
納入先が納入指示を送信する際に、内示・支給提示の数量が影響するか	影響はしません。数量は参考の情報となります。
中継企業・物流企業（納入先、出荷元）で設定された納入場所、出荷場所ではなく、自社に設定されている値で実績を受信することは可能なのか	実績復元の機能があるため、復元対象項目であれば可能となります。 （⇒サポートサイト 基本モジュール 10章 5項）

トヨタWG共通EDI 運用ガイド

中継発注・支給機能



2025/3/28

トヨタWG共通EDI推進協会

— 目次 —

※項目をクリックすることで対象ページへ移動できます。

1. 物流出荷元へ製造委託を行う

初期設定	P.2
マスタ連携	P.3
内示連携	P.4
CSVレイアウト	P.5 ~ P.11

2. 直送支給先へ直送支給を行う

初期設定	P.12
マスタ連携	P.13
内示連携	P.14
CSVレイアウト	P.15 ~ P.27

3. 外部I/Fを利用し、製造委託または直送支給を行う

初期設定	P.28
マスタ連携	P.29
内示連携	P.30

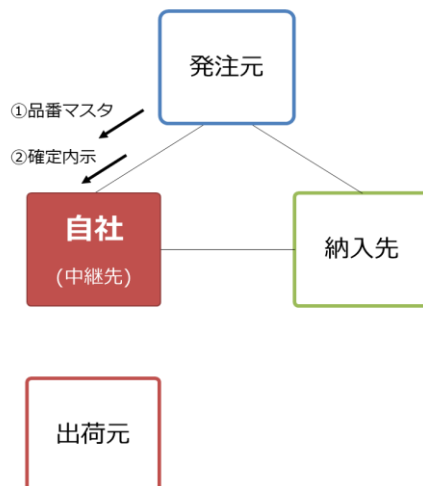
4. 取得できるデータ P.31 ~ P.32**5. よくある問合せ** P.33 ~ P.34

1. 物流出荷元へ製造委託を行う

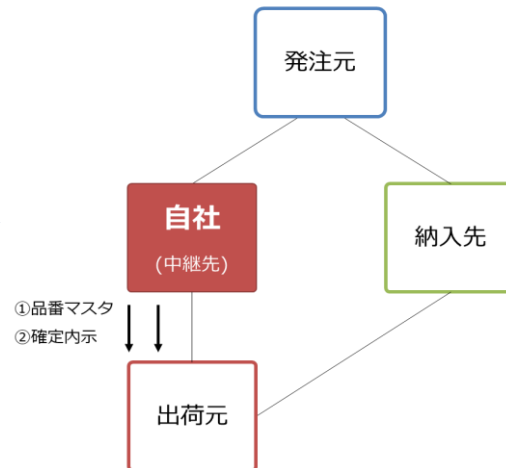
ここではトヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、製造委託先へ中継する際に必要な初期設定と基本操作について説明します。

文中の  はサポートサイトに掲載している基本モジュールのマニュアルの章と項番です。
本機能を使用するには“中継発注・支給”の契約が必要です。

【製造委託先への連携前】



【製造委託先への連携後】



＜初期設定＞

製造委託を行っていただくにあたり、必須で設定していただくものと、任意の設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 品番マスタの自動連携設定をする

既に連携済みのマスタに変更があった際に製造委託先へ自動で連携します。
新規品番は手動で製造委託先を設定する必要があるため、対象外となります。

 マニュアルの「9.8 品番マスタの自動連携を設定する」を参照

2) 確定内示の自動連携設定をする

既に製造委託先へ連携されている品番の確定内示を自動で連携します。
製造委託先へ連携されていない品番は対象外です。

 マニュアルの「9.1 データ自動連携を有効にする」を参照

■ 任意 ■

1) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

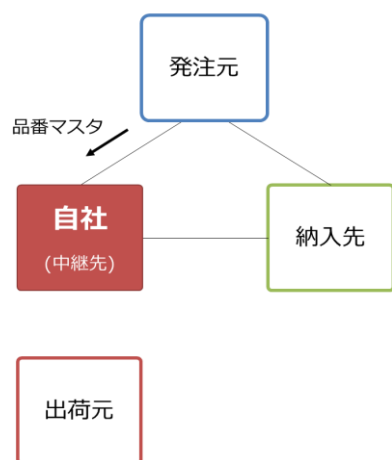
CSVファイル入出力時で社内用企業コードを取り扱えるように登録を行います。

 マニュアルの「3.3 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照

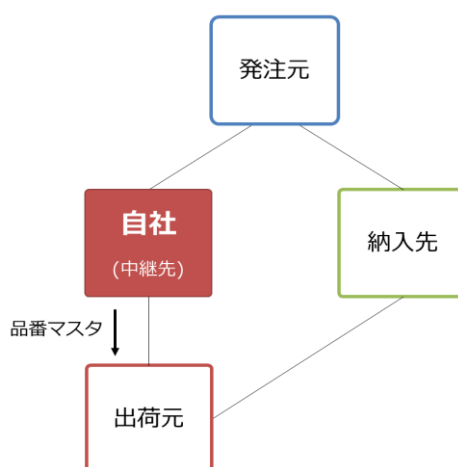
<マスタ連携>

発注元から品番情報を受信したら、製造委託先へ品番情報を連携する必要があります。
連携するための設定と連携方法について説明します。

【品番マスタ連携前】



【品番マスタ連携後】



1) 品番情報を変更して製造委託先へ連携する

出荷品番マスタより対象品番の情報を変更して、製造委託先へ連携します。
変更はWeb画面またはCSVファイルで変更できます。

A) Web画面で品番情報を変更する



マニュアルの「9.3 仕入先側の中継設定を行う」を参照

B) CSVファイルで品番情報を変更する



マニュアルの「9.5 仕入先側の中継設定をCSVで一括して行う」を参照

(製造委託先を誤って連携した場合)

1) 品番情報の連携を取り消す

連携先を誤った場合、取り消すことができます。



マニュアルの「9.9 誤って連携した品番情報の取り消しを行う」を参照



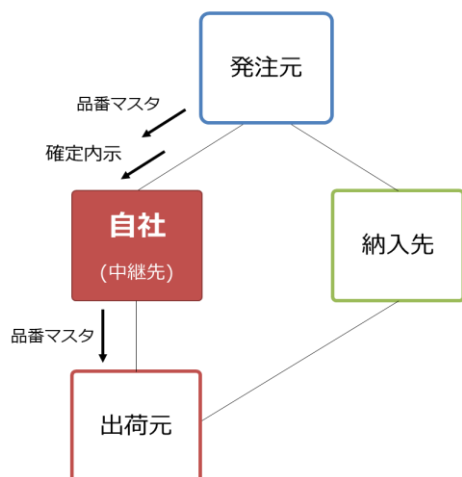
ワンポイント

・本機能は連携先を誤った場合のみ使用してください。商流の切り替えで使用すると、実績が正しく計上されない可能性があります。

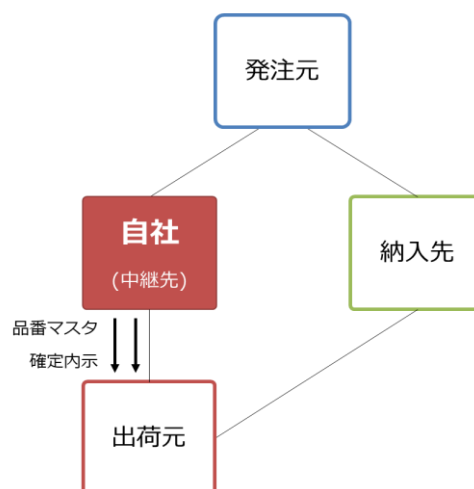
<内示連携>

発注元から受信した確定内示を製造委託先へ連携します。
連携するための設定と連携方法について説明します。

【確定内示連携前】



【確定内示連携後】



1) 確定内示を製造委託先へ連携する

確定内示を製造委託先へ連携するために、確定内示CSVをダウンロードして
修正後にアップロードします。



マニュアルの「9.7 仕入先側で委託先へ確定内示の送信を行う」を参照



ワンポイント

- ・マスタを支給先へ連携後に内示を受信すると、自動で連携される機能があります。その機能を用いることで連携忘れなどを防ぐことができます。

1. 出荷品番マスタCSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
1	発注者	○	CHAR	10	商流上発注者の共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
2	発注者事業所	○	CHAR	5	商流上発注者の共通EDIサーバ上の工場コード
3	受注者	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
4	受注者事業所	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
5	品番	○	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する 後ろブランク不可
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+ 受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる 後ろブランク不可 ※1：部品取扱識別が設定されている場合は必須
7	取引開始日	○	NUM	8	共通EDI上マスタを有効開始とする日付
8	取引終了日		NUM	8	共通EDI上マスタを有効期限とする日付
9	発注元	○	CHAR	10	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
10	発注元工区	○	CHAR	5	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバ上の工場コード(TDBコード)
11	出荷元	○	CHAR	10	出荷を行う企業の共通EDIサーバを示すを表す企業コード(出荷元のTDBコード)
12	出荷元工区	○	CHAR	5	出荷を行う企業の共通EDIサーバ上の工場コード(仕入先工区)
13	出荷場所		CHAR	5	出荷を行う企業の出荷場を表すコード 後ろブランク不可
14	出荷場所名称		CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称
15	納入先	○	CHAR	10	納入指示を行う企業の共通EDIサーバを示す企業コード(納入先)
16	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示を行う企業の共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)
17	納入場所		CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可
18	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある
19	背番号		CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番
20	品名		CHAR	30	部品の名称
21	収容数		NUM	8	部品箱一箱の最大入り数 取引契約単位の入数
22	所番地		CHAR	10	部品の置き場の名称
23	箱種		CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード
24	部品色		CHAR	35	部品の色を表すコード

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
25	単位		CHAR	4	CS：箱 GRM：グラム KGM：キログラム K6：キリットル LTR：リットル MLT：ミリリットル MMT：ミリメートル CMT：センチメートル MTR：メートル MTK：平方メートル CMQ：立方センチメートル MTQ：立方メートル C62：個（枚、本等含む） SET：セット ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
26	納入方式		CHAR	1	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分
27	前工程バーコード		CHAR	178	前工程発行パターンの値 "01"時：17桁(CODE39バーコード) "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR)
28	前工程情報1		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：23桁 "02"時：23桁 "03"時：23桁 "04"時：13桁
29	前工程情報2		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：13桁 "02"時：13桁 "03"時：13桁 "04"時：5桁
30	前工程情報3		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：20桁 "02"時：46桁 "03"時：46桁 "04"時：20桁
31	前工程情報4		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：12桁 "02"時：26桁 "03"時：26桁 "04"時：12桁
32	前工程情報5		CHAR	20	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：10桁 "04"時：20桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
33	前工程情報6		CHAR	12	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：4桁 "04"時：12桁
34	発行順情報1		CHAR	256	
35	発行順情報2		CHAR	256	
36	発行順情報3		CHAR	256	
37	発行順情報4		CHAR	256	
38	発行順情報5		CHAR	256	
39	発行順情報6		CHAR	256	
40	発行順情報7		CHAR	256	
41	発行順情報8		CHAR	256	
42	発行順情報9		CHAR	256	
43	発行順情報10		CHAR	256	
44	納入サイクル		NUM	8	サイクルAA-BB-CC.DD
45	マスタ区分	○	CHAR	1	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "2"：売り "6"：製造委託
46	直送先／委託先		CHAR	10	製造委託の場合、委託先の共通EDIサーバを示す企業コード(出荷元のTDBコード)
47	直送先／委託先工区		CHAR	5	製造委託の場合、委託先の共通EDIサーバ上の工場コード
48	直送先／委託先部品番号		CHAR	25	製造委託の場合、委託先へ連携する部品番号を設定する ※連携時は必須
49	直送先／委託先部品取扱識別		CHAR	25	製造委託の場合、委託先へ連携する部品取扱識別を設定する ※連携時に部品取扱識別を設定する場合は必須
50	スルー区分	○	NUM	1	中継する立場の場合に、マスタの参考情報変更について自動連携可否を設定する "0"：スルーしない ※未対応機能（2017/06時点）
51	出荷数変更区分		CHAR	1	"0"：なし "1"：あり ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
52	出荷数変更上限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
53	出荷数変更下限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
54	別送支給区分		CHAR	1	"0" : 別送支給品以外 "1" : 別送支給品 ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV別送支給区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
55	納品書フリー明細		CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目 鋼材の場合、材質、寸法など、必要な情報を設定します。 1～30桁目 …材質、目付など 31～60桁目…寸法など ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷品番マスタの納品書フリー明細ダウンロードフラグ"が Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

2. 内示CSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	出荷品番CSV 対応No
1	発注者	○	CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの受注者	3
2	発注者事業所	○	CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの受注者事業所	4
3	受注者	○	CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの直送先／委託先	46
4	受注者事業所	○	CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの直送先／委託先工区	47
5	品番	○	CHAR	25	出荷品番マスタCSVファイルの品番	48
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	出荷品番マスタCSVファイル部品取扱識別 ※1：部品取扱識別が設定されている場合は必須	49
7	発注元		CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの発注元	9
8	発注元工区		CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの発注元工区	10
9	発注元名称		CHAR	20	自社の共通EDIサーバを示す企業の名称	
10	発注元工場名		CHAR	12	自社の共通EDIサーバ上の工場の名称	
11	出荷元		CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの出荷元	11
12	出荷元工区		CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの出荷元工区	12
13	出荷場所		CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの出荷場所	13
14	出荷元名称		CHAR	20	出荷を行う企業の共通EDIサーバを示す企業名称(出荷元名)	
15	出荷元工場名		CHAR	12	出荷を行う企業の工場の名称(出荷元工場名)	
16	出荷場所名称		CHAR	12	出荷品番マスタCSVファイルの出荷場所名称	14
17	納入先		CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの納入先	15
18	納入先工区		CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの納入先工区	16
19	納入場所		CHAR	5	出荷品番マスタCSVファイルの納入場所	17
20	納入先名称		CHAR	20	納入指示を行う企業の共通EDIサーバを示す企業名称（納入	
21	納入先工場名		CHAR	12	納入指示を行う企業の共通EDIサーバ上の工場名称（納入先 工場名）	
22	適用業務区分		NUM	1	現品票（かんばん）QR、納品書QRに印字される区分納入先 が任意で設定する JAMA規定では、以下の通り "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：K D部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材 "7"：設備	
23	発行日		NUM	8	作成した日付(yyyyMMdd)	
24	表示用品番		CHAR	25	出荷品番マスタCSVファイルの表示用品番	18
25	背番号		CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの背番号	19
26	品名		CHAR	30	出荷品番マスタCSVファイルの品名	20
27	収容数		NUM	8	出荷品番マスタCSVファイルの収容数	21
28	所番地		CHAR	10	出荷品番マスタCSVファイルの所番地	22
29	箱種		CHAR	8	出荷品番マスタCSVファイルの箱種	23
30	1（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
31	2（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
32	3（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	

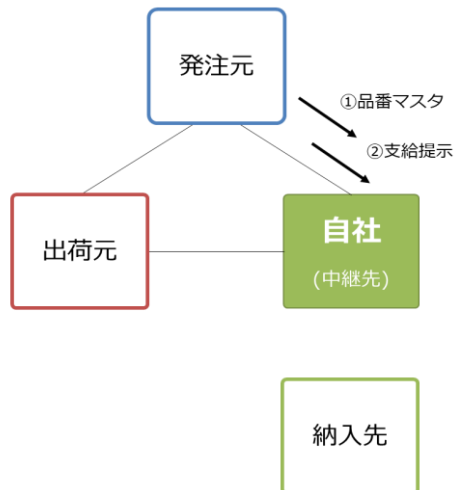
No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	出荷品番CSV 対応No
33	4（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
34	5（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
35	6（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
36	7（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
37	8（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
38	9（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
39	10（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
40	11（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
41	12（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
42	13（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
43	14（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
44	15（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
45	16（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
46	17（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
47	18（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
48	19（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
49	20（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
50	21（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	出荷品番CSV 対応No
51	22（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
52	23（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
53	24（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
54	25（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
55	26（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
56	27（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
57	28（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
58	29（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
59	30（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
60	31（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
61	当月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）	
62	次月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）	
63	次々月内示		NUM	9	月の合計納入数（#####0）	
64	部品色		CHAR	35	出荷品番マスタCSVファイルの部品色	25
65	納入方式		CHAR	1	出荷品番マスタCSVファイルの納入方式	27
66	納入方式名称		CHAR	12	納入方式の名称	
67	内示／確定区分	○	NUM	1	"4"：内示（速報） "1"：確定内示	
68	文言1		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
69	文言2		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
70	文言3		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
71	文言4		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
72	文言5		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
73	文言6		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
74	情報区分コード		NUM	10	仮内示 "6111" 確定内示 "6121"	
75	確定注文対象期間区分	○	CHAR	1	"M"：月単位	
76	確定注文対象期間	○	NUM	6	対象期間(年月)を設定する(yyyymm)	
77	処理番号		NUM	14	外部システムから共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目(#####0)	
78	納入サイクル		NUM	8	出荷品番マスタCSVファイルの納入サイクル	44
79	単位		CHAR	4	出荷品番マスタCSVファイルの単位	25

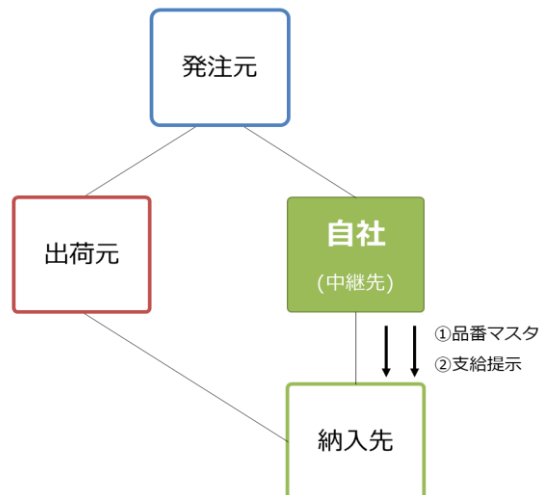
2. 直送支給先へ直送支給を行う

ここではトヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、直送先へ中継する際に必要な初期設定と基本操作について説明します。

【直送支給先への連携前】



【直送支給先への連携後】



<初期設定>

中継を行っていただくにあたり、必須で設定していただくものと、任意の設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 品番マスタの自動連携設定をする

既に連携済みのマスタに変更があった際に直送先へ自動で連携します。
新規品番は手動で直送先を設定する必要があるため、対象外となります。

マニュアルの「9.8 品番マスタの自動連携を設定する」を参照

2) 支給提示の自動連携設定をする

既に直送先へ連携されている品番の支給提示を自動で連携します。
直送先へ連携されていない品番は対象外です。

マニュアルの「9.1 データ自動連携を有効にする」を参照

■ 任意 ■

1) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

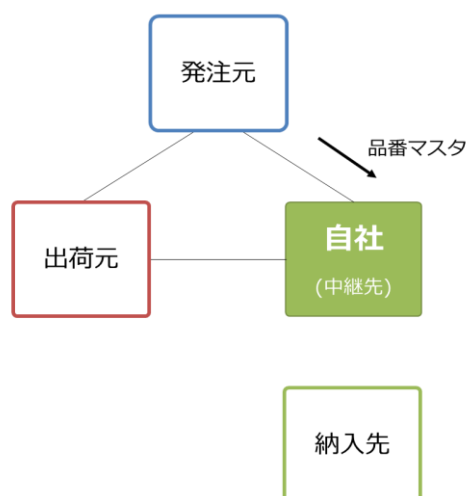
CSVファイル入出力時で社内用企業コードを取り扱えるように登録を行います。

マニュアルの「6.5 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照

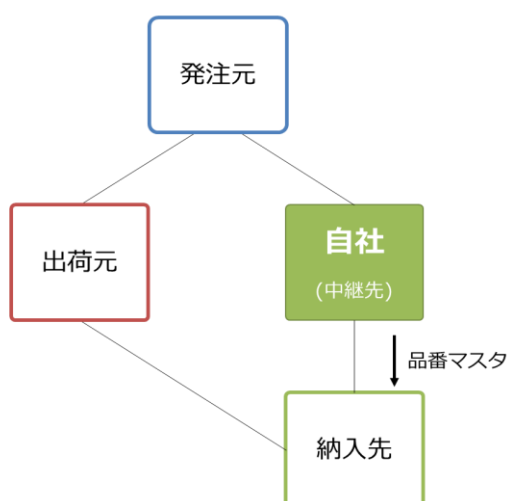
<マスタ連携>

発注元から品番情報を受信したら、直送先へ品番情報を連携する必要があります。
連携するための設定と連携方法について説明します。

【品番マスタ連携前】



【品番マスタ連携後】



1) 品番情報を変更して直送先へ連携する

受入品番マスタより対象品番の情報を変更して、直送先へ連携します。
変更はWeb画面またはCSVファイルで変更できます。

A) Web画面で品番情報を変更する

 マニュアルの「9.2 支給先側の中継設定を行う」を参照

B) CSVファイルで品番情報を変更する

 マニュアルの「9.4 支給先側の中継設定をCSVで一括して行う」を参照

(直送先を誤って連携した場合)

1) 品番情報の連携を取り消す

連携先を誤った場合、取り消すことができます。

 マニュアルの「9.9 誤って連携した品番情報の取り消しを行う」を参照



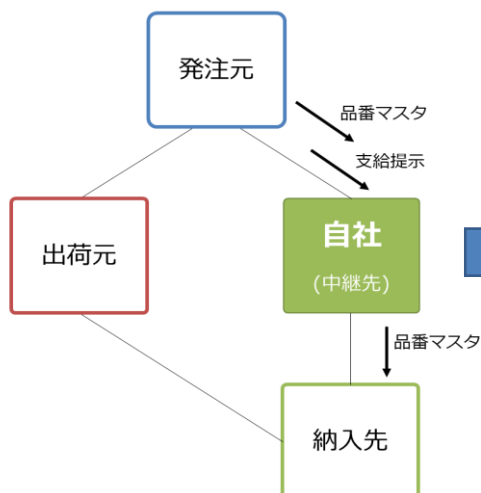
ワンポイント

・本機能は連携先を誤った場合のみ使用してください。商流の切り替えで使用すると、実績が正しく計上されない可能性があります。

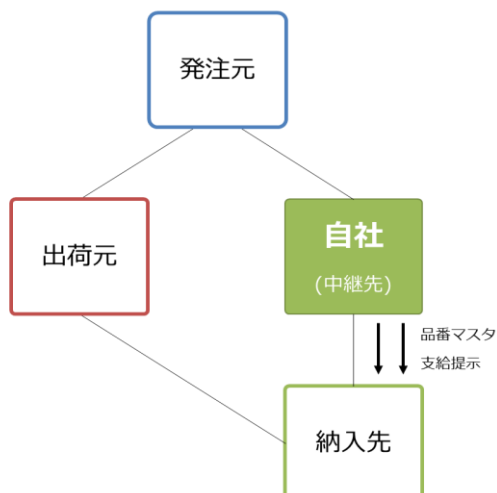
<内示連携>

発注元から受信した支給提示を直送先へ連携します。
連携するための設定と連携方法について説明します。

【支給提示連携前】



【支給提示連携後】



1) 支給提示を直送先へ連携する

支給提示を直送先へ連携するために、支給提示CSVをダウンロードして
修正後にアップロードします。



マニュアルの「9.6 支給先側で直送先へ支給提示の送信を行う」を参照



ワンポイント

- ・マスタを支給先へ連携後に内示を受信すると、自動で連携される機能があります。その機能を用いることで連携忘れなどを防ぐことができます。

3. 受入品番マスタCSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
1	発注者	○	CHAR	10	自社のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
2	発注者事業所	○	CHAR	5	自社のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
3	受注者	○	CHAR	10	商流上受注者の共通EDIサーバを示す企業コード(TDBコード)
4	受注者事業所	○	CHAR	5	商流上受注者の共通EDIサーバ上の工場コード
5	品番	○	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する 後ろブランク不可
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+ 受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる 後ろブランク不可 ※1：部品取扱識別が設定されている場合は必須
7	取引開始日	○	NUM	8	共通EDI上マスタを有効開始とする日付
8	取引終了日		NUM	8	共通EDI上マスタを有効期限とする日付
9	発注元	○	CHAR	10	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバを示す企業コード
10	発注元工区	○	CHAR	5	商流の頂点となる企業の共通EDIサーバ上の工場コード
11	出荷元	○	CHAR	10	出荷を行う企業の共通EDIサーバを示すを表す企業コード(仕入先)
12	出荷元工区	○	CHAR	5	出荷を行う企業の共通EDIサーバ上の工場コード(仕入先工区)
13	出荷場所		CHAR	5	出荷を行う企業の出荷場を表すコード 後ろブランク不可
14	出荷場所名称		CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称
15	納入先	○	CHAR	10	納入指示を行う企業の共通EDIサーバを示す企業コード(納入先)
16	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示を行う企業の共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)
17	納入場所		CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可
18	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある
19	背番号		CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番
20	品名		CHAR	30	部品の名称
21	収容数		NUM	8	部品箱一箱の最大入り数 取引契約単位の入数
22	所番地		CHAR	10	部品の置き場の名称
23	箱種		CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
24	単位		CHAR	4	数量の単位が何であるかを表す CS：箱 GRM：グラム KGM：キログラム K6：キリットル LTR：リットル MLT：ミリリットル MMT：ミリメートル CMT：センチメートル MTR：メートル MTK：平方メートル CMQ：立方センチメートル MTQ：立方メートル C62：個(枚、本等含む) SET：セット
25	部品色		CHAR	35	部品の色を表すコード
26	納品書フリー明細		CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目 鋼材の場合、材質、寸法など、必要な情報を設定します。 1～30桁目 …材質、目付など 31～60桁目 …寸法など
27	納入方式		CHAR	1	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分
28	後工程エリア(1)－1		CHAR	256	後工程エリア (1) パターンの値 "01"時：1桁 "02"時：1桁 "03"時：10桁 "04"時：20桁 "05"時：4桁 "06"時：2桁 "07"時：2桁 "08"時：1桁 "09"時：2桁
29	後工程エリア(1)－2		CHAR	256	後工程エリア (1) パターンの値 "01"時：4桁 "02"時：8桁 "03"時：10桁 "04"時：20桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 "07"時：8桁 "08"時：6桁 "09"時：8桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
30	後工程エリア(1)－3		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁 "02"時：8桁 "03"時：未使用 "04"時：20桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 "07"時：8桁 "08"時：12桁 "09"時：8桁
31	後工程エリア(1)－4		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：5桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁
32	後工程エリア(1)－5		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：6桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁
33	後工程エリア(1)－6		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：12桁 "07"時：4桁 "08"時：12桁 "09"時：未使用

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
34	後工程エリア(1)－7		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：22桁 "07"時：未使用 "08"時：22桁 "09"時：未使用
35	後工程エリア(1)－8		CHAR	256	
36	後工程エリア(1)－9		CHAR	256	
37	後工程エリア(1)－10		CHAR	256	
38	後工程エリア(1)－11		CHAR	256	
39	後工程エリア(1)－12		CHAR	256	
40	後工程エリア(1)－13		CHAR	256	
41	後工程エリア(1)－14		CHAR	256	
42	後工程エリア(1)－15		CHAR	256	
43	後工程エリア(1)－16		CHAR	256	
44	後工程エリア(1)－17		CHAR	256	
45	後工程エリア(1)－18		CHAR	256	
46	後工程エリア(1)－19		CHAR	256	
47	後工程エリア(1)－20		CHAR	256	
48	後工程エリア(2)－1		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：8桁 "03"時：20桁 "04"時：19桁 "05"時：11桁+CD1桁 "06"時：18桁 "07"時：8桁（企業シリアルNo.） "08"時：20桁 "09"時：8桁（企業シリアルNo.）
49	後工程エリア(2)－2		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：2桁 "05"時：未使用 "06"時：18桁 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
50	後工程エリア(2)－3		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：5桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁（企業シリアルNo.） "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用
51	後工程エリア(2)－4		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：16桁(全角8桁) "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用
52	後工程エリア(2)－5		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：10桁 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：8桁（企業シリアルNo.） "09"時：未使用
53	後工程エリア(2)－6		CHAR	256	
54	後工程エリア(2)－7		CHAR	256	
55	後工程エリア(2)－8		CHAR	256	
56	後工程エリア(2)－9		CHAR	256	
57	後工程エリア(2)－10		CHAR	256	
58	後工程エリア(2)－11		CHAR	256	
59	後工程エリア(2)－12		CHAR	256	
60	後工程エリア(2)－13		CHAR	256	
61	後工程エリア(2)－14		CHAR	256	
62	後工程エリア(2)－15		CHAR	256	
63	後工程エリア(2)－16		CHAR	256	
64	後工程エリア(2)－17		CHAR	256	
65	後工程エリア(2)－18		CHAR	256	
66	後工程エリア(2)－19		CHAR	256	
67	後工程エリア(2)－20		CHAR	256	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
68	後工程エリア(3)－1		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "03"時：24桁 "04"時：9桁(バーコード) "05"時：20桁 "06"時：11桁+CD1桁 "07"時：10桁 "08"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR) "09"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR)
69	後工程エリア(3)－2		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：16桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：20桁(全角10桁) "06"時：16桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：11桁
70	後工程エリア(3)－3		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：16桁 "02"時：10桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "06"時：10桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：16桁
71	後工程エリア(3)－4		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：4桁 "06"時：6桁 "07"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "08"時：4桁 "09"時：10桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
72	後工程エリア(3)－5		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：2桁 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：2桁 "09"時：6桁
73	後工程エリア(3)－6		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：6桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁
74	後工程エリア(3)－7		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：6桁
75	後工程エリア(3)－8		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
76	後工程エリア(3)－9		CHAR	256	後工程エリア(3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：3桁
77	後工程エリア(3)－10		CHAR	256	後工程エリア(3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁
78	後工程エリア(3)－11		CHAR	256	
79	後工程エリア(3)－12		CHAR	256	
80	後工程エリア(3)－13		CHAR	256	
81	後工程エリア(3)－14		CHAR	256	
82	後工程エリア(3)－15		CHAR	256	
83	後工程エリア(3)－16		CHAR	256	
84	後工程エリア(3)－17		CHAR	256	
85	後工程エリア(3)－18		CHAR	256	
86	後工程エリア(3)－19		CHAR	256	
87	後工程エリア(3)－20		CHAR	256	
88	Q Rフリー項目		CHAR	100	
89	前工程バーコード		CHAR	178	前工程発行パターンの値 "01"時：17桁(CODE39バーコード) "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR)
90	前工程情報1		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：23桁 "02"時：23桁 "03"時：23桁 "04"時：13桁
91	前工程情報2		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：13桁 "02"時：13桁 "03"時：13桁 "04"時：5桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
92	前工程情報3		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：20桁 "02"時：46桁 "03"時：46桁 "04"時：20桁
93	前工程情報4		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：12桁 "02"時：26桁 "03"時：26桁 "04"時：12桁
94	前工程情報5		CHAR	20	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：10桁 "04"時：20桁
95	前工程情報6		CHAR	12	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：4桁 "04"時：12桁
96	納入サイクル		NUM	8	サイクルAA-BB-CC.DD
97	マスタ区分	○	CHAR	1	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "4"：受給 "7"：受給品を直送支給
98	直送先／委託先		CHAR	10	直送支給の場合、支給先の共通EDIサーバを示す企業コード(納入先のTDBコード)
99	直送先／委託先工区		CHAR	5	直送支給の場合、支給先の共通EDIサーバ上の工場コード
100	直送先／委託先部品番号		CHAR	25	直送支給の場合、支給先へ連携する部品番号を設定する ※連携時は必須
101	直送先／委託先部品取扱識別		CHAR	25	直送支給の場合、支給先へ連携する部品取扱識別を設定する ※連携時に部品取扱識別を設定する場合は必須
102	スルー区分	○	NUM	1	中継する立場の場合に、マスタの参考情報変更について自動連携可否を設定する "0"：スルーしない ※未対応機能（2017/06時点）
103	帳票発行区分		CHAR	1	"1"：後工程 ブランク：企業コードマスタの帳票発行先の設定に従う ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "受入品番CSV帳票発行区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
104	出荷数変更区分		CHAR	1	"0"：なし "1"：あり ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
105	出荷数変更上限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
106	出荷数変更下限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
107	別送支給区分		CHAR	1	"0"：別送支給品以外 "1"：別送支給品 ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV別送支給区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

4. 支給提示CSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番 CSV対応No
1	発注者	○	CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの直送先／委託先	98
2	発注者事業所	○	CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの直送先／委託先工区	99
3	受注者	○	CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの発注者	1
4	受注者事業所	○	CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの発注者事業所	2
5	品番	○	CHAR	25	受入品番マスタCSVファイルの直送先／委託先部品番号	100
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	受入品番マスタCSVファイルの直送先／委託先部品取扱識別 ※1：部品取扱識別が設定されている場合は必須	101
7	発注元		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの発注元	9
8	発注元工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの発注元工区	10
9	発注元名称		CHAR	20	自社の共通EDIサーバを示す企業の名称	
10	発注元工場名		CHAR	12	自社の共通EDIサーバ上の工場の名称	
11	出荷元		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの出荷元	11
12	出荷元工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの出荷元工区	12
13	出荷場所		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの出荷場所	13
14	出荷元名称		CHAR	20	出荷を行う企業の共通EDIサーバを示す企業名称(出荷元名)	
15	出荷元工場名		CHAR	12	出荷を行う企業の工場の名称(出荷元工場名)	
16	出荷場所名称		CHAR	12	受入品番マスタCSVファイルの出荷場所名称	14
17	納入先		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの納入先	15
18	納入先工区		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの納入先工区	16
19	納入場所		CHAR	5	受入品番マスタCSVファイルの納入場所	17
20	納入先名称		CHAR	20	納入指示を行う企業の共通EDIサーバを示す企業名称(納入先名)	
21	納入先工場名		CHAR	12	納入指示を行う企業の共通EDIサーバ上の工場名称(納入先工場名)	
22	適用業務区分		NUM	1	現品票(かんばん) QR、納品書QRに印字される区分納入先が任意で設定する JAMA規定では、以下の通り "0"：適用業務の指定なし "1"：量産部品 "2"：生産試作部品 "3"：K D部品 "4"：補修品・用品 "5"：直接材料 "6"：間接材／副資材 "7"：設備	
23	発行日		NUM	8	作成した日付(yyyyMMdd)	
24	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある	
25	背番号		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの背番号	19
26	品名		CHAR	30	受入品番マスタCSVファイルの品名	20
27	収容数		NUM	8	受入品番マスタCSVファイルの収容数	21
28	所番地		CHAR	10	受入品番マスタCSVファイルの所番地	22
29	箱種		CHAR	8	受入品番マスタCSVファイルの箱種	23
30	1 (日にち)		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
31	2 (日にち)		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番 CSV対応No
32	3（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
33	4（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
34	5（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
35	6（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
36	7（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
37	8（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
38	9（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
39	10（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
40	11（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
41	12（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
42	13（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
43	14（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
44	15（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
45	16（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
46	17（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
47	18（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
48	19（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
49	20（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番 CSV対応No
50	21（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
51	22（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
52	23（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
53	24（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
54	25（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
55	26（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
56	27（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
57	28（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
58	29（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
59	30（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
60	31（日にち）		NUM	8	納入数 #####0 ※値が無い場合は0として扱う	
61	当月内示		NUM	9	月の合計納入数(#####0)	
62	次月内示		NUM	9	月の合計納入数(#####0)	
63	次々月内示		NUM	9	月の合計納入数(#####0)	
64	部品色		CHAR	35	受入品番マスタCSVファイルの部品色	25
65	納入方式		CHAR	1	受入品番マスタCSVファイルの納入方式	27
66	納入方式名称		CHAR	12	納入方式の名称	
67	内示／確定区分	○	NUM	1	"4"：内示	
68	文言1		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
69	文言2		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
70	文言3		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
71	文言4		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
72	文言5		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
73	文言6		CHAR	80	参考として付与する任意の文字	
74	情報区分コード		NUM	10	"6112"：支給提示	
75	確定注文対象期間区分	○	CHAR	1	"M"：月単位	
76	確定注文対象期間	○	NUM	6	対象期間(年月)を設定する(yyyymm)	
77	処理番号		NUM	14	外部システムから共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目(#####0)	
78	納入サイクル		NUM	8	受入品番マスタCSVファイルの納入サイクル	96
79	単位		CHAR	4	受入品番マスタCSVファイルの単位	24

3. 外部I/Fで中継を行う

ここではトヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用し、外部システムで製造委託または直送支給を行う際の初期設定と操作について説明します。

<初期設定>

外部システムから外部I/Fを利用し、中継業務を行うにあたり、
必須で設定していただくものと任意で設定していただくものについて説明します。

■ 必須 ■

1) 品番マスタの自動連携設定をする

既に連携済みのマスタに変更があった際に製造委託先または直送支給先へ
自動で連携します。



マニュアルの「9.8 品番マスタの自動連携を設定する」を参照

2) 内示の自動連携設定をする

製造委託先または直送支給先へ既に連携されている品番の内示情報を
自動で連携します。

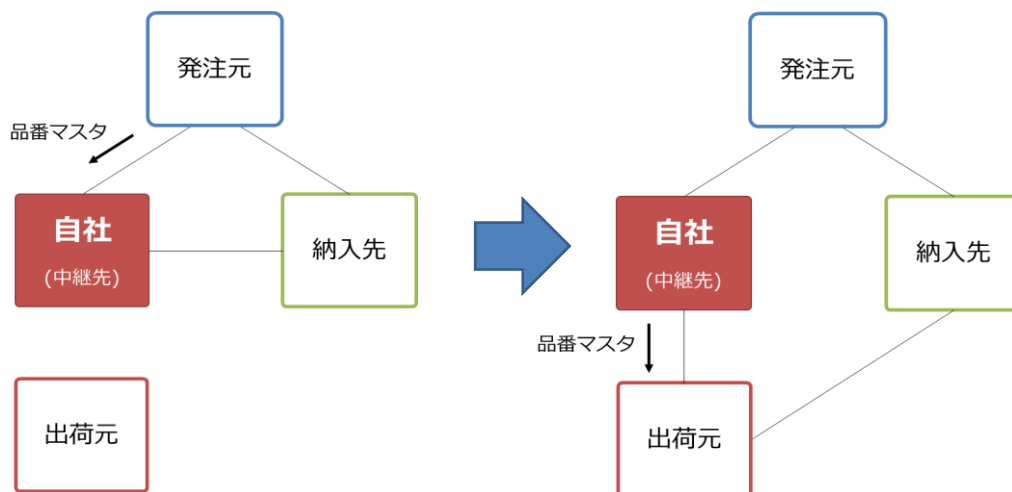


マニュアルの「9.1 データ自動連携を有効にする」を参照

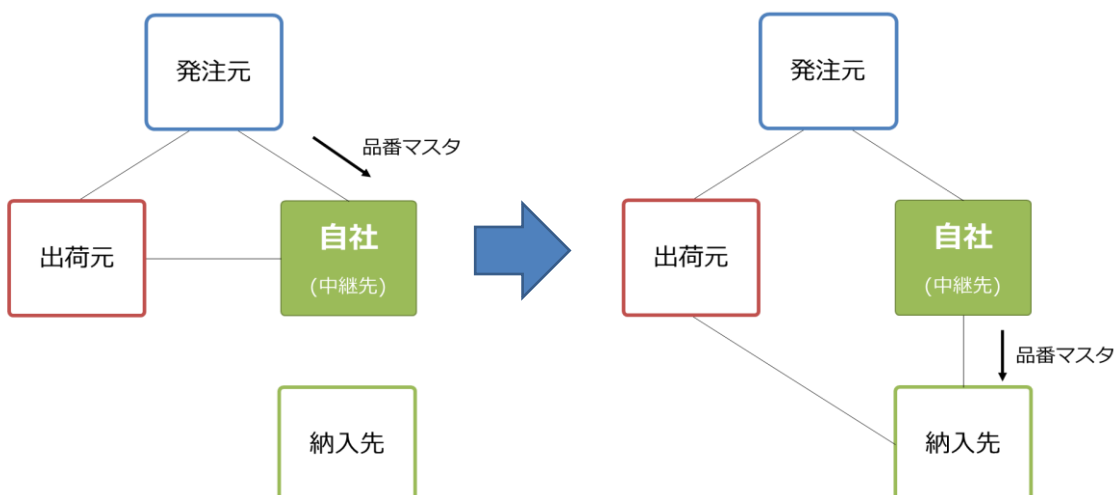
<マスタ連携>

外部システムで品番情報ファイルを作成し、製造委託先または直送支給先へ連携します。
外部システムの操作方法や自社システムとの連携、ファイルの作成要領
に関してはシステム提供会社へご確認ください。

【製造委託】



【直送支給】



1) 品番マスタの作成

発注元から受信した品番マスタを製造委託先または直送支給先へ連携する品番マスタファイルを作成します。

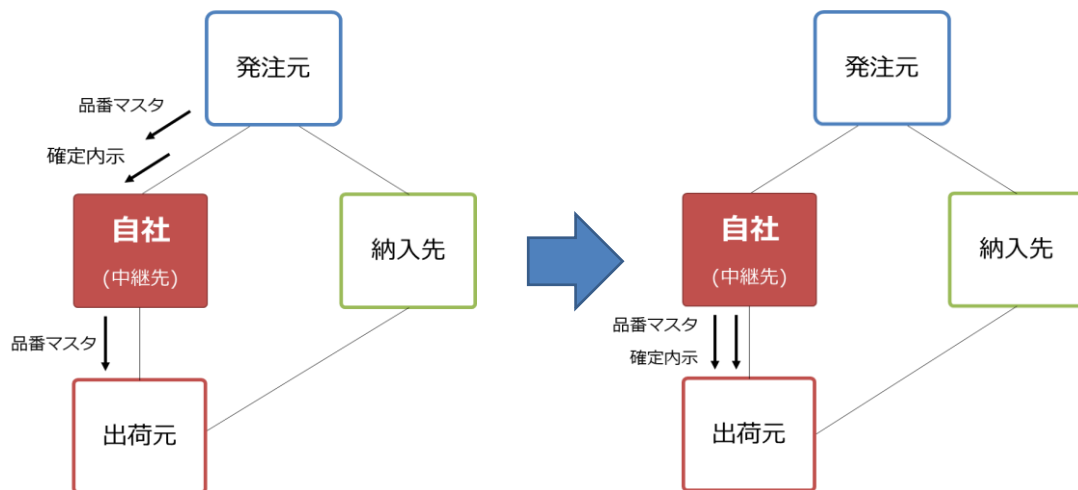
2) 品番マスタの連携

作成した品番マスタファイルを外部システムよりアップロードすることで、品番情報が取引先へ送信され、連携を行います。

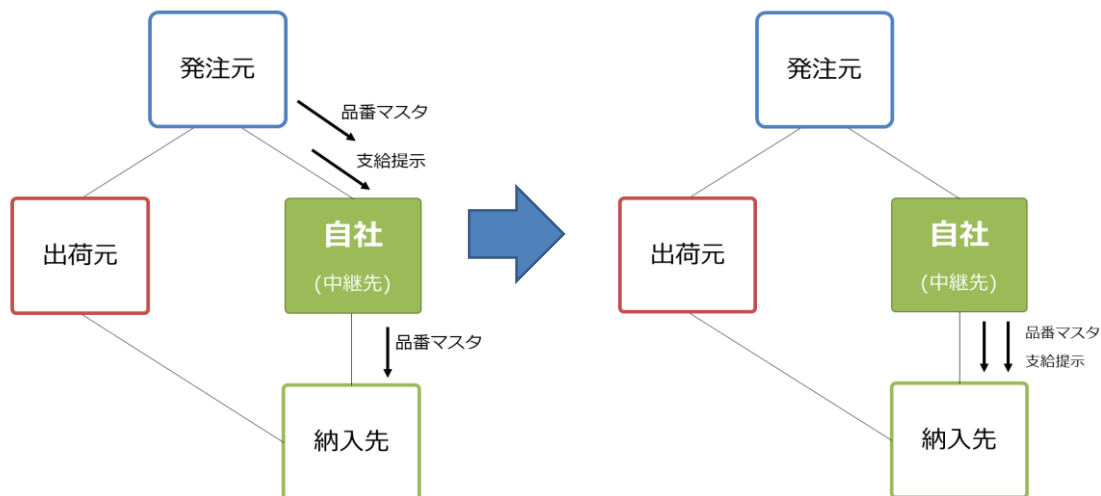
<内示連携>

外部システムで内示情報ファイルを作成し、製造委託先または直送支給先へ連携します。
外部システムの操作方法や自社システムとの連携、ファイルの作成要領
に関してはシステム提供会社へご確認ください。

【製造委託】



【直送支給】



1) 内示情報の作成

発注元から受信した内示情報を製造委託先または直送支給先へ連携する
内示情報ファイルを作成します。

2) 内示情報の連携

作成した内示情報ファイルを外部システムよりアップロードすることで、
内示情報が取引先へ送信され、連携を行います。

4. 取得できるデータ

ここでは中継の立場で取得できるデータについて説明します。

1) 取得可能なデータ

Web画面、外部I/Fから取得できるデータについて説明します。

外部I/Fの場合、ファイルの連携方法はシステム提供会社へご確認ください。



ワンポイント

共通EDIではデータを90日間保持しています。

90日を超えた場合、共通EDIからは削除されますので、実績など必要な場合、適宜保存をお願いします。

※品番マスタは取引終了日から90日間保持

・品番マスタ

発注元もしくは商流上上位にあたる企業から送信されてきた品番情報になります。

A) 直送支給品



マニュアルの「6.22 品番情報の照会をする」を参照

B) 製造委託品



マニュアルの「3.15 品番情報の照会をする」を参照

・支給提示

発注元から受信した支給提示の情報と直送支給先へ送信した情報です。



マニュアルの「7.9.2 得意先からの支給提示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

「7.10.4 支給先への支給提示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・内示

発注元から受信した内示の情報です。



マニュアルの「4.1.2 得意先から受信した内示情報のCSVデータをダウンロードする」

「4.2.2 得意先から受信した確定内示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

「7.1.4 仕入先への内示情報のCSVデータをダウンロードする」

「7.2.4 仕入先への確定内示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・出荷実績

製造委託先から受信した出荷実績の情報です。



マニュアルの「10.4.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「10.4.2 委託先（受注者）単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

・受領実績

直送支給先から受信した受領実績の情報です。



マニュアルの「10.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「10.2.2 支給先（発注者）単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

・受領実績（返品分）

直送支給先から受信した返品の情報です。

返品の実績は受領数が"マイナス"の値で取得されます。



マニュアルの「10.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「10.2.2 支給先（発注者）単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

2) データ送受信の相関図と取得可能データ

各データの送受信の流れと取得できるデータについて説明します。

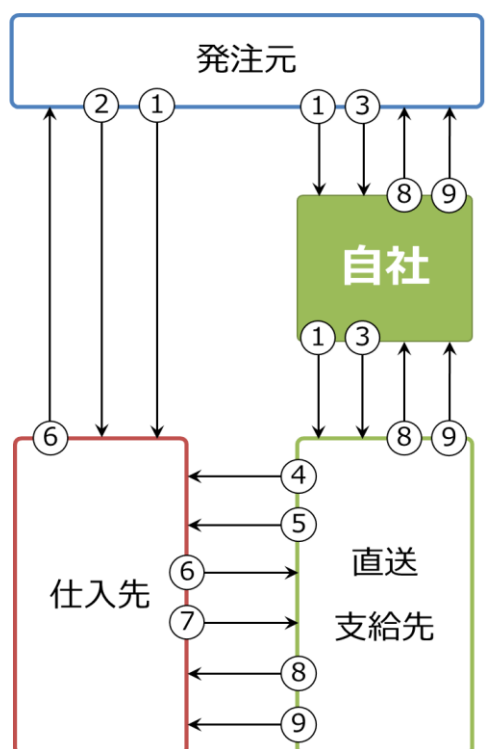
A) 直送支給品

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部/F
①	品番マスタ	送受信	○	○
②	内示	—	×	×
③	支給提示	送受信	○	○
④	納入指示	—	×	×
⑤	納入指示キャンセル	—	×	×
⑥	出荷実績	—	×	×
⑦	納期回答	—	×	×
⑧	受領実績	送受信	○	○
⑨	受領実績 返品	送受信	○	○



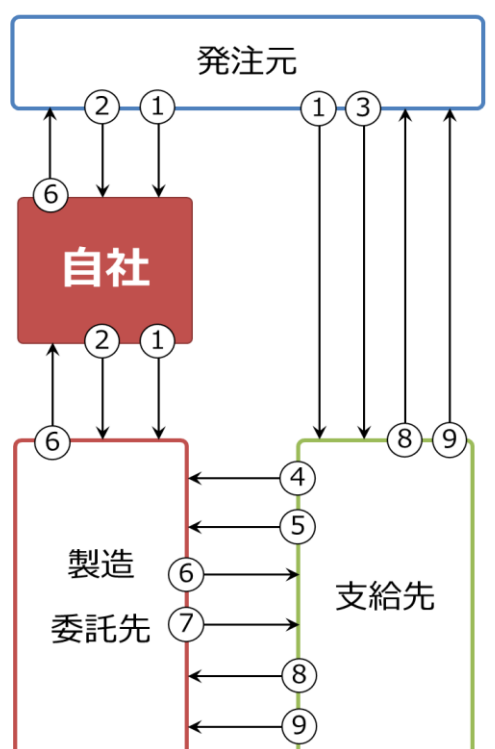
B) 製造委託品

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部/F
①	品番マスタ	送受信	○	○
②	内示	送受信	○	○
③	支給提示	—	×	×
④	納入指示	—	×	×
⑤	納入指示キャンセル	—	×	×
⑥	出荷実績	送受信	○	○
⑦	納期回答	—	×	×
⑧	受領実績	—	×	×
⑨	受領実績 返品	—	×	×



5. よくある問い合わせ

下記に記載のない症状については、サポートサイトのよくあるご質問を参照頂くか、サポートデスクへご連絡ください。

納入指示	
こんなとき（症状）	どうする（対応方法）
マスタを誤って違う企業へ連携した。	マスタ連携を取り消すことが可能です。 （⇒サポートサイト 基本モジュール 9章 9項） ※マスタの連携先を誤ってしまった場合のみご利用ください。すでに取引が行われている品番の商流変更にご利用されますと、実績が正しく計上されない可能性がございます。
支給提示CSVがアップロードでエラーが発生する。	●エラー内容：品番マスタが見つかりません キー情報に一致する品番が受入品番マスタで見つからないため、エラーが発生しております。以下をご確認ください。 ・受入品番マスタにて対象品番が存在するか ・支給提示CSVの記入内容が受入品番マスタと一致しているか ●エラー内容：上記以外 エラー内容に沿って支給提示CSVファイルを修正してください。 区分等の情報は「4.支給提示CSVレイアウト」をご確認ください。
納入先へ中継する際の支給提示CSVの「発注者」「受注者」って何を設定したらいいのか。	「発注者」「受注者」は商流情報になり、2社間の関係となります。 例：「出荷元－発注元－自社(中継)－納入先」という商流の場合 ①出荷元－発注元：発注者「発注元」、受注者「出荷元」 ②発注元－自社(中継)：発注者「自社(中継)」、受注者「発注元」 ③自社(中継)－納入先：発注者「納入先」、受注者「自社(中継)」 納入先へ中継する際、上記では③に当てはまるため、発注者が「納入先」となり、受注者は「自社(中継)」となります。
確定内示CSVがアップロードでエラーが発生する。	●エラー内容：品番マスタが見つかりません キー情報に一致する品番が出荷品番マスタで見つからないため、エラーが発生しております。以下をご確認ください。 ・出荷品番マスタにて対象品番が存在するか ・確定内示CSVの記入内容が受入品番マスタと一致しているか ●エラー内容：上記以外 エラー内容に沿って確定内示CSVファイルを修正してください。 区分等の情報は「2.内示CSVレイアウト」をご確認ください。

出荷元へ中継する際の確定内示CSVの「発注者」「受注者」って何を設定したらいいのか。	「発注者」「受注者」は商流情報になり、2社間の関係となります。 例：「出荷元－自社(中継)－発注元－納入先」という商流の場合 ①出荷元－自社(中継)：発注者「自社(中継)」、受注者「出荷元」 ②自社(中継)－発注元：発注者「発注元」、受注者「自社(中継)」 ③発注元－納入先：発注者「納入先」、受注者「発注元」 納入先へ中継する際、上記では①に当てはまるため、発注者が「自社(中継)」となり、受注者は「出荷元」となります。
直送支給先へ内示情報が送信できない。	マスタ連携が行われているかご確認ください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 9章 2項)
製造委託先へ内示情報が送信できない。	マスタ連携が行われているかご確認ください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 9章 3項)
直送支給先から支給提示がないため納入指示が行えないと言われた。	"支給先への支給提示"画面で支給提示が連携されているかご確認ください。 ●存在しない場合は、直送支給先へ支給提示を連携してください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 9章 6項) ●存在する場合は、次の原因が考えられますので別途ご確認ください。 ⇒納入指示日が内示月より前の日付になっている
内示がなくて納入指示を受け取れないと委託先から連絡があったので内示情報を連携したい。	"仕入先へ内示"画面で内示が連携されているかご確認ください。 ●存在しない場合は、製造委託先へ内示を連携してください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 9章7項)
中継企業・物流企業（納入先、出荷元）で設定された納入場所、出荷場所ではなく、自社に設定されている値で実績を受信することは可能なのか	実績復元の機能があるため、復元対象項目であれば可能となります。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 10章 5項)

トヨタWG共通EDI 運用ガイド

納入指示機能



2022/1/12

トヨタWG共通EDI推進協会

— 目次 —

※項目をクリックすることで対象ページへ移動できます。

1. Web画面で納入指示を行う

初期設定	P.2	～ P.4
納入指示～受領	P.5	～ P.8
状況確認	P.8	

2. CSVファイルで納入指示を行う

初期設定	P.9	～ P.10
納入指示～受領	P.11	～ P.12
状況確認	P.13	
CSVレイアウト	P.14	～ P.34

3. 外部I/Fを利用し、納入指示を行う

初期設定	P.35	
納入指示～受領	P.36	～ P.37

4. 鋼材について

Web画面で納入指示を行う	P.38	～ P.39
外部I/Fを利用し、納入指示を行う	P.39	

5. 取得できるデータ P.40 ～ P.42**6. よくある問合せ** P.43 ～ P.46

1. Web画面で納入指示を行う

ここではトヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面で納入指示業務を行う際の初期設定と基本操作について説明します。

文中にある以下の各アイコンはサポートサイトに掲載しているマニュアルの章と項番です。



…基本モジュール



…材料（出荷数変更）

本機能を使用するには“納入指示”の契約が必要です。

＜初期設定＞

Web画面から納入指示業務を行うにあたり、必須で設定していただくものと、任意の設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 納入指示を掛ける際の発注区分を登録する

納入指示を送信する際に使用する号口、臨時などの発注区分を設定します。

発注区分はかんばんの左上（下図赤枠部分）に設定した区分名称が印字されますが、デフォルト値に設定した発注区分の区分名称は印字されません。

設定例：号口、特配、スポ特、スポット、臨時 等



マニュアルの「6.2 システムで取り扱う定期/不定期区分を登録する」を参照

[illegible]

2) 納品書番号の自動採番を設定する

Web画面で納入指示を作成する際に、納品書番号を自動で採番する設定を行います。

設定は「Y:実施する」にしてください。



マニュアルの「6.18 納品書番号を自動で採番する」を参照

3) 帳票発行先を変更する

かんばん等を発行する場所（前工程／後工程）を出荷元工区単位または、品番単位に設定します。

A) 出荷元工区単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。



マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

B) 品番単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。



マニュアルの「6.14 帳票発行先を設定する(品番単位)」を参照



ワンポイント

- ・ 帳票発行先の規定値は後工程発行となっています。
前工程発行で納入指示を行う場合は、事前に設定を変更してください。
- ・ 帳票発行先の設定によって以下のように動作します。
前工程発行…出荷元にデータを送信し、仕入先でかんばん等を発行
後工程発行…出荷元にデータを送信せずに、自社でかんばん等を発行

4) 検収帳票の種別を選択する

検収帳票の種類をJAMA納品書、受領書／便チケットから設定します。

規定値：「01: JAMA納品書 + 受領書」



マニュアルの「6.6 取引する際に利用する納品書の種別を設定する」を参照

■任意■

- 1) 自社情報をかんばんへ印字する（後工程エリア）** ※受入品番マスタ受信後
納入指示を行う企業にて、自社情報などの任意の値を印字することができます。
後工程エリアは下図の赤枠3箇所があります。

a : 現品票フリーエリア

※レイアウトによってa'のエリアも含めます

b : 参考情報

c : 後工程エリア

下記の手順にて設定を行います。

- ① 自社工区ごとに印字するレイアウトパターンを設定する

印字内容に合わせて、複数あるレイアウトパターンから設定します。



マニュアルの「6.4 かんばんの後工程エリアのレイアウトを変更する」を参照

- ② 印字する情報を登録する

①で設定したレイアウトに合わせた印字情報を、品番単位に登録します。



マニュアルの「6.17 かんばんの後工程エリアの情報を登録する」を参照

※複数の後工程情報をまとめて登録する場合は、CSVファイルでの登録が便利です。



マニュアルの「6.9 受入品番情報のCSVデータをダウンロードする」

「6.10 受入品番情報をCSVデータでメンテナンスする」を参照

2) 仕入先が製造委託をしている場合は、出荷元の登録を変更する

"受入品番マスタ"に登録されている出荷元が製造委託などで、実際の出荷元と異なる場合は、登録を変更します。

 マニュアルの「6.19 物流の出荷元を変更する」を参照



ワンポイント

受入品番マスタに品番が登録されていない場合、納入指示を行えません。
発注元もしくは上位の企業からマスタ送信していただくようご依頼ください。

(後工程発行時の事前準備)

1) かんばんの前工程エリアに仕入先情報を印字する

前工程エリアに仕入先情報を印字する場合は、自社で設定を行うことでかんばん発行時に前工程情報が印字されます。

① 自社工区ごとに印字するレイアウトパターンを設定する



マニュアルの「6.21 前工程エリアのレイアウトを設定する(後工程発行)」を参照

② 印字する情報を登録する

①で設定したレイアウトに合わせて印字情報を品番単位に登録します。



マニュアルの「6.21 前工程エリアのレイアウトを設定する(後工程発行)」を参照

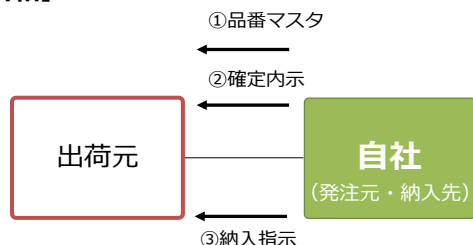
<納入指示～受領>

納入指示を行う前の事前確認と納入指示から受領について説明します。
業務の一環として"納入指示キャンセル"についても説明します。

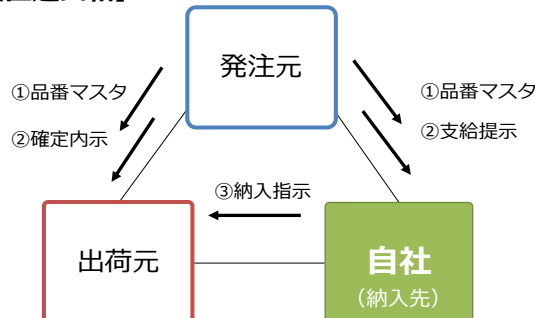
納入指示業務を行う前の確認

納入指示を行うためには"品番情報（品番マスタ）"と"内示情報"が必要です。
業務を行う前に納入指示を行う品番が登録されているか確認します。

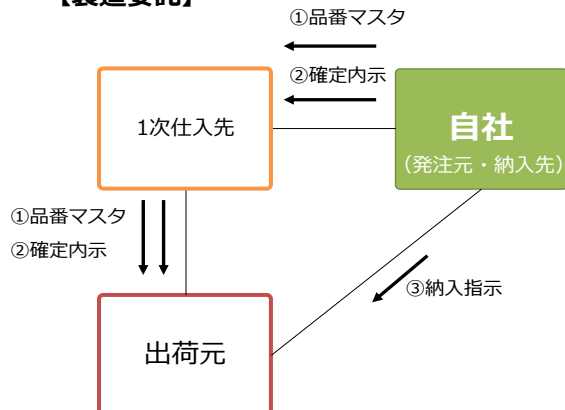
【自給】



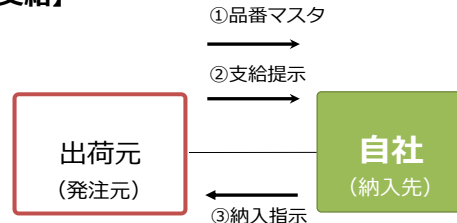
【直送支給】



【製造委託】



【支給】



① 品番マスタを確認する

納入指示を行う前に品番情報を受信（自給の場合は送信）しているか確認します。
品番情報は"受入品番マスタ"から確認します。

マニュアルの「6.22 品番情報の照会をする」を参照

② 内示情報を確認する

納入指示を行う前に発注元から内示情報を受信（自給の場合は仕入先へ送信）しているか確認します。内示情報を確認する場合、支給と自給では内示情報の種別が異なるため、確認画面も異なります。

A) 支給："得意先からの支給提示"から支給提示の確認を行います。

マニュアルの「7.9.1 得意先から受信した支給提示情報を照会する」を参照

B) 自給："仕入先への内示"から確定内示の確認を行います。

マニュアルの「7.2.3 仕入先への確定内示情報を画面から参照する」を参照

1) 納入指示～受領を行う

納入指示送信から受領までの流れを説明します。

帳票発行先（前工程／後工程）で操作方法が多少異なるため、それぞれ説明します。

帳票発行先については下記のマニュアルにてご確認ください。



マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

A) 前工程発行

① 納入指示を行う

"納入指示"画面で納入指示日、便、部品番号、箱数などを登録します。

登録が終わったら、発行工程の項目が"前"となっていることをご確認ください。

上記確認後、出荷元へ納入指示を送信します。

送信する場合に、今回作成した納入指示で間違いがないか確認後に、操作してください。



マニュアルの「7.3.1 画面からデータを入力し、納入指示を送信する」を参照

② 受領を行う

出荷元から製品が届いた後、受領処理を行います。

受領処理を行うと物流上の取引先と、商流上の取引先へ実績が送信されます。

※実績は受領した日付で登録されます。



マニュアルの「7.4.1 画面からデータを選択し、受領する」を参照

B) 後工程発行

① 納入指示を行う

"納入指示"画面で納入指示日、便、部品番号、箱数などを登録します。

登録が終わったら、発行工程の項目が"後"となっていることをご確認ください。

上記確認後、帳票発行を行い、納入指示をトヨタWG共通EDIに登録します。



マニュアルの「7.3.3 画面からデータを入力し、納入指示を送信する(後工程発行)」を参照

② 受領を行う

出荷元から製品が届いた後、受領処理を行います。

受領処理を行うと商流上の取引先へ実績が送信されます。



マニュアルの「7.4.2 画面からデータを選択し、受領する(後工程発行)」

「7.4.3 画面からデータを選択し、未納処理を行う(後工程発行)」を参照

納入指示数に対して、受領する値が異なる材料品などの場合に、

納品書に記載された受領数を登録します。

下記で材料を扱う場合の完納による受領と、未納がある場合の受領について、記載します。

a) 完納による受領を行う

"完納"を選択した上で、受領数を登録後、受領を行います。

※納入指示数と受領数が一致する場合は同じ値を登録します。

分納/完納実行							
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	受領数	未納箱数/数	換回日/便
200	5	1,000	0	☒ 完納 ☐ 分納	1500		
部品色: 箱種: 332 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:							

納入指示数と異なる値を指定が可能



マニュアルの「3.2.3 受領数を入力し、完納で受領確認を行う」を参照

b) 未納がある場合の受領を行う

"分納"を選択した上で、受領数を入力し、未納情報を登録します。

分納/完納実行							
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	受領数	未納箱数/数	換回日/便
1,000	4	4,000	0	☐ 完納 ☒ 分納	1800	2 2000	2021/12/27 2便
部品色: 箱種: 462 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:							



マニュアルの「3.2.2 未納数を入力し、受領する」を参照

2) 納入指示キャンセルを行う

納入指示の取り消しは、納入指示キャンセル画面にて行います。

キャンセルは品番単位で行うことができますが、数量単位ではできません。

前工程発行では、出荷元で出荷処理を行うまではキャンセルできます。

後工程発行では、自社で受領処理を行うまではキャンセルできます。



マニュアルの「7.7.1 納入指示をキャンセルする」を参照



ワンポイント

コンプライアンス上の観点から、納入指示キャンセルを行う場合は出荷元に承認を得る必要があります。共通EDIでは納入指示キャンセルの手順として、下記ガイドラインを推奨しております。

- ① 自社から出荷元へキャンセルがある旨を連絡する
- ② 出荷元でキャンセルを行う品番の未納処理を行う
(未納処理を行うことで出荷元が承認していると判断できるため)
- ③ 自社にて未納にした納入指示に対して納入指示キャンセルを行う

3) 納入指示業務外の機能について

<納入指示が送信できるか確認する>

自社から出荷元へ納入指示が送信できるか確認を行うことができます。



マニュアルの「6.15.1 納入指示のテストを行う」

「6.15.2 納入指示テストを行った履歴を確認する」を参照

<返品処理を行う>

受領した納入指示に対して1回だけ返品を行う機能です。

返品処理の使用可否は発注元へご確認ください。



マニュアルの「7.8.1 返品通知を行う」を参照

<状況確認>

納入指示の状況を確認する画面について説明します。

1) 納入指示の状況を確認する

自社で納入指示を作成してから受領までの状況を、納品書番号単位に一覧での確認ができます。



マニュアルの「7.5.1 出荷、受領状況を確認する」を参照



ワンポイント

キャンセルをした品番は一覧には表示されません。

⇒"3) 納入指示をキャンセルした履歴を確認する"で対象の品番を確認します。

2) 受領した履歴を確認する

自社で受領した履歴を確認できます。



マニュアルの「7.5.2 受領確認を行った履歴を確認する」を参照

3) 納入指示をキャンセルした履歴を確認する

自社で納入指示をキャンセルした履歴を確認できます。



マニュアルの「7.7.2 納入指示をキャンセルした履歴を参照する」を参照

2. CSVファイルで納入指示を行う

ここではトヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、CSVファイルで納入指示業務を行う際の初期設定と基本操作について説明します。

<初期設定>

CSVファイルで納入指示業務を行うにあたり、必須で設定していただくものと、任意の設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 納品書番号の自動採番を設定する

納入指示CSVファイルに納品書番号を設定する際は手動で納品書番号を採番する設定を行います。

納品書番号をシステムで自動で採番しない「N:実施しない」に設定してください。



マニュアルの「6.18 納品書番号を自動で採番する」を参照

2) 帳票発行先を変更する

かんばんを発行する場所（前工程／後工程）を出荷元工区単位または、品番単位に設定します。

A) 出荷元工区単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。



マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

B) 品番単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。



マニュアルの「6.14 帳票発行先を設定する(品番単位)」を参照



ワンポイント

- ・帳票発行先の規定値は後工程発行となっています。
前工程発行で納入指示を行う場合は、事前に設定を変更してください。
- ・帳票発行先の設定によって以下のように動作します。
前工程発行…出荷元にデータを送信し、仕入先でかんばんを発行
後工程発行…出荷元にデータを送信せずに、自社でかんばんを発行

■ 任意 ■

納入指示CSVファイルに未入力の場合、Web画面で設定した値が反映される項目があります。必要に応じて各項目の設定を行います。

1) 検収帳票の種別を設定する

検収帳票の種類をJAMA納品書、受領書／便チケットから設定します。

規定値：「01: JAMA納品書 + 受領書」



マニュアルの「6.6 取引する際に利用する納品書の種別を設定する」を参照

2) 自社情報をかんばんへ印字する（後工程エリア）

納入指示を行う企業にて、自社情報などの任意の値を印字することができます。
後工程エリアは下図の赤枠3箇所があります。

The diagram shows a kanban layout with three red-outlined areas labeled a, b, and c. Area a is at the top right, area b is in the middle right, and area c is at the bottom right. The kanban contains various fields like '打切対象', '品番', '数量', '日付', and '時間'.

a : 現品票フリーエリア

※レイアウトによってa'のエリアも含めます

b : 参考情報

c : 後工程エリア

下記の手順にて設定を行います。

① 自社工区ごとに印字するレイアウトパターンを設定する

印字内容に合わせて、複数あるレイアウトパターンから設定します。



マニュアルの「6.4 かんばんの後工程エリアのレイアウトを変更する」を参照

② 印字する情報を登録する

①で設定したレイアウトに合わせた印字情報を、品番単位に登録します。



マニュアルの「6.17 かんばんの後工程エリアの情報を登録する」を参照

※複数の後工程情報をまとめて登録する場合は、CSVファイルでの登録が便利です。



マニュアルの「6.9 受入品番情報のCSVデータをダウンロードする」

「6.10 受入品番情報をCSVデータでメンテナンスする」を参照

（後工程発行時の事前準備）

1) かんばんの前工程エリアに仕入先情報を印字する

前工程エリアに仕入先情報を印字する場合は、自社で設定を行うことで
かんばん発行時に前工程情報が印字されます。

① 自社工区ごとに印字するレイアウトパターンを設定する



マニュアルの「6.21 前工程エリアのレイアウトを設定する(後工程発行)」を参照

② 印字する情報を登録する

①で設定したレイアウトに合わせて印字情報を品番単位に登録します。



マニュアルの「6.21 前工程エリアのレイアウトを設定する(後工程発行)」を参照

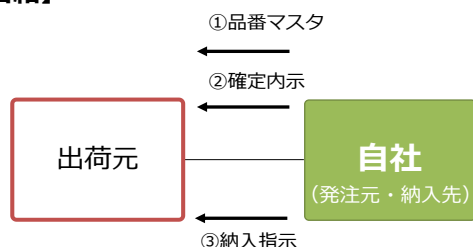
<納入指示～受領>

納入指示を行う前の事前確認と納入指示から受領について説明します。

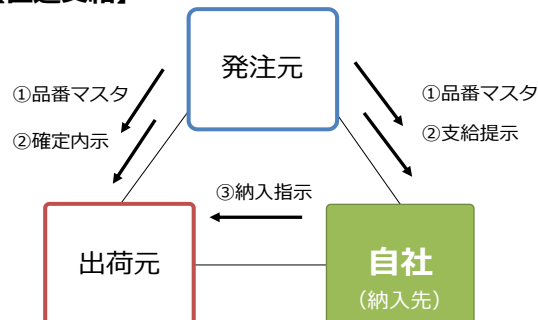
納入指示業務を行う前の確認

納入指示を行うためには"品番情報（品番マスタ）"と"内示情報"が必要です。
業務を行う前に納入指示を行う品番が登録されているか確認します。

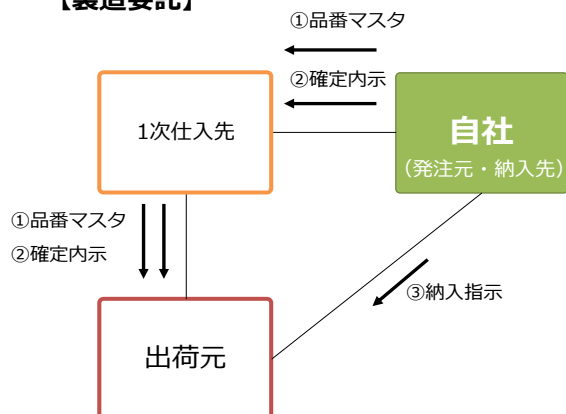
【自給】



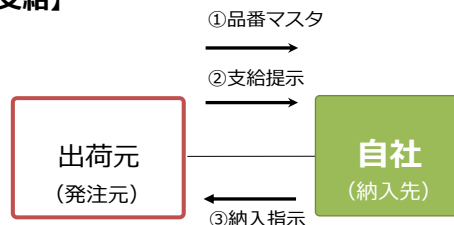
【直送支給】



【製造委託】



【支給】



① 品番マスタを確認する

納入指示を行う前に品番情報を受信（自給の場合は送信）しているか確認します。
品番情報は"受入品番マスタ"から確認します。

 マニュアルの「6.22 品番情報の照会をする」を参照

② 内示情報を確認する

納入指示を行う前に発注元から内示情報を受信（自給の場合は仕入先へ送信）しているか確認します。内示情報を確認する場合、支給と自給では内示情報の種別が異なるため、確認画面も異なります。

A) 支給："得意先からの支給提示"から支給提示の確認を行います。

 マニュアルの「7.9.1 得意先から受信した支給提示情報を照会する」を参照

B) 自給："仕入先への内示"から確定内示の確認を行います。

 マニュアルの「7.2.3 仕入先への確定内示情報を画面から参照する」を参照

1) 納入指示～受領を行う

納入指示送信から受領までの流れを説明します。

帳票発行先（前工程/後工程）で操作方法が多少異なるため、それぞれ説明します。

帳票発行先については下記のマニュアルにてご確認ください。



マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

A) 前工程発行

① 納入指示CSVファイルを作成する

アップロードを行う納入指示CSVファイルを作成します。

※ **P.24 2. 納入指示CSVレイアウト** を参照

② 納入指示CSVファイルをアップロードする

"納入指示"画面でCSVファイルをアップロード後に、

Web画面を操作することで、仕入先へ納入指示を送信します。

送信する場合に、今回作成した納入指示で間違いがないか確認後に、
操作してください。



マニュアルの「7.3.2 納入指示のCSVデータをアップロードし、納入指示を送信する」を参照

③ 受領実績CSVファイルを作成する

出荷元から製品が届いた後、アップロードを行う受領実績CSVファイルを作成
します。

※ **P.34 3. 受領実績CSVレイアウト** を参照

④ 受領実績CSVファイルをアップロードする

"受領確認"画面よりCSVファイルをアップロードして、受領処理を行います。

受領処理を行うと物流上の取引先と、商流上の取引先へ実績が送信されます。

B) 後工程発行

① 納入指示CSVファイルを作成する

アップロードを行う納入指示CSVファイルを作成します。

※ **P.24 2. 納入指示CSVレイアウト** を参照

② 納入指示CSVファイルをアップロードする

"納入指示"画面よりCSVファイルをアップロードします。

アップロード後に帳票を発行をした後、トヨタWG共通EDIへ納入指示を登録します。

※発行工程の項目が"後"となっていることをご確認ください

③ 受領実績CSVファイルを作成する

出荷元から製品が届いた後、アップロードを行う受領実績CSVファイルを作成
します。

※ **P.34 3. 受領実績CSVレイアウト** を参照

④ 受領実績CSVファイルをアップロードする

"受領確認"画面よりCSVファイルをアップロードして、受領処理を行います。

受領処理を行うと、商流上の取引先へ実績が送信されます。

<状況確認>

納入指示の状況を確認する画面について説明します。

1) 納入指示の状況を確認する

自社で納入指示を作成してから受領までの状況を、納品書番号単位に一覧での確認ができます。

 マニュアルの「7.5.1 出荷、受領状況を確認する」を参照



ワンポイント

キャンセルをした品番は一覧には表示されません。

⇒"3) 納入指示をキャンセルした履歴を確認する"で対象の品番を確認します。

2) 受領した履歴を確認する

自社で受領した履歴を確認できます。

 マニュアルの「7.5.2 受領確認を行った履歴を確認する」を参照

3) 納入指示をキャンセルした履歴を確認する

自社で納入指示をキャンセルした履歴を確認できます。

 マニュアルの「7.7.2 納入指示をキャンセルした履歴を参照する」を参照

1. 受入品番マスタCSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
1	発注者	○	CHAR	10	商流上発注者のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード
2	発注者事業所	○	CHAR	5	商流上発注者のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
3	受注者	○	CHAR	10	商流上受注者のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード
4	受注者事業所	○	CHAR	5	商流上受注者のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
5	品番	○	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する 後ろブランク不可
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+ 受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる 後ろブランク不可 ※1：部品取扱識別が設定されている場合は必須
7	取引開始日	○	NUM	8	トヨタWG共通EDI上マスタを有効開始とする日付
8	取引終了日		NUM	8	トヨタWG共通EDI上マスタを有効期限とする日付
9	発注元	○	CHAR	10	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード
10	発注元工区	○	CHAR	5	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
11	出荷元	○	CHAR	10	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示すを表す企業コード (仕入先)
12	出荷元工区	○	CHAR	5	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(仕入先工区)
13	出荷場所		CHAR	5	出荷を行う企業の出荷場を表すコード 後ろブランク不可
14	出荷場所名称		CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称
15	納入先	○	CHAR	10	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(納入先)
16	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)
17	納入場所		CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可
18	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある
19	背番号		CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番
20	品名		CHAR	30	部品の名称
21	収容数		NUM	8	部品箱一箱の最大入り数 取引契約単位の入数
22	所番地		CHAR	10	部品の置き場の名称
23	箱種		CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
24	単位		CHAR	4	数量の単位が何であるかを表す CS：箱 GRM：グラム KGM：キログラム K6：キロリットル LTR：リットル MLT：ミリリットル MMT：ミリメートル CMT：センチメートル MTR：メートル MTK：平方メートル CMQ：立方センチメートル MTQ：立方メートル C62：個(枚、本等含む) SET：セット
25	部品色		CHAR	35	部品の色を表すコード
26	納品書フリー明細		CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目 鋼材の場合、材質、寸法など、必要な情報を設定します。 1～30桁目 …材質、目付など 31～60桁目…寸法など
27	納入方式		CHAR	1	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分
28	後工程エリア(1)－1		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：1桁 "02"時：1桁 "03"時：10桁 "04"時：20桁 "05"時：4桁 "06"時：2桁 "07"時：2桁 "08"時：1桁 "09"時：2桁
29	後工程エリア(1)－2		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁 "02"時：8桁 "03"時：10桁 "04"時：20桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 "07"時：8桁 "08"時：6桁 "09"時：8桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
30	後工程エリア(1)－3		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁 "02"時：8桁 "03"時：未使用 "04"時：20桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 "07"時：8桁 "08"時：12桁 "09"時：8桁
31	後工程エリア(1)－4		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：5桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁
32	後工程エリア(1)－5		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：6桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁
33	後工程エリア(1)－6		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：12桁 "07"時：4桁 "08"時：12桁 "09"時：未使用

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
34	後工程エリア(1)－7		CHAR	256	後工程エリア（1）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：22桁 "07"時：未使用 "08"時：22桁 "09"時：未使用
35	後工程エリア(1)－8		CHAR	256	
36	後工程エリア(1)－9		CHAR	256	
37	後工程エリア(1)－10		CHAR	256	
38	後工程エリア(1)－11		CHAR	256	
39	後工程エリア(1)－12		CHAR	256	
40	後工程エリア(1)－13		CHAR	256	
41	後工程エリア(1)－14		CHAR	256	
42	後工程エリア(1)－15		CHAR	256	
43	後工程エリア(1)－16		CHAR	256	
44	後工程エリア(1)－17		CHAR	256	
45	後工程エリア(1)－18		CHAR	256	
46	後工程エリア(1)－19		CHAR	256	
47	後工程エリア(1)－20		CHAR	256	
48	後工程エリア(2)－1		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：8桁 "03"時：20桁 "04"時：19桁 "05"時：11桁+CD1桁 "06"時：18桁 "07"時：8桁（企業シリアルNo.） "08"時：20桁 "09"時：8桁（企業シリアルNo.）
49	後工程エリア(2)－2		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：2桁 "05"時：未使用 "06"時：18桁 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
50	後工程エリア(2)－3		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：5桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁（企業シリアルNo.） "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用
51	後工程エリア(2)－4		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：16桁(全角8桁) "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用
52	後工程エリア(2)－5		CHAR	256	後工程エリア（2）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：10桁 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：8桁（企業シリアルNo.） "09"時：未使用
53	後工程エリア(2)－6		CHAR	256	
54	後工程エリア(2)－7		CHAR	256	
55	後工程エリア(2)－8		CHAR	256	
56	後工程エリア(2)－9		CHAR	256	
57	後工程エリア(2)－10		CHAR	256	
58	後工程エリア(2)－11		CHAR	256	
59	後工程エリア(2)－12		CHAR	256	
60	後工程エリア(2)－13		CHAR	256	
61	後工程エリア(2)－14		CHAR	256	
62	後工程エリア(2)－15		CHAR	256	
63	後工程エリア(2)－16		CHAR	256	
64	後工程エリア(2)－17		CHAR	256	
65	後工程エリア(2)－18		CHAR	256	
66	後工程エリア(2)－19		CHAR	256	
67	後工程エリア(2)－20		CHAR	256	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
68	後工程エリア(3)－1		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "03"時：24桁 "04"時：9桁(バーコード) "05"時：20桁 "06"時：11桁+CD1桁 "07"時：10桁 "08"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR) "09"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR)
69	後工程エリア(3)－2		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：16桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：20桁(全角10桁) "06"時：16桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：11桁
70	後工程エリア(3)－3		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：10桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "06"時：10桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：16桁
71	後工程エリア(3)－4		CHAR	256	後工程エリア (3) パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：4桁 "06"時：6桁 "07"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "08"時：4桁 "09"時：10桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
72	後工程エリア(3)－5		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：16桁 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：2桁 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：2桁 "09"時：6桁
73	後工程エリア(3)－6		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：6桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁
74	後工程エリア(3)－7		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：6桁
75	後工程エリア(3)－8		CHAR	256	後工程エリア（3）パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
76	後工程エリア(3)－9		CHAR	256	後工程エリア(3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：3桁
77	後工程エリア(3)－10		CHAR	256	後工程エリア(3) パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁
78	後工程エリア(3)－11		CHAR	256	
79	後工程エリア(3)－12		CHAR	256	
80	後工程エリア(3)－13		CHAR	256	
81	後工程エリア(3)－14		CHAR	256	
82	後工程エリア(3)－15		CHAR	256	
83	後工程エリア(3)－16		CHAR	256	
84	後工程エリア(3)－17		CHAR	256	
85	後工程エリア(3)－18		CHAR	256	
86	後工程エリア(3)－19		CHAR	256	
87	後工程エリア(3)－20		CHAR	256	
88	Q Rフリー項目		CHAR	100	
89	前工程バーコード		CHAR	178	前工程発行パターンの値 "01"時：17桁(CODE39バーコード) "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR)
90	前工程情報1		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：23桁 "02"時：23桁 "03"時：23桁 "04"時：13桁
91	前工程情報2		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：13桁 "02"時：13桁 "03"時：13桁 "04"時：5桁

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
92	前工程情報3		CHAR	46	前工程発行パターンの値 "01"時：20桁 "02"時：46桁 "03"時：46桁 "04"時：20桁
93	前工程情報4		CHAR	26	前工程発行パターンの値 "01"時：12桁 "02"時：26桁 "03"時：26桁 "04"時：12桁
94	前工程情報5		CHAR	20	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：10桁 "04"時：20桁
95	前工程情報6		CHAR	12	前工程発行パターンの値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：4桁 "04"時：12桁
96	納入サイクル		NUM	8	サイクルAA-BB-CC.DD
97	マスタ区分	○	CHAR	1	マスタを登録する際、そのマスタが何を示しているかを区別するための区分 "1"：購入 "2"：売り "3"：支給 "4"：受給 "5"：直送支給 "6"：製造委託 "7"：受給品を直送支給 "8"：別送支給
98	直送先／委託先		CHAR	10	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コードを設定する
99	直送先／委託先工区		CHAR	5	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先のトヨタWG共通EDIサーバ上の工区コードを設定する
100	直送先／委託先部品番号		CHAR	25	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先へ連携する部品番号を設定する ※連携時は必須
101	直送先／委託先部品取扱識別		CHAR	25	直送支給、製造委託の場合、支給先もしくは委託先へ連携する部品取扱識別を設定する ※連携時に部品取扱識別を設定する場合は必須
102	スルー区分	○	NUM	1	中継する立場の場合に、マスタの参考情報変更について自動連携可否を設定する "0"：スルーしない ※未対応機能（2017/06時点）

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明
103	帳票発行区分		CHAR	1	"1": 後工程 ブランク: 企業コードマスタの帳票発行先の設定に従う ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "受入品番CSV帳票発行区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
104	出荷数変更区分		CHAR	1	"0": なし "1": あり ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
105	出荷数変更上限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
106	出荷数変更下限		NUM	3	※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV出荷数変更区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力
107	別送支給区分		CHAR	1	"0": 別送支給品以外 "1": 別送支給品 ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV別送支給区分ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合ダウンロード時に出力

2. 納入指示CSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
1	発注者	○	CHAR	10	商流上発注者のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード	1
2	発注者事業所	○	CHAR	5	商流上発注者のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード	2
3	受注者	○	CHAR	10	商流上受注者のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード	3
4	受注者事業所	○	CHAR	5	商流上受注者のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード	4
5	品番	○	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報商流上の取引先と一意となるように設定する必要がある 部品番号のみで一意とならない場合には、部品取扱識別を利用する 後ろブランク不可	5
6	部品取扱識別	※1	CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別 発注者(企業コード)+発注者(事業所コード)+受注者(企業コード)+受注者(事業所コード)+部品番号+部品取扱識別で一意となる 後ろブランク不可 ※1：受入品番マスタに部品取扱識別が設定されている場合は必須	6
7	発注元		CHAR	10	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード	9
8	発注元工区		CHAR	5	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード	10
9	発注元名称		CHAR	20	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業の名称	
10	発注元工場名		CHAR	12	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場の名称	
11	出荷元		CHAR	10	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示すを表す企業コード(仕入先)	11
12	出荷元工区		CHAR	5	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード	12
13	出荷場所		CHAR	5	出荷を行う企業の出荷場を表すコード 後ろブランク不可	13
14	出荷元名称		CHAR	20	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業名称(仕入先名)	
15	出荷元工場名		CHAR	12	出荷を行う企業の工場の名称(仕入先工場名)	
16	出荷場所名称		CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称	14
17	納入先		CHAR	10	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の企業コード(納入先)	15
18	納入先工区		CHAR	5	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(納入先工区)	16
19	納入場所		CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード(受入) 後ろブランク不可	17
20	納入先名称		CHAR	20	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の企業名称(納入先名)	
21	納入先工場名		CHAR	12	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場名称(納入先工場名)	
22	定期／不定期区分	○	CHAR	1	納入先企業が任意に設定する発注の種類を表すコード	
23	定期／不定期区分名称		CHAR	12	納入先企業が任意に設定する発注の種類 "号口"、"臨時"、"特配"、"スポ特"など	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
24	適用業務区分		CHAR	1	現品票(かんばん)QR、納品書QRに印字される区分納入先が任意で設定する JAMA規定では、以下の通り "0": 適用業務の指定なし "1": 量産部品 "2": 生産試作部品 "3": K D部品 "4": 補修品・用品 "5": 直接材料 "6": 間接材／副資材 "7": 設備	
25	発行日		NUM	8		
26	納入指示日	○	NUM	8	納入先が指定する納入予定日	
27	納入指示時刻		NUM	4	納入先が指定する納入時刻	
28	便		NUM	2	納入先が指定する納入予定便	
29	輸送識別		CHAR	10	納入便の略称	
30	便チケット番号		CHAR	13	便チケットの縦バーコード、QRコードに印字する情報 納入先で便チケットの縦バーコード、QRコードを読み取って検収する場合に使用する	
31	納品書番号	※2	CHAR	8	納品書発行単位に付与する連番 英数字等の付番ルールは発注元による 下1桁は分納回数の為、初回は0 ※2: システムで自動採番する場合は省略可	
32	ページ数	※2	NUM	2	同一納品書番号の中のページNo.(2桁) 1ページ目は"01"、2ページ目は"02"となる ※2: システムで自動採番する場合は省略可	
33	行No	※2	NUM	2	同一納品書番号の中の行No.(2桁) 1行目は"01"、2行目は"02"となる ※2: システムで自動採番する場合は省略可	
34	発行番号		CHAR	17	外部システムで、品番毎に番号管理している場合に、利用する項目	
35	表示用品番		CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものが帳票に印字される ※発注元が設定した値から変更不可 ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある	18
36	背番号		CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番	19
37	品名		CHAR	30	部品の名称	20
38	収容数		NUM	8	部品箱一箱の最大入り数 取引契約単位の入数	21
39	所番地		CHAR	10	部品の置き場の名称	22
40	箱種		CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード	23
41	打切区分		NUM	1	部品発注の停止(打切り)の際に、その状態を表す区分 この区分に従って、かんばんに打切りの状態を印字する "0": 印字なし "1": "打切対象" "2": "打切中" "3": "打切最終" "A": "Build-Out Target" "B": "Build-Out Check" "C": "Build-Out Completion"	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
42	打切残数		NUM	8	部品発注の停止の際の、発注停止までの残数	
43	端数区分		NUM	1	端数発注(収容数に満たない発注)の場合に、現品票(かんばん)にコメントを印字する為の区分 "1" (端数) "A" (FRACTION)	
44	枝番		NUM	17	現品票(かんばん) 1 枚単位の連番 品番単位に付与する 最大17桁だが、かんばんの印字は下 4 桁 4桁セットの場合「9999」の次は「0001」となるが、5桁以上の場合印字は下4桁表示のため「0000」が表示される 外部システムでコントロールし、通し連番として使用することも可能	
45	納入指示数	○	NUM	8	部品の納入数量	
46	単位		CHAR	4	数量の単位が何であるかを表す CS : 箱 GRM : グラム KGM : ｷｸﾞラム K6 : ｷﾛﾘｯﾄﾙ LTR : リットル MLT : ミリリットル MMT : ミリメートル CMT : センチメートル MTR : メートル MTK : 平方メートル CMQ : 立方センチメートル MTQ : 立方メートル C62 : 個(枚、本等含む) SET : セット	24
47	手配担当		CHAR	12	部品発注担当者の名前	
48	部品色		CHAR	35	部品の色を表すコード	25
49	包装単位個数		NUM	8	梱包包装単位個数	
50	納品書フリーヘッダー1		CHAR	40	納品書に印字する発注単位の備考項目(1行目)	
51	納品書フリーヘッダー2		CHAR	40	納品書に印字する発注単位の備考項目(2行目)	
52	納品書フリーヘッダー3		CHAR	40	納品書に印字する発注単位の備考項目(3行目)	
53	納品書フリーヘッダー4		CHAR	40	納品書に印字する発注単位の備考項目(4行目)	
54	納品書フリー明細		CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目	26
55	納入方式		CHAR	1	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分	27
56	納入方式名称		CHAR	12	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分の名称	
57	かんばん発行有無		NUM	2	現品票(かんばん)の発行可否 "00" : 発行しない "01" : 標準のかんばん ※ 未入力の場合、Web画面の設定が適用される	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
58	帳票発行指示区分		NUM	2	納品書、受領書の種類と発行可否 "00": 印字しない "01": JAMA納品書 + 受領書(デフォルト) "02": JAMA納品書のみ "03": JAMA受領書のみ "04": 便チケット ※ 未入力の場合、Web画面の設定が適用される	
59	後工程エリア(1)		NUM	2	後工程エリア(1)のレイアウト "01": 搬入コース・MROS・分割No "02": 搬入コース+2項目 "03": 自由設定2段 "04": 自由設定3段 "05": 自由設定1段 "06": 輸出用国内調達2段 "07": 輸出用国内調達1段 "08": 輸出品対応 "09": 鋼材対応 ※発注側でデータセットがなければ、空データあり	
60	後工程エリア(1)-1		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時: 1桁 "02"時: 1桁 "03"時: 10桁 "04"時: 20桁 "05"時: 4桁 "06"時: 2桁 "07"時: 2桁 "08"時: 1桁 "09"時: 2桁	28
61	後工程エリア(1)-2		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時: 4桁 "02"時: 8桁 "03"時: 10桁 "04"時: 20桁 "05"時: 未使用 "06"時: 8桁 "07"時: 8桁 "08"時: 6桁 "09"時: 8桁	29
62	後工程エリア(1)-3		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時: 4桁 "02"時: 8桁 "03"時: 未使用 "04"時: 20桁 "05"時: 未使用 "06"時: 8桁 "07"時: 8桁 "08"時: 12桁 "09"時: 8桁	30

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
63	後工程エリア(1)－4		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：5桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁	31
64	後工程エリア(1)－5		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時：4桁(印字しない項目) "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：6桁 "08"時：5桁 "09"時：30桁	32
65	後工程エリア(1)－6		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：12桁 "07"時：4桁 "08"時：12桁 "09"時：未使用	33
66	後工程エリア(1)－7		CHAR	256	後工程エリア(1)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：未使用 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：22桁 "07"時：未使用 "08"時：22桁 "09"時：未使用	34
67	後工程エリア(1)－8		CHAR	256		35
68	後工程エリア(1)－9		CHAR	256		36
69	後工程エリア(1)－10		CHAR	256		37
70	後工程エリア(1)－11		CHAR	256		38
71	後工程エリア(1)－12		CHAR	256		39
72	後工程エリア(1)－13		CHAR	256		40
73	後工程エリア(1)－14		CHAR	256		41
74	後工程エリア(1)－15		CHAR	256		42
75	後工程エリア(1)－16		CHAR	256		43
76	後工程エリア(1)－17		CHAR	256		44

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
77	後工程エリア(1)－18		CHAR	256		45
78	後工程エリア(1)－19		CHAR	256		46
79	後工程エリア(1)－20		CHAR	256		47
80	後工程エリア(2)		NUM	2	後工程エリア(2)のレイアウト "01"：3行 "02"：1行 "03"：5行 "04"：海外対応(文字のみ) "05"：バーコード "06"：企業シリアルNo.(3行) "07"：企業シリアルNo.(1行) "08"：企業シリアルNo.(5行) "09"：企業シリアルNo.(バーコード) ※発注側でデータセットがなければ、空データあり	
81	後工程エリア(2)－1		CHAR	256	後工程エリア(2)の値 "01"時：18桁 "02"時：8桁 "03"時：20桁 "04"時：19桁 "05"時：11桁+CD1桁 "06"時：18桁 "07"時：8桁 (企業シリアルNo.) "08"時：20桁 "09"時：8桁 (企業シリアルNo.)	48
82	後工程エリア(2)－2		CHAR	256	後工程エリア(2)の値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：2桁 "05"時：未使用 "06"時：18桁 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用	49
83	後工程エリア(2)－3		CHAR	256	後工程エリア(2)の値 "01"時：18桁 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：5桁 "05"時：未使用 "06"時：8桁 (企業シリアルNo.) "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用	50

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
84	後工程エリア(2)－4		CHAR	256	後工程エリア(2)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：16桁(全角8桁) "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：20桁 "09"時：未使用	51
85	後工程エリア(2)－5		CHAR	256	後工程エリア(2)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：20桁 "04"時：10桁 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：8桁(企業シリアルNo.) "09"時：未使用	52
86	後工程エリア(2)－6		CHAR	256		53
87	後工程エリア(2)－7		CHAR	256		54
88	後工程エリア(2)－8		CHAR	256		55
89	後工程エリア(2)－9		CHAR	256		56
90	後工程エリア(2)－10		CHAR	256		57
91	後工程エリア(2)－11		CHAR	256		58
92	後工程エリア(2)－12		CHAR	256		59
93	後工程エリア(2)－13		CHAR	256		60
94	後工程エリア(2)－14		CHAR	256		61
95	後工程エリア(2)－15		CHAR	256		62
96	後工程エリア(2)－16		CHAR	256		63
97	後工程エリア(2)－17		CHAR	256		64
98	後工程エリア(2)－18		CHAR	256		65
99	後工程エリア(2)－19		CHAR	256		66
100	後工程エリア(2)－20		CHAR	256		67
101	後工程エリア(3)		NUM	2	後工程エリア(3)のレイアウト "01"：文字のみ6行 "02"：QR+6行 "03"：文字のみ10行 "04"：バーコード+4行 "05"：海外対応(4行+QR) "06"：海外対応(バーコード+6行+QR) "07"：海外対応(3行+QR) "08"：輸出品対応(4行+QR) "09"：輸出品対応(バーコード+QR) ※発注側でデータセットがなければ、空データあり	

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
102	後工程エリア(3)－1		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：16桁 "02"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "03"時：24桁 "04"時：9桁(バーコード) "05"時：20桁 "06"時：11桁+CD1桁 "07"時：10桁 "08"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR) "09"時：英数字のみ251桁、 カナ、漢字が入る場合には155桁(QR)	68
103	後工程エリア(3)－2		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：10桁 "02"時：16桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：20桁(全角10桁) "06"時：16桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：11桁	69
104	後工程エリア(3)－3		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：16桁 "02"時：10桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "06"時：10桁 "07"時：10桁 "08"時：20桁 "09"時：16桁	70
105	後工程エリア(3)－4		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：16桁 "05"時：4桁 "06"時：6桁 "07"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "08"時：4桁 "09"時：10桁	71

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
106	後工程エリア(3)－5		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：16桁 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：10桁 "05"時：2桁 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：2桁 "09"時：6桁	72
107	後工程エリア(3)－6		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：10桁 "02"時：6桁 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：6桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁	73
108	後工程エリア(3)－7		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：未使用 "02"時：3桁 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：5桁 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：6桁	74
109	後工程エリア(3)－8		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：英数字のみ178桁、 カナ、漢字が入る場合には122桁(QR) "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁	75

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	受入品番マスタ CSV対応No
110	後工程エリア(3)－9		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：24桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：3桁	76
111	後工程エリア(3)－10		CHAR	256	後工程エリア(3)の値 "01"時：未使用 "02"時：未使用 "03"時：16桁 "04"時：未使用 "05"時：未使用 "06"時：未使用 "07"時：未使用 "08"時：未使用 "09"時：5桁	77
112	後工程エリア(3)－11		CHAR	256		78
113	後工程エリア(3)－12		CHAR	256		79
114	後工程エリア(3)－13		CHAR	256		80
115	後工程エリア(3)－14		CHAR	256		81
116	後工程エリア(3)－15		CHAR	256		82
117	後工程エリア(3)－16		CHAR	256		83
118	後工程エリア(3)－17		CHAR	256		84
119	後工程エリア(3)－18		CHAR	256		85
120	後工程エリア(3)－19		CHAR	256		86
121	後工程エリア(3)－20		CHAR	256		87
122	Q R フリー項目		CHAR	100	かんぱん中央のQRのフリー項目を設定	88
123	処理番号		NUM	14	外部システムからトヨタWG共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目(#####0)	

3. 受領実績CSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	納入指示 CSV対応No
1	発注者	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの発注者	1
2	発注者事業所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの発注者事業所	2
3	受注者	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの受注者	3
4	受注者事業所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの受注者事業所	4
5	品番	○	CHAR	25	納入指示CSVファイルの品番	5
6	部品取扱識別		CHAR	25	納入指示CSVファイルの部品取扱識別	6
7	出荷元	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの出荷元(自社)	11
8	出荷元工区	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの出荷元工区(自社)	12
9	納入先	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの納入先	17
10	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの納入先工区	18
11	納入場所		CHAR	5	納入指示CSVファイルの納入場所	19
12	納入指示日	○	NUM	8	納入指示CSVファイルの納入指示日(yyyymmdd)	26
13	納品書番号	○	CHAR	8	納入指示CSVファイルの納品書番号	31
14	ページ数	○	NUM	2	納入指示CSVファイルのページ数(#0)	32
15	行No	○	NUM	2	納入指示CSVファイルの行No(#0)	33
16	受領日	○	NUM	8	納入先で受領をした日付	
17	受領数	○	NUM	8	納入先の受領数	
18	処理番号		NUM	14	外部システムからトヨタWG共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目(#####0)	123

3. 外部I/Fを利用し、納入指示を行う

ここではトヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用し、外部システムで納入指示業務を行う際の初期設定と操作について説明します。

<初期設定>

外部システムから外部I/Fを利用し、納入指示業務を行うにあたり、必須で設定していただくものについて説明します。

■ 必須 ■

1) 帳票発行先を変更する

納入指示ファイルに帳票発行先を設定しない場合、かんばんを発行する場所（前工程／後工程）を出荷元工区単位または品番単位に設定します。

A) 出荷元工区単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。

 マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

B) 品番単位に設定する場合、以下の手順にて設定してください。

 マニュアルの「6.14 帳票発行先を設定する(品番単位)」を参照



ワンポイント

- ・ 帳票発行先の規定値は後工程発行となっています。
前工程発行で納入指示を行う場合は、事前に設定を変更してください。
- ・ 帳票発行先の設定によって以下のように動作します。
前工程発行…出荷元にデータを送信し、仕入先でかんばんを発行
後工程発行…出荷元にデータを送信せずに、自社でかんばんを発行

2) 納品書番号を設定する

納入指示ファイルに納品書番号を手動で割り当てる場合、Web画面で納品書番号を自動採番しないように設定します。

システムパラメータ「納品書番号の自動採番」：「N:実施しない」

 マニュアルの「6.18 納品書番号を自動で採番する」を参照

[補足] 納入指示業務をWeb画面から外部システムへ切り替える場合

Web画面で納入指示を作成する場合、納品書番号を自動で採番する設定が必要になります。その場合、外部システムから納品書番号を指定する際に、エラーとなってしまいます。

自動で採番する設定の場合でも、外部システムから納品書番号を指定できる設定があります。

※設定方法はシステム提供会社へお問い合わせをお願いします。



ワンポイント

本機能の利用は納入指示の運用をWeb画面から外部システムへ切り替える期間のみとしてください。

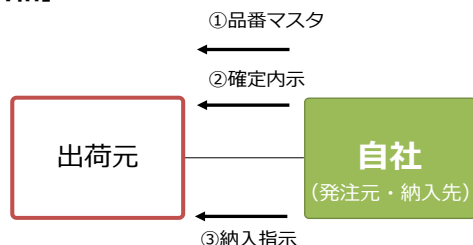
<納入指示～受領>

外部システムから納入指示を行う前の事前確認と、納入指示から受領について説明します。

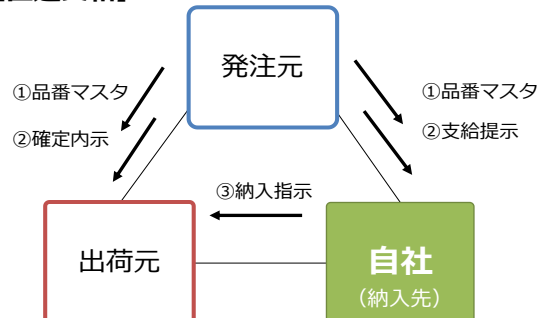
納入指示業務を行う前の確認

納入指示を行うためには"品番情報（品番マスタ）"と"内示情報"が必要です。
業務を行う前に納入指示を行う品番が登録されているか確認します。

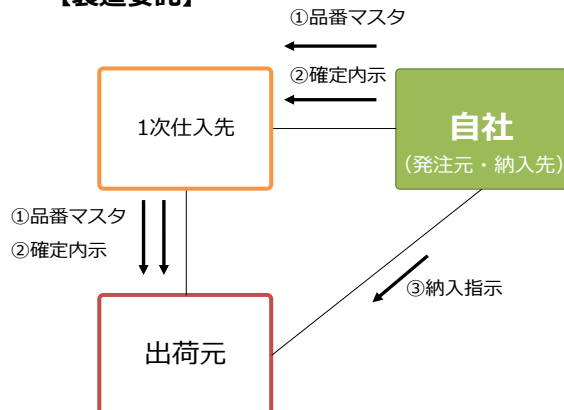
【自給】



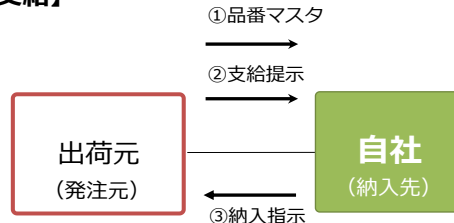
【直送支給】



【製造委託】



【支給】



① 品番マスタを確認する

納入指示を行う前に品番情報を受信（自給の場合は送信）しているか確認します。
品番情報は"受入品番マスタ"から確認します。



マニュアルの「6.22 品番情報の照会をする」を参照

② 内示情報を確認する

納入指示を行う前に発注元から内示情報を受信（自給の場合は仕入先へ送信）しているか確認します。内示情報を確認する場合、支給と自給では内示情報の種別が異なるため、確認画面も異なります。

A) 支給："得意先からの支給提示"から支給提示の確認を行います。



マニュアルの「7.9.1 得意先から受信した支給提示情報を照会する」を参照

B) 自給："仕入先への内示"から確定内示の確認を行います。



マニュアルの「7.2.3 仕入先への確定内示情報を画面から参照する」を参照

1) 納入指示～受領を行う

納入指示送信から受領までの流れを説明します。

帳票発行先（前工程／後工程）で操作方法が多少異なるため、それぞれ説明します。

帳票発行先については下記のマニュアルにてご確認ください。



マニュアルの「6.13 帳票発行先を設定する(事業所単位)」を参照

外部システムの操作方法や自社システムとの連携方法、ファイルの作成要領に関してはシステム提供会社へご確認ください。

A) 前工程発行

① 納入指示ファイルを作成する

アップロードを行う納入指示ファイルを作成します。

② 納入指示を送信する

作成した納入指示ファイルを外部システムよりアップロードします。

③ 受領実績ファイルを作成する

出荷元から製品が届いた後、受領実績ファイルを作成します。

④ 受領実績を送信する

作成した受領実績ファイルを外部システムよりアップロードします。

B) 後工程発行

① 納入指示ファイルを作成する

アップロードを行う納入指示ファイルを作成します。

② 納入指示をアップロードする

作成した納入指示ファイルを外部システムよりアップロードします。

③ 帳票を発行し、送信する

Web画面から出荷元に渡す帳票を発行した後、納入指示を送信します。



マニュアルの「7.3.3 画面からデータを入力し、納入指示を送信する(後工程発行)」を参照

③ 受領を行う

出荷元から製品が届いた後、Web画面から受領処理を行います。

受領処理を行うと商流上の取引先へ実績が送信されます。



マニュアルの「7.4.2 画面からデータを選択し、受領する(後工程発行)」を参照

4. 鋼材について

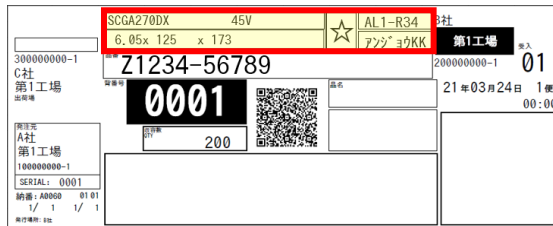
ここでは、納入先の立場で鋼材を扱う場合のトヨタWG共通EDIでの運用について、説明します。
Web画面と外部I/Fで内容が異なりますので、それぞれ説明します。

<Web画面で納入指示を行う>

1) 後工程エリアのレイアウトを設定する

後工程エリア（1）（現品票フリーエリア）のレイアウトを"09：鋼材対応"に設定をします。

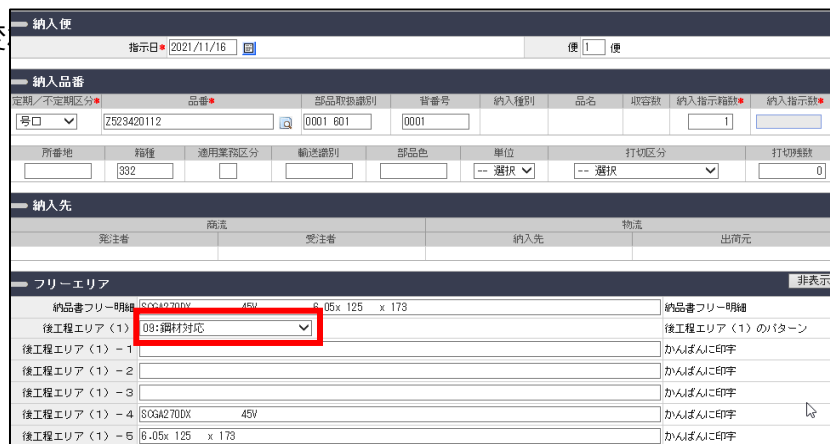
 マニュアルの「6.4 かんぱんの後工程エリアのレイアウトを変更する」を参照



ワンポイント

材料品と部品の納入指示を1工区内にて共有する場合は、部品側のレイアウトも

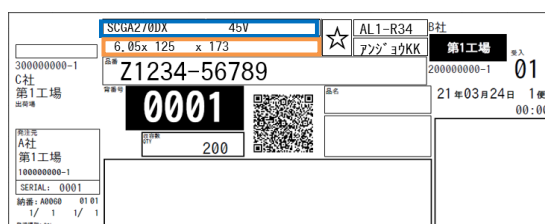
変 更 します。



納入指示登録画面

2) 材質、寸法の情報を後工程エリア（1）へ設定する

かんぱんへ材質、寸法などの必要な情報を印字する必要があり、必要な情報は
発注元から連携された受入品番マスタの納品書フリー明細の項目に登録されています。
納品書フリー明細の値を切り出して受入品番マスタの後工程エリア（1）へ
登録することで、かんぱんへ印字されます。



納品書フリー明細：1～30桁 … 材質、目付
⇒ 後工程エリアの上段に印字

納品書フリー明細：31～60桁 … 寸法
⇒ 後工程エリアの下段に印字

受入品番マスタの納品書フリー明細の値の1～30桁目を後工程エリア（１）－４へ設定し、納品書フリー明細の値の31～60桁目を後工程エリア（１）－５へ設定します。

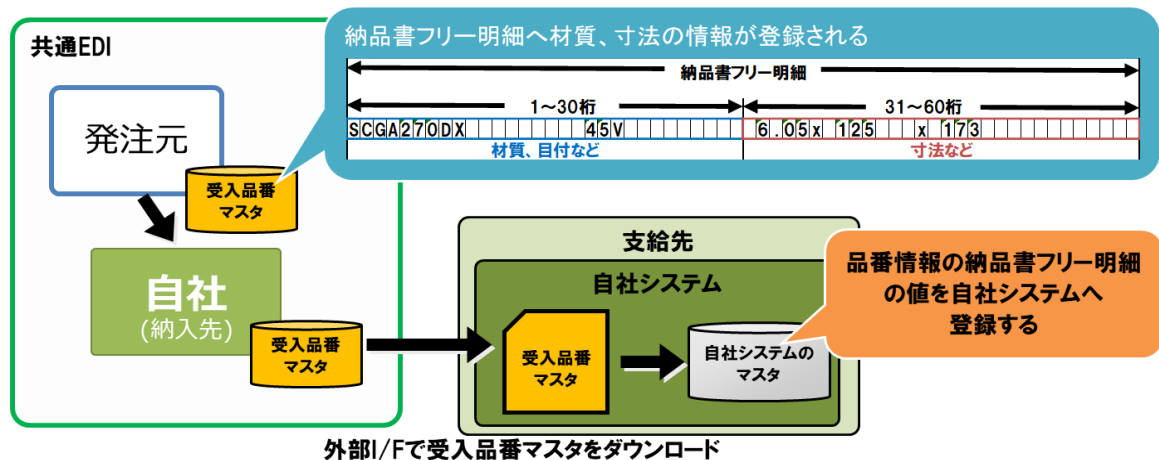
受入品番マスタ 詳細（編集）画面

＜外部I/Fを利用し、納入指示を行う＞

1) 受入品番マスタを取得し、材質、寸法の情報を外部システムと同期させる

材質・寸法などの鋼材に必要な情報をかんばんに印字するため、納入指示データの納品書フリー明細と後工程エリアの所定の場所に設定する必要があります。

発注元から受信した受入品番マスタの納品書フリー明細に材質・寸法などが設定されるため、受入品番マスタをダウンロードし、外部システムに登録することで、随時同期させる必要があります。



外部I/Fで受入品番マスタをダウンロード

2) 納入指示を作成後、外部I/Fを利用し、送信する

外部システムに登録した、納品書フリー明細の値を納入指示データの納品書フリー明細に設定し、後工程エリア（１）の所定の項目へ納品書フリー明細の値を切り出して設定します。後工程エリア（１）のレイアウトパターンは「09」を設定します。

納品書フリー明細：1～30桁 … 材質、目付
⇒ 後工程エリアの上段に印字
納品書フリー明細：31～60桁 … 寸法
⇒ 後工程エリアの下段に印字

5. 取得できるデータ

ここでは納入先の立場で取得できるデータについて説明します。

1) 取得可能なデータ

Web画面、外部I/Fから取得できるデータについて説明します。

外部I/Fの場合、ファイルの連携方法はシステム提供会社へお問い合わせをお願いします。



ワンポイント

共通EDIではデータを90日間保持しています。

90日を超えた場合、共通EDIからは削除されますので、実績など必要な場合、適宜保存をお願いします。

※品番マスタは取引終了日から90日間保持

・品番マスタ

自社で取り扱う品番の情報になります。発注元もしくは商流上上位にあたる企業から送信されてきた品番情報になります。

自給品の場合は、出荷元へ送信した品番の情報になります。



マニュアルの「6.22 品番情報の照会をする」を参照

・支給提示

支給品の場合に発注元から受信した支給提示の情報です。



マニュアルの「7.9.2 得意先からの支給提示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・内示

自給品の場合に出荷元へ送信した内示の情報です。



マニュアルの「7.1.4 仕入先への内示情報のCSVデータをダウンロードする」

「7.2.4 仕入先への確定内示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・納入指示

出荷元へ送信した発注データになります。



マニュアルの「8.6 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」を参照

・納期回答

出荷元で未納処理を行った情報の実績になります。



マニュアルの「8.6 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」を参照

・出荷実績

出荷元から受信した出荷実績の情報です。



マニュアルの「8.4.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.4.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

・受領実績

自社で受領処理を行った情報です。



マニュアルの「8.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.2.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

・受領実績（返品分）

自社から返品を行った情報です。

返品の実績は受領数が"マイナス"の値で取得されます。



マニュアルの「8.2.1 集計条件を指定し、CSVファイルをダウンロードする」

「8.2.2 仕入先(出荷元)単位のCSVファイルをダウンロードする」を参照

2) データ送受信の相関図と取得可能データ

各データの送受信の流れと取得できるデータについて説明します。

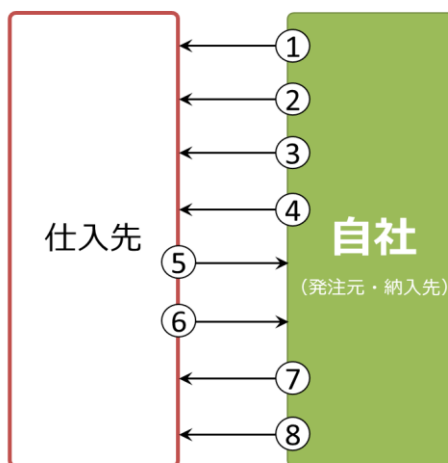
A) 自給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部取/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	内示	送信	○	×
③	納入指示	送信	○	○
④	納入指示キャンセル	送信	○	○
⑤	出荷実績	受信	○	○
⑥	納期回答	受信	○	○
⑦	受領実績	送信	○	○
⑧	受領実績 返品	送信	○	○



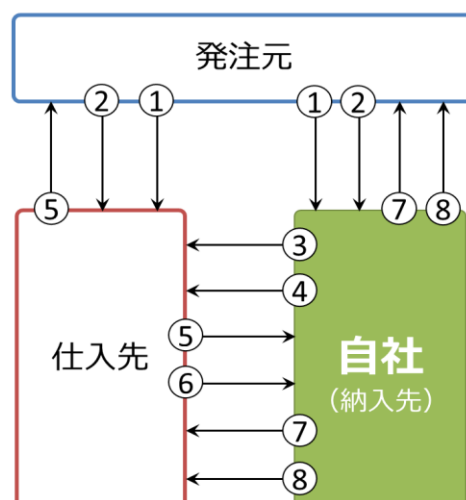
B) 直送支給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できる実績については
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部取/F
①	品番マスタ	受信	○	○
②	支給提示	受信	○	○
③	納入指示	送信	○	○
④	納入指示キャンセル	送信	○	○
⑤	出荷実績	受信	○	○
⑥	納期回答	受信	○	○
⑦	受領実績	送信	○	○
⑧	受領実績 返品	送信	○	○



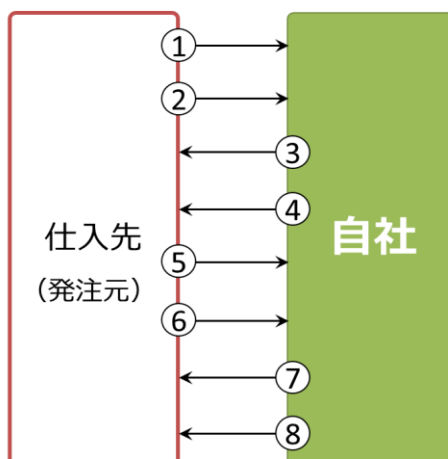
C) 内製支給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できる実績については
下記一覧の通りです。

【実績取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	受信	○	○
②	支給提示・内示	受信	○	○
③	納入指示	送信	○	○
④	納入指示キャンセル	送信	○	○
⑤	出荷実績	受信	○	○
⑥	納期回答	受信	○	○
⑦	受領実績	送信	○	○
⑧	受領実績 返品	送信	○	○



6. よくある問い合わせ

下記に記載のない症状については、サポートサイトのよくあるご質問を参照頂くか、サポートデスクへご連絡ください。

納入指示	
こんなとき（症状）	どうする（対応方法）
「納品書番号XXXXのかんばんが印刷されていません。」とエラーメッセージが表示され、納入指示を仕入先へ送信できない	"納入指示"画面で対象の納品書番号の発行工程が「後」の場合、帳票の発行先が後工程発行となっているため、仕入先へデータは送信されません。帳票発行先を「前工程」に変更し、再度納入指示を作成してください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 13項、14項)
Web画面から納入指示を送信したが、仕入先から届いていないと連絡があった	"納入指示"画面で対象の納品書番号が表示されている場合、仕入先へ納入指示が送信されておりません。納入指示データ作成後に「納入指示実行」ボタンをクリックしてください。
別システムから納入指示を送信したが、仕入先から届いていないと連絡があった	Webの"納入指示"画面で対象の納品書番号が表示しており、発行工程が「後」の場合、帳票の発行先が後工程発行となっているため、仕入先へデータは送信されません。企業コードマスタより仕入先の工区の帳票発行先を「前工程」に変更し、再度納入指示を作成してください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 13項、14項)
納入指示登録で品番を入力したが「データがありませんでした」とエラーメッセージが表示され、納入指示が作成できない	キーボードから直接入力するとうまく取得できないことがあるため、品番欄の右側にある虫眼鏡のアイコンより検索を行ってください。
納入指示登録で"定期／不定期区"が選択できない	定期・不定期区分を"区分一覧"画面で登録していただく必要がございます。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 2項)

「内示が存在しない」というエラーメッセージが表示され、納入指示が作成・送信できない	内示情報が存在しているか確認します。 確認箇所はエラーメッセージのコード先頭2桁で確認できます。 ●エラーコード：02 ⇒自社の共通EDIに支給提示が存在しないため、以下の手順でご確認ください。 支給品："得意先からの支給提示"画面に存在しない場合は、商流上の取引先から支給提示を連携していただく必要があります。対象企業へご依頼ください。 自給品："仕入先への内示"画面で存在しない場合は、アップロードし、仕入先へ送信を行います。 ●エラーコード：03 ⇒支給先に内示が存在しておりません。以下の手順でご確認ください。 支給品：仕入先へ連絡し、仕入先の商流上の取引先から内示の連携をご依頼ください。 自給品："仕入先への内示"画面で仕入先へ送信を行います。
納入指示キャンセルしたいが"納入指示キャンセル依頼"画面に対象の納品書番号が表示されない	●"受領状況"画面を確認し、状況が「受領待」の場合 「受領待」の場合、出荷を行っているため、キャンセルをすることはできません。自社で受領まで行っていただき、商流上の企業で管理している実績を修正していただくか、運用で調整する必要があります。一度、発注元へご相談ください。 ●"納入指示キャンセル状況"画面を確認し、対象の品番が存在する場合、既にキャンセルされております。
納入指示キャンセルを行なったが「内示が存在しない」というエラーメッセージが表示された	トヨタWG共通EDIのサポートデスクへお問い合わせください。リカバリを実施し、納入指示キャンセルを行えるようにします。
受領したら「内示が存在しない」とエラーメッセージが表示された	●初回の納入指示日を確認し、3か月以上前の指示日の場合 トヨタWG共通EDIのサポートデスクへお問い合わせください。リカバリを実施し、受領処理を行えるようにします。 ※初回の納入指示日…下一桁が0の納品書番号の指示日
別システムで受領を行ったが、「状態遷移が異常です」とエラーが発生している	●"受領状況"画面を確認し、状況が「出荷待」の場合 仕入先から出荷実績を受信しておりません。仕入先へご確認ください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 7章 7項) ●"受領状況"画面を確認し、状況が「受領済」の場合 既に受領済みとなります。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 7章 7項)

"受領状況"画面で対象の納品書番号が一覧に表示されない	●"納入指示キャンセル状況"画面を確認し、対象の品番が存在する場合 既にキャンセルされております。 ●受領日から90日経過している場合 トヨタWG共通EDIから削除されるため、画面上で確認できません。 適宜保存をお願いいたします。
仕入先で出力する検収帳票の種類を指定したい	●Web画面で納入指示を送信している場合 企業コードマスタで仕入先工区の帳票発行指示区分を変更します。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 6項) ●CSVファイルを利用し、納入指示を送信している場合 CSVファイル内の"帳票発行指示区分"を設定します。 ●外部I/Fを利用し、納入指示を送信している場合 ファイル内の"帳票発行指示区分"を設定します。
かんばんに自社情報が印字されない	●Web画面で納入指示を送信している場合 レイアウトまたは情報の登録が行われていない場合、設定を行います。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 6章 4項、12項) ●CSVファイルを利用し、納入指示を送信している場合 CSVファイル内の"後工程エリア (X) -Y"を設定します。 X : 1~3 Y : 1~20 ●外部I/Fを利用し、納入指示を送信している場合 固定長ファイル内の"後工程エリア (X) -Y"の項目へ入力をお願いします。 X : 1~3 Y : 1~20
仕入先が製造委託をしているため、納入指示の送信先を変更したい	自社にて"受入品番マスタ"の対象品番の"出荷元"を変更してください。 CSVファイルや、外部I/Fをご利用の場合、ファイル内で指定した出荷元が優先となります。

納入場所や出荷場所、収容数を変更して納入指示をかけたい	事前に仕入先と調整をした上で、下記の対応をしてください。 ● Web画面で納入指示を送信している場合 "受入品番マスタ"で対象の内容を変更し、納入指示を作成してください。 ※受入品番マスタを変更した場合、発注元及び仕入先には反映されません。 支給品の場合は、発注元へ連絡し、品番マスタの内容を変更し連携していただく様ご依頼ください。 自給品の場合は、仕入先へ品番マスタを連携してください。 ● CSVファイルを利用し、納入指示を送信している場合 CSVファイル内で、対象の内容を変更してください。 ● 外部I/Fを利用し、納入指示を送信している場合 固定長ファイル内で、対象の内容を変更してください。
------------------------------------	--

トヨタWG共通EDI 運用ガイド

出荷機能



2022/1/12

トヨタWG共通EDI推進協会

— 目次 —

※項目をクリックすることで対象ページへ移動できます。

1. Web画面で出荷を行う

初期設定	P.2	～ P.5
受注・出荷	P.6	～ P.10
状況確認	P.11	

2. CSVファイルで出荷を行う

初期設定	P.12	～ P.16
受注・出荷	P.17	～ P.20
状況確認	P.21	
CSVレイアウト	P.22	～ P.27

3. 外部I/Fを利用し、出荷を行う

初期設定	P.28	
受注・出荷	P.29	～ P.30

4. 取得できるデータ P.31 ～ P.33**5. よくある問合せ** P.34 ～ P.35

1. Web画面で出荷を行う

ここではトヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面で出荷業務を行う際の初期設定と基本操作について説明します。

文中にある以下の各アイコンはサポートサイトに掲載しているマニュアルの章と項番です。



…基本モジュール



…材料（出荷数変更）

本機能を使用するには“出荷”の契約が必要です。

<初期設定>

Web画面から出荷業務を行うにあたり、必須で設定していただくものと、任意の設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 帳票の印刷サイズを設定する

使用するプリンタの種類（サーマルプリンタ・レーザプリンタ）や運用に合わせて、かんばん・便チケットの印刷サイズを選択します。

A) かんばん

かんばんの印刷サイズは“単票”、“A4”、“A4（ソート）”の3種類から選択します。
ご利用プリンタで有効な設定の組み合わせは以下になります。

	単票	A4	A4ソート
サーマルプリンタ	○	×	×
レーザプリンタ	△	○	○

△…レーザプリンタに単票用の給紙機能が必要になります。



マニュアルの「3.14 印刷する帳票のサイズを選択する」を参照

B) 便チケット

便チケットの印刷サイズは“e-かんばんサイズ”、“A5”、“A4”、“かんばんサイズ”の4種類から選択します。

ご利用プリンタで有効な設定の組み合わせは以下になります。

	e-かんばんサイズ	A5	A4	かんばんサイズ
サーマルプリンタ	○	×	×	○
レーザプリンタ	△	○	○	△

△…レーザプリンタに単票用の給紙機能が必要になります。



マニュアルの「3.14 印刷する帳票のサイズを選択する」を参照

■任意■

1) 自社情報をかんばんへ印字したい（前工程エリア）※出荷品番マスタ受信後

かんばんの前工程エリア（下図赤枠部分）を使用し、置場所や社内で使用する品番など自社の情報を印字することができます。

The image shows a detailed kanban form. At the bottom, a red rectangle labeled 'a' encloses the '前工程エリア' (Previous Process Area). This area includes a barcode and the number '0001'. Other fields on the form include 'TK-010', 'X', 'B社', '第1工場', and various numerical codes.

a : 前工程エリア

下記の設定手順を行うことで、自社の情報がかんばんに印字されます。

① 印字するレイアウトを選択する

自社工区ごとにレイアウトをバーコード有り、QR有り、文字のみから選択し、設定することができます。



マニュアルの「3.4 かんばんに印字する前工程情報のレイアウトを変更する」を参照

② 印字する情報を登録する

①で設定したレイアウトに合わせた印字情報を品番単位に登録します。



マニュアルの「3.5 かんばんに印字する前工程情報を登録する」を参照

複数の品番に印字情報をまとめて登録する場合は、CSVファイルでの登録が便利です。



マニュアルの「3.7 前工程情報のCSVデータをダウンロードする」

「3.8 前工程情報のCSVデータをアップロードする」

「3.9 前工程情報のバックアップ、および再登録」を参照

[補足] 全品番のバーコード、QRへ同じ内容を反映したい

バーコード、QRは全品番に対して同じ内容を反映することもできます。



マニュアルの「3.11 前工程QR・バーコードに印字する情報を登録する」



ワンポイント

品番単位に内容が登録されていても、一括が優先されます。

2) かんばん発行の順番を変更したい ※出荷品番マスタ受信後

かんばんの納入先が登録した品番順で発行されますが、納品書番号単位で任意の内容に並び替えて発行することができます。

並び替えのキー情報は最大10項目登録することができ、それぞれの項目に対して、昇順、降順の設定を行うことができます。



ワンポイント

- ・納品書番号を跨いでの並び替えはできません。
- ・受注明細はかんばんが発行された順番で記載されますが、納品書、受領書に記載される品番の順番は変更されません。

① 並び替えのキー情報を登録する

並び替えを行いたい品番データに並び替えのキー情報を登録します。

キー情報の項目名（発行順情報1～10）の若い数字に登録した内容を優先して並び替えを行います。



マニュアルの「3.6 かんばんの印字順情報を登録する」を参照

複数の品番にキー情報をまとめて登録する場合は、CSVファイルでの登録が便利です。



マニュアルの「3.7 前工程情報のCSVデータをダウンロードする」

「3.8 前工程情報のCSVデータをアップロードする」

「3.9 前工程情報のバックアップ、および再登録」を参照

② キー情報に対して並び替え（昇順・降順）を設定する

登録したキー情報に対して昇順、降順の設定を行います。



マニュアルの「3.6 かんばんの印字順情報を登録する」を参照

設定例）かんばん発行順と並び替え設定

かんばンを置場の降順で並び替えをし、同じ置場の場合、品番の昇順で並び替えたい。

並び替え設定(システムパラメータ)

項目名	設定
かんばん印字順1	降順
かんばん印字順2	昇順

出荷品番マスタ

品番	項目名	
	発行順情報1	発行順情報2
123-01	置場1	123-01
123-02	置場2	123-02
123-03	置場3	123-03
123-04	置場2	123-04
	降順	昇順

印刷結果

印刷順	品番
1	123-03
2	123-02
3	123-04
4	123-01

発行順情報1をかんばん印字順1の設定で並び替えを行ったあと、発行順情報1の値が同じ場合、発行順情報2をかんばん印字順2の設定で並び替えを行う。

3) 納入指示CSVファイル（受注データ）を取得したい

自社システムにCSVデータを連携したい場合、受注時に納入指示CSVファイルを取得する設定にできます。



マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

4) 受注明細を印刷しない

受注明細は自社内で使用する帳票になりますので、運用で帳票を必要としない場合、印刷しない設定にできます。



マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

5) 0件発注の受注明細を印刷しない

0件発注の受注明細のみ印刷しない設定にできます。



マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

6) 仕切りかんばんを印刷したい

かんばんをサーマルプリンタで発行している場合、納品書番号内で追加の仕切りかんばんを発行することができます。

下記の設定手順を行うことで、かんばん発行時に仕切りかんばんが発行されます。

① 仕切りかんばん発行の設定を変更する



マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

② 印刷する単位を登録する

かんばんの発行順の項目をもとに仕切りかんばんを発行する単位を登録します。



マニュアルの「3.12 仕切り発行設定を行う」を参照

7) 表示される出荷実績日付の変更時刻を変更したい

出荷処理を行う画面で初期表示される、出荷実績日付の変更時刻を変更することができます。

デフォルトでは0000（0時）となっております。



マニュアルの「3.13 出荷実績日の初期値設定を行う」を参照

<受注・出荷>

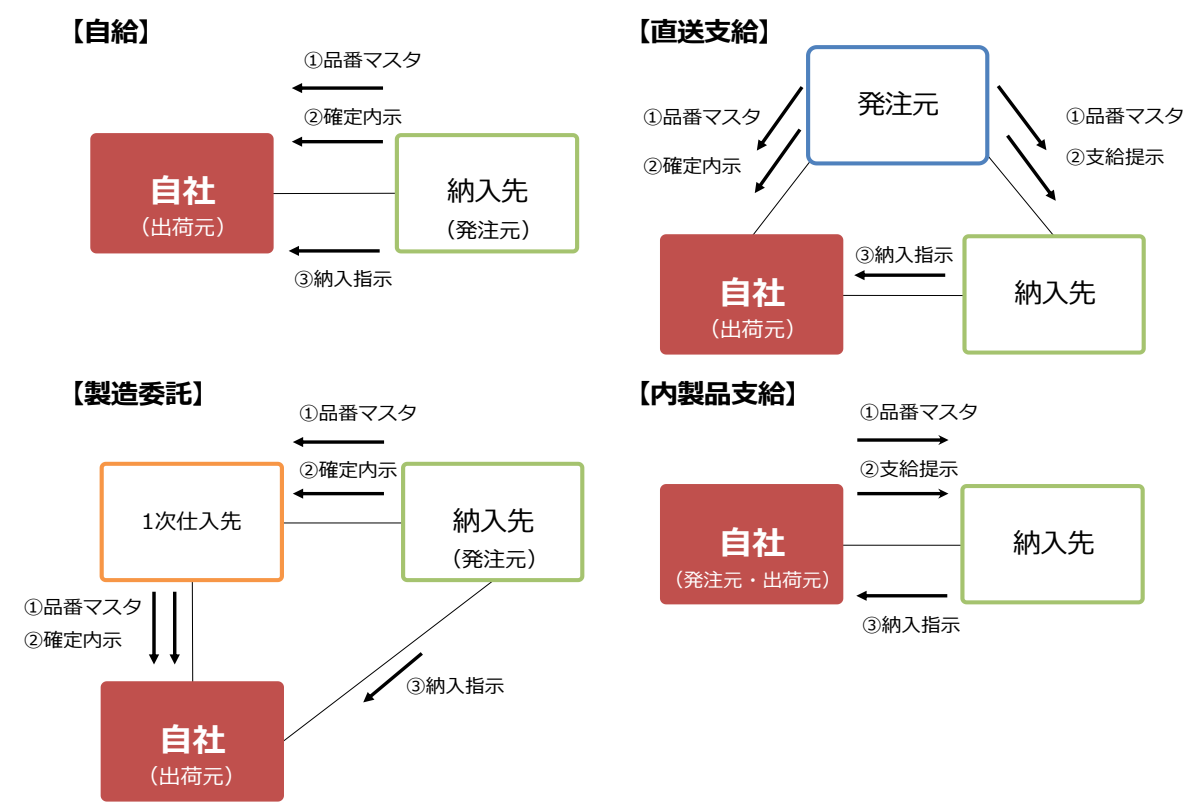
事前に確認すべき内容と受注から出荷の業務について説明します。また、帳票類の再発行についても説明します。

受注から出荷までの業務は、一括で帳票類の発行を行う"受注・出荷案内（一括）"と個別で帳票類の発行を行う"受注・出荷案内（選択）"のどちらでも行うことができます。

出荷業務を行う前の確認

出荷を行うためには"品番情報（品番マスタ）"と"内示情報"が必要です。

業務を行う前に出荷業務を行う品番が登録されているか確認します。



① 品番マスタを確認する

品番の情報は発注元または商流上上位にあたる企業から受信し、"出荷品番マスタ"で確認します。自社で作成する必要はありません。もし品番が存在しない場合は送信元にあたる企業にマスタの送信を依頼をしてください。

材料の場合、該当品番の詳細画面では"出荷数変更区分"が"あり"となっています。



マニュアルの「3.15 品番情報の照会をする」を参照

内製品の場合、自社から納入先へマスタを送信したか確認します。



マニュアルの「6.25 内製支給品の品番情報(出荷品番)を登録する」

「6.26 登録した内製支給品の品番情報(出荷品番)を支給先へ送信する」を参照

② 内示情報を確認する

内示情報は発注元または商流上上位にあたる企業から受信し、"得意先からの内示"で確認します。自社で作成する必要はありません。もし内示情報が存在しない場合は送信元にあたる企業に内示情報の送信を依頼をしてください。



マニュアルの「4.1.1 得意先から受信した内示情報を照会する」

「4.2.1 得意先から受信した確定内示情報を照会する」を参照

内製品の場合、自社から納入先へ送信した支給提示を確認します。



マニュアルの「7.10.2 登録した支給提示情報を支給先へ送信する」を参照

1) 受注

納入先からの納入指示を受信（受注）し、画面上で確認できます。

"受注・出荷案内（一括）"と"受注・出荷案内（選択）"では同じ内容を確認できます。

A) 受注・出荷案内（一括）



マニュアルの「4.3.1 受注データから帳票を発行する」を参照

B) 受注・出荷案内（選択）



マニュアルの「4.4.1 受注データから帳票を発行する」を参照

2) 帳票の発行、納入指示CSVファイルの出力

納入指示データからかんばん、受注明細の発行、納入指示CSVファイルの出力を行います。

"受注・出荷案内（一括）"と"受注・出荷案内（選択）"のそれぞれの方法について説明します。

"3) 出荷"を行う時に、上記どちらの画面からでも出荷処理を行うことができます。

誤操作にも繋がるため、帳票を発行した画面に絞って出荷の操作いただくことをおすすめします。

※納品書・便チケット・受領書については出荷処理を行ったあとに発行できます。

A) 一括で発行、出力する

検索条件に応じてかんばん・受注明細の発行、納入指示CSVファイルの出力を一括で行うことができます。また、再発行が必要となった際には、一括で発行した単位で発行できます。

※再発行については4) にて説明します。



マニュアルの「4.3.1 受注データから帳票を発行する」を参照

B) 選択して発行、出力する

納品書番号単位にかんばん・受注明細の発行、納入指示CSVファイルの出力を個別で行うことができます。また、再発行が必要な場合、かんばんは品番単位での発行となります。



マニュアルの「4.4.1 受注データから帳票を発行する」を参照

3) 出荷

出荷できる準備が全て整いましたら出荷案内実行を行い、出荷情報を送信します。

出荷案内実行後に、便チケットまたは納品書・受領書を発行します。

(納品書のみ、受領書のための運用も可能です。)

出荷案内実行を行うことで、物流上の取引先と、商流上の取引先へ実績が計上されます。

また、画面の操作は帳票類の発行と同じ画面での操作をおすすめします。

下記で完納による出荷と、未納がある場合の出荷について、

材料を扱う場合の説明も含めて記載します。



ワンポイント

- ・ 出荷案内実行後に、発注のキャンセルや情報の修正を行えません。
- ・ 出荷案内実行後に未納情報の登録は行えません。
- ・ 未納情報は一度登録すると、情報の修正を行えません。

納入指示 (受注) の品番に対して、出荷できる数量、出荷できない数量が全て把握できた状態で、未納情報を登録して下さい。

A) 受注・出荷案内 (一括) 画面を使用する

a) 完納による出荷を行う

完納で出荷案内実行を行います。



マニュアルの「4.3.2 完納で出荷案内を行う」を参照

納入指示数に対して、出荷する値が異なる材料品などの場合に、実納入数を登録します。"完納"を選択した上で、実納入数を登録後、出荷を行います。

※納入指示数と実納入数が一致する場合は同じ値を登録します。

納入指示数と異なる値を指定が可能



マニュアルの「2.1.4 出荷数を変更し、完納で出荷案内を行う」を参照

b) 未納がある場合の出荷を行う

未納がある場合、出荷案内実行を行う前に、未納情報を登録し、分納実行を行います。



マニュアルの「4.3.3 未納数を入力し、出荷案内を行う」を参照

材料品の場合は、"分納"を選択した上で、実納入数を入力し、未納情報を登録します。

分納/完納実行						
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	実納入数 数量	未納・挽回 箱数/数量
1,000	33,000	0	0	☐ 完納 ☒ 分納	2200	1 1000
部品色: 箱種: 462 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:						

マニュアルの「2.1.3 未納数を入力し、出荷案内を行う」を参照



ワンポイント

- ・材料を分納する場合、未納数は数量での登録は行わず、箱数で登録してください。

分納/完納実行						
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	実納入数 数量	未納・挽回 箱数/数量
1,000	33,000	0	0	☐ 完納 ☒ 分納	2200	1 1000
部品色: 箱種: 462 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:						

B) 受注・出荷案内（選択）画面を使用する

a) 完納による出荷を行う

未納がない場合に完納で出荷案内実行を行います。

マニュアルの「4.4.2 完納で出荷案内を行う」を参照

納入指示数に対して、出荷する値が異なる材料品などの場合に、実納入数を登録します。"完納"を選択した上で、実納入数を登録後、出荷を行います。
※納入指示数と実納入数が一致する場合は同じ値を登録します。

分納/完納実行						
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	実納入数 数量	未納・挽回 箱数/数量
1,000		33,000	0	☒ 完納 ☐ 分納	3100	
部品色: 箱種: 462 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:						

納入指示数と異なる値を指定が可能

マニュアルの「2.1.4 出荷数を変更し、完納で出荷案内を行う」を参照

b) 未納がある場合の出荷を行う

未納がある場合、出荷案内実行を行う前に、未納情報を登録し、分納実行を行います。

マニュアルの「4.4.3 未納数を入力し、出荷案内を行う」を参照

材料品の場合は、"分納"を選択した上で、実納入数を入力し、未納情報を登録します。

分納/完納実行						
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	実納入数 数量	未納・挽回 箱数/数量 日付/便
1,000	33,000	0	0	☐ 完納 ☒ 分納	2200	1 2021/12/27 1便
部品色: 箱種: 462 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:						

 マニュアルの「2.1.3 未納数を入力し、出荷案内を行う」を参照

ワンポイント

- ・材料を分納する場合、未納数は数量での登録は行わず、箱数で登録してください。

分納/完納実行						
収容数	箱数	納入指示数	出荷数	完納/分納	実納入数 数量	未納・挽回 箱数/数量 日付/便
1,000	33,000	0	0	☐ 完納 ☒ 分納	2200	1 2021/12/27 1便
部品色: 箱種: 462 単位: cm 出荷数変更上限: 出荷数変更下限:						

4) 再発行

一度発行した帳票及び出力した納入指示CSVファイルを再発行することができます。
この画面で発行を行った場合、各帳票の右上にマーク（下図赤枠部分）が印字されます。

0	X	XXXX B社	再発行
3-42011-00	200000000-1	第1工場	01
01	13年12月02日	1便	00:00
200	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

 マニュアルの「4.6.1 受注明細を再発行する」

「4.6.2 かんばんを品番単位に再発行する」

「4.6.3 かんばんの枝番を指定して再発行する」

「4.6.4 納品書を再発行する」

「4.6.5 出力済みの受注データ(納入指示データ)を再出力する」

「4.6.6 一括処理した帳票を再発行する」を参照

ワンポイント

"一括処理分"のタブでは"受注・出荷案内（一括）"で発行した帳票や出力した納入指示CSVファイルを発行、出力することができます。

<状況確認>

受信したデータの確認方法について説明します。

1) 受注したデータの状況を確認する

納入指示を受信してから受領までの状況を、納品書番号単位に一覧での確認ができます。
また、納入指示の詳細情報も確認できます。



マニュアルの「4.5.2 受注、出荷状況を確認する」を参照



ワンポイント

キャンセルされた品番は一覧には表示されません。

⇒"2) キャンセルされたデータを確認する"で対象の品番を確認します。

2) キャンセルされたデータを確認する

納入先でキャンセルされた品番を確認できます。



マニュアルの「4.7.1 受注キャンセルの履歴情報を参照する」

「4.7.2 受注キャンセル情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

2. CSVファイルで出荷を行う

ここではトヨタWG共通EDIの基本機能を利用し、Web画面からCSVファイルによる出荷業務を行う際の準備と業務の流れについて説明します。

＜初期設定＞

CSVファイルで出荷業務を行うにあたり、必須で設定していただくものと、任意の設定について説明します。

■ 必須 ■

1) 帳票の印刷サイズを設定する

使用するプリンタの種類（サーマルプリンタ・レーザプリンタ）や運用に合わせて、かんばん・便チケットのプリンタを選択します。

A) かんばん

かんばんの印刷サイズは"単票"、"A4"、"A4（ソート）"の3種類から選択します。
ご利用プリンタで有効な設定の組み合わせは以下になります。

	単票	A4	A4ソート
サーマルプリンタ	○	×	×
レーザプリンタ	△	○	○

△…レーザプリンタに単票用の給紙機能が必要になります。



マニュアルの「3.14 印刷する帳票のサイズを選択する」を参照

B) 便チケット

便チケットの印刷サイズは"e-かんばんサイズ"、"A5"、"A4"、"かんばんサイズ"の4種類から選択します。

ご利用プリンタで有効な設定の組み合わせは以下になります。

	e-かんばんサイズ	A5	A4	かんばんサイズ
サーマルプリンタ	○	×	×	○
レーザプリンタ	△	○	○	△

△…レーザプリンタに単票用の給紙機能が必要になります。



マニュアルの「3.14 印刷する帳票のサイズを選択する」を参照

■任意■

1) 自社情報をかんばんへ印字したい（前工程エリア）※出荷品番マスタ受信後

かんばんの前工程エリア（下図赤枠部分）を使用し、置場所や社内です使用する品番など自社の情報を印字することができます。

打切対象 300000000-1 C社 第1工場 出荷	内番 TK-010	X	XXXX XXXX	B社 第1工場 入 01
	品番 16523-42011-00			200000000-1
	0001	QRコード	13年12月02日 1時 00:00	
品名 A社 第1工場 100000000-1 0001 納期: A0000 01 01 1/ 2 1/ 0 発行番号: 01	200		XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX	

a : 前工程エリア

下記の設定手順を行うことで、自社の情報がかんばんに印字されます。

① 印字するレイアウトを選択する

自社工区ごとにレイアウトをバーコード有り、QR有り、文字のみから選択し、設定することができます。



マニュアルの「3.4 かんばんに印字する前工程情報のレイアウトを変更する」を参照

② 印字する情報を登録する

①で設定したレイアウトに合わせた印字情報を品番単位に登録します。



マニュアルの「3.5 かんばんに印字する前工程情報を登録する」を参照

複数の品番に印字情報をまとめて登録する場合は、CSVファイルでの登録が便利です。



マニュアルの「3.7 前工程情報のCSVデータをダウンロードする」

「3.8 前工程情報のCSVデータをアップロードする」

「3.9 前工程情報のバックアップ、および再登録」を参照

[補足] 全品番のバーコード、QRへ同じ内容を反映したい

バーコード、QRは全品番に対して同じ内容を反映することもできます。



マニュアルの「3.11 前工程QR・バーコードに印字する情報を登録する」



ワンポイント

品番単位に内容が登録されていても、一括が優先されます。

2) かんばん発行の順番を変更したい ※出荷品番マスタ受信後

かんばんは納入先が登録した品番順で発行されますが、納品書番号単位で任意の内容に並び替えて発行することができます。

並び替えのキー情報は最大10項目登録することができ、それぞれの項目に対して、昇順、降順の設定を行うことができます。



ワンポイント

- ・ 納品書番号を跨いでの並び替えはできません。
- ・ 受注明細はかんばんが発行された順番で記載されますが、納品書、受領書に記載される品番の順番は変更されません。

① 並び替えのキー情報を登録する

並び替えを行いたい品番データに並び替えのキー情報を登録します。

キー情報の項目名（発行順情報1～10）の若い数字に登録した内容を優先して並び替えを行います。



マニュアルの「3.6 かんばんの印字順情報を登録する」を参照

複数の品番にキー情報をまとめて登録する場合は、CSVファイルでの登録が便利です。



マニュアルの「3.7 前工程情報のCSVデータをダウンロードする」

「3.8 前工程情報のCSVデータをアップロードする」

「3.9 前工程情報のバックアップ、および再登録」を参照

② キー情報に対して並び替え（昇順・降順）を設定する

登録したキー情報に対して昇順、降順の設定を行います。



マニュアルの「3.6 かんばんの印字順情報を登録する」を参照

設定例) かんばん発行順と並び替え設定

かんばんを置場の降順で並び替えをし、同じ置場の場合、品番の昇順で並び替えたい。

並び替え設定(システムパラメータ)

項目名	設定
かんばん印字順1	降順
かんばん印字順2	昇順

出荷品番マスタ

品番	項目名	
	発行順情報1	発行順情報2
123-01	置場1	123-01
123-02	置場2	123-02
123-03	置場3	123-03
123-04	置場2	123-04
	降順	昇順

印刷結果

印刷順	品番
1	123-03
2	123-02
3	123-04
4	123-01

発行順情報1をかんばん印字順1の設定で並び替えを行ったあと、発行順情報1の値が同じ場合、発行順情報2をかんばん印字順2の設定で並び替えを行う。

3) 納入指示CSVファイル（受注データ）を取得したい

自社システムにCSVデータを連携したい場合、受注時に納入指示CSVファイルを取得することができます。

 マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

4) CSVファイルの入出力時に社内で使用しているコードを利用する

CSVファイルをアップロードやダウンロードをする際に、企業コードを社内で使用しているコードに変換したい場合に設定します。

① 社内で使用しているコードを登録する

対象企業に対して社内で使用しているコードを登録します。登録を行いますと、Web画面上に表示される企業コードが全て登録したコードに変更され、検索でも使用することができます。

 マニュアルの「3.3 企業コードマスタに自社で取り扱うコードを登録する」を参照



ワンポイント

帳票に印字されるコードは統一企業コードになります。

② CSVファイルで社内で使用しているコードの優先設定を行う

CSVファイルをアップロード、ダウンロードする際に、社内で使用しているコードを優先する設定をします。

 マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：出力管理）」

"CSV入出力時に社内企業コードを優先する"を参照

5) 納入指示CSVファイルからキャンセル分のデータを判別する

納入指示CSVファイルを保存する際に、その品番がキャンセルされたものが判別するための項目を取得することができます。

 マニュアルの「付録1 システムパラメーター一覧（カテゴリ：出力管理）」

"CSV変更情報提供識別ダウンロードフラグ"を参照

6) 材料品を扱う

材料品を取引する場合に、出荷品番マスタのダウンロードで、どの品番が対象であるか判別するための項目を取得することができます。

対象の品番は納入指示数に対して出荷数が一致しない場合でも、出荷を行うことができます。

 材料（出荷数変更）マニュアルの「1.2 受入品番マスタのCSVデータをダウンロードする」を参照

7) 受注明細を印刷しない

受注明細は自社内で使用する帳票になりますので、運用で帳票を必要としない場合、印刷しない設定にできます。

 マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

8) 0件発注の受注明細を印刷しない

0件発注の受注明細のみ印刷しない設定にできます。



マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

9) 仕切りかんばんを印刷したい

かんばんをサーマルプリンタで発行している場合、納品書番号内で追加の仕切りかんばんを発行することができます。

下記の設定手順を行うことで、かんばん発行時に仕切りかんばんが発行されます。

① 仕切りかんばん発行の設定を変更する



マニュアルの「3.2 各種帳票、データを出力するかどうかを設定する」を参照

② 印刷する単位を登録する

かんばんの発行順の項目をもとに仕切りかんばんを発行する単位を登録します。



マニュアルの「3.12 仕切り発行設定を行う」を参照

<受注・出荷>

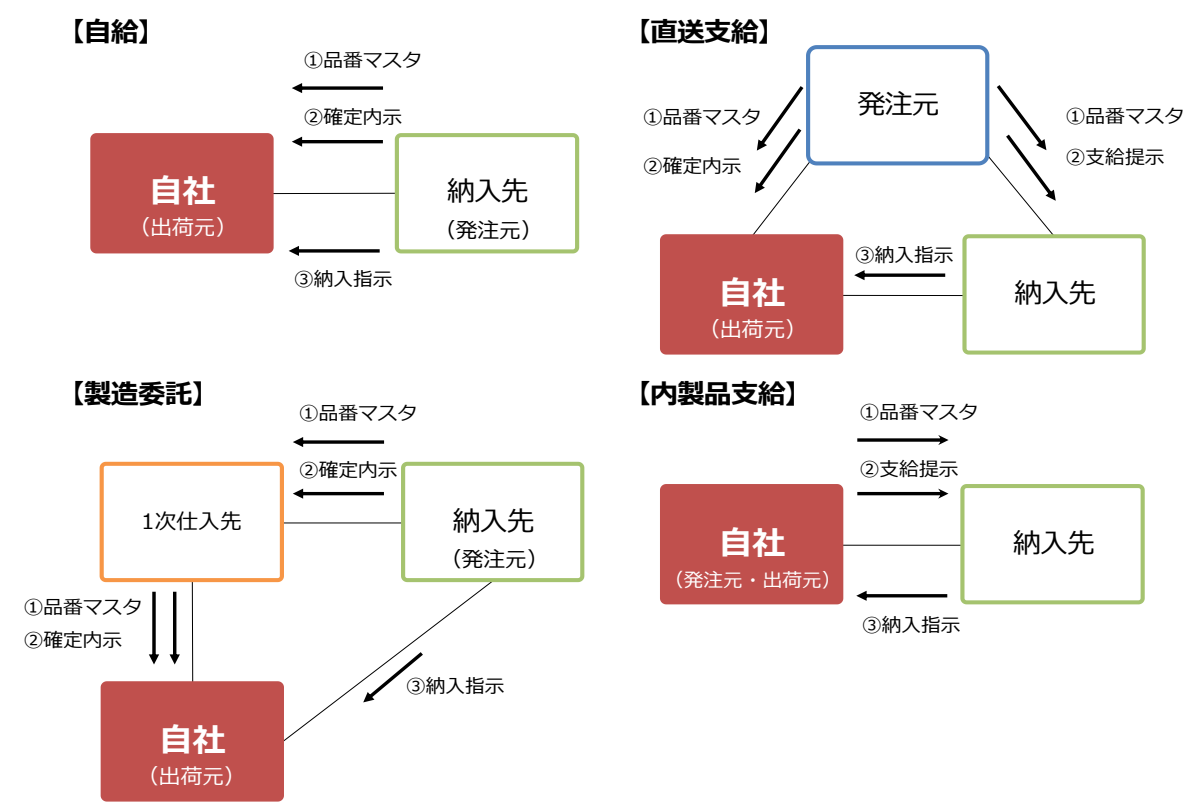
事前に確認すべき内容と受注から出荷の業務について説明します。また、帳票類の再発行についても説明します。

受注から出荷までの業務は、一括で帳票類の発行を行う"受注・出荷案内（一括）"と個別で帳票類の発行を行う"受注・出荷案内（選択）"のどちらでも行うことができます。

出荷業務を行う前の確認

出荷を行うためには"品番情報（品番マスタ）"と"内示情報"が必要です。

業務を行う前に出荷業務を行う品番が登録されているか確認します。



① 品番マスタを確認する

品番の情報は発注元または商流上上位にあたる企業から受信し、"出荷品番マスタ"で確認します。自社で作成する必要はありません。もし品番が存在しない場合は送信元にあたる企業にマスタの送信を依頼をしてください。



マニュアルの「3.15 品番情報の照会をする」を参照

内製品の場合、自社から納入先へマスタを送信したか確認します。



マニュアルの「6.25 内製支給品の品番情報(出荷品番)を登録する」

「6.26 登録した内製支給品の品番情報(出荷品番)を支給先へ送信する」を参照

② 内示情報を確認する

内示情報は発注元または商流上上位にあたる企業から受信し、"得意先からの内示"で確認します。自社で作成する必要はありません。もし内示情報が存在しない場合は送信元にあたる企業に内示情報の送信を依頼をしてください。



マニュアルの「4.1.1 得意先から受信した内示情報を照会する」

「4.2.1 得意先から受信した確定内示情報を照会する」を参照

内製品の場合、自社から納入先へ送信した支給提示を確認します。



マニュアルの「7.10.2 登録した支給提示情報を支給先へ送信する」を参照

1) 受注

納入先からの納入指示を受信（受注）し、画面上で確認できます。

"受注・出荷案内（一括）"と"受注・出荷案内（選択）"では同じ内容を確認できます。

A) 受注・出荷案内（一括）画面を使用する



マニュアルの「4.3.1 受注データから帳票を発行する」を参照

B) 受注・出荷案内（選択）画面を使用する



マニュアルの「4.4.1 受注データから帳票を発行する」を参照

2) 帳票の発行、納入指示CSVファイルの出力

納入指示データからかんばん、受注明細の発行、納入指示CSVファイルの出力を行います。

"受注・出荷案内（一括）"と"受注・出荷案内（選択）"のそれぞれの方法について説明します。

"3) 出荷"を行う時に、上記どちらの画面からでも出荷処理を行うことができます。

誤操作にも繋がるため、帳票を発行した画面に絞って出荷の操作いただくことをおすすめします。

※納品書・便チケット・受領書については出荷処理を行ったあとに発行できます。

※P.22 1. 納入指示CSVレイアウト を参照

A) 一括で発行、出力する

検索条件に応じてかんばん・受注明細の発行、納入指示CSVファイルの出力を一括で行うことができます。また、再発行が必要となった際には、一括で発行した単位で発行できます。

※再発行については4) にて説明します。



マニュアルの「4.3.1 受注データから帳票を発行する」を参照

B) 選択して発行、出力する

納品書番号単位にかんばん・受注明細の発行、納入指示CSVファイルの出力を個別で行うことができます。また、再発行が必要な場合、かんばんは品番単位での発行となります。



マニュアルの「4.4.1 受注データから帳票を発行する」を参照

3) 出荷

CSVファイルを用いて出荷処理を行い、出荷情報を送信します。

出荷処理後に、便チケットまたは納品書・受領書を発行します。

（納品書のみ、受領書のための運用も可能です。）

出荷処理を行うことで、物流上の取引先と、商流上の取引先へ実績が計上されます。

画面の操作は帳票類の発行と同じ画面での操作をおすすめします。

下記で完納による出荷と未納がある場合の出荷について記載します。

A) 完納による出荷を行う

未納がない場合に完納で出荷を行います。完納の場合、出荷実績CSVファイルを作成し、アップロードを行うことで出荷を行うことができます。出荷実績CSVファイルの作成は納品書番号毎で別々のファイルになります。

下記の手順を行うことで、完納の出荷を行うことができます。

① 出荷実績CSVファイルの作成する

出荷を行う品番の情報を入力し、CSVファイルを作成します。

※P.27 2. 出荷実績CSVレイアウト を参照

② CSVファイルをアップロードする

出荷実績CSVファイルの準備ができましたら、そのファイルをアップロードすることで出荷が完了となります。1ファイル毎のアップロードとなるため、複数の納品書番号に対して出荷を行う場合、その分だけアップロードを行います。



マニュアルの「4.4.5 CSVファイルを使用し出荷を行う」を参照

B) 未納がある場合の出荷を行う

未納がある場合は、出荷実績CSVファイルに加え、未納情報を入力する納期回答CSVファイルの作成も行います。納期回答CSVファイルは未納が発生する出荷実績CSVファイルに対して1つ作成します。



ワンポイント

- ・ 出荷実績アップロード後に、発注のキャンセルや情報の修正を行えません。
 - ・ 未納情報は一度登録すると、修正を行えません。
- 納入指示（受注）の品番に対して、出荷できる数量、出荷できない数量が全て把握できた状態で、未納情報を登録して下さい。

下記の手順を行うことで、未納がある場合の出荷を行うことができます。

① 出荷実績CSVファイルを作成する

品番に対して、出荷できる情報と未納の情報を入力し、作成します。

※P.27 2. 出荷実績CSVレイアウト を参照

② 納期回答CSVファイルを作成する

出荷できない品番に関する情報を入力し、CSVファイルを作成します。

※P.27 3. 納期回答CSVレイアウト を参照

③ CSVファイルをアップロードする

出荷実績、納期回答CSVファイルの準備ができましたら、それらのファイルをアップロードすることで出荷が完了となります。1ファイル毎のアップロードとなるため、複数の納品書番号に対して出荷を行う場合、その分だけアップロードを行います。



マニュアルの「4.4.5 CSVファイルを使用し出荷を行う」を参照

4) 再発行

一度発行した帳票及び出力した納入指示CSVファイルを再発行することができます。

この画面で発行を行った場合、各帳票の右上にマーク（下図赤枠部分）が印字されます。

0	X	XXXX XXXX	B社	再発行
B-42011-00		第1工場		受入 01
01		品名	200000000-1	13年12月02日 1便
200		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		00:00
			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	



マニュアルの「4.6.1 受注明細を再発行する」

「4.6.2 かんばんを品番単位に再発行する」

「4.6.3 かんばんの枝番を指定して再発行する」

「4.6.4 納品書を再発行する」

「4.6.5 出力済みの受注データ(納入指示データ)を再出力する」

「4.6.6 一括処理した帳票を再発行する」を参照



ワンポイント

"一括処理分"のタブでは"受注・出荷案内（一括）"で発行した帳票や出力した納入指示CSVファイルを発行、出力することができます。

<状況確認>

受信したデータの確認方法について説明します。

1) 受注したデータの状況を確認する

納入指示を受信してから受領までの状況を、納品書番号単位に一覧での確認ができます。
また、納入指示の詳細情報も確認できます。

 マニュアルの「4.5.2 受注、出荷状況を確認する」を参照



ワンポイント

キャンセルされた品番は一覧には表示されません。

⇒"2) キャンセルされたデータを確認する"で対象の品番を確認します。

2) キャンセルされたデータを確認する

納入先でキャンセルされた品番を確認できます。

 マニュアルの「4.7.1 受注キャンセルの履歴情報を参照する」

「4.7.2 受注キャンセル情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

1. 納入指示CSVレイアウト

No	CSV項目名	属性	最大桁数	項目の説明
1	発注者	CHAR	10	商流上発注者のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード
2	発注者事業所	CHAR	5	商流上発注者のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
3	受注者	CHAR	10	商流上受注者のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード
4	受注者事業所	CHAR	5	商流上受注者のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
5	品番	CHAR	25	商流上の取引先と取り決めた、部品の品番情報
6	部品取扱識別	CHAR	25	部品番号だけで、部品が一意とならない場合に付与する識別
7	発注元	CHAR	10	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード
8	発注元工区	CHAR	5	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード
9	発注元名称	CHAR	20	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業の名称
10	発注元工場名	CHAR	12	商流の頂点となる企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場の名称
11	出荷元	CHAR	10	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード(仕入先)
12	出荷元工区	CHAR	5	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード(仕入先工区)
13	出荷場所	CHAR	5	出荷を行う企業の出荷場を表すコード
14	出荷元名称	CHAR	20	出荷を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業名称(仕入先名)
15	出荷元工場名	CHAR	12	出荷を行う企業の工場の名称(仕入先工場名)
16	出荷場所名称	CHAR	12	出荷を行う企業の出荷場の名称
17	納入先	CHAR	10	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業コード (納入先)
18	納入先工区	CHAR	5	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場コード (納入先工区)
19	納入場所	CHAR	5	納入指示を行う企業の納入場所を表すコード (受入)
20	納入先名称	CHAR	20	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバを示す企業名称 (納入先名)
21	納入先工場名	CHAR	12	納入指示を行う企業のトヨタWG共通EDIサーバ上の工場名称 (納入先工場名)
22	定期／不定期区分	CHAR	1	納入先企業が任意に設定する発注の種類を表すコード
23	定期／不定期区分名称	CHAR	12	納入先企業が任意に設定する発注の種類 "号口"、"臨時"、"特配"、"スポ特"など
24	適用業務区分	CHAR	1	現品票 (かんばん) QR、納品書QRに印字される区分納入先が任意で設定する JAMA規定では、以下の通り "0": 適用業務の指定なし "1": 量産部品 "2": 生産試作部品 "3": K D部品 "4": 補修品・用品 "5": 直接材料 "6": 間接材／副資材 "7": 設備
25	発行日	NUM	8	納入指示を作成した日付(yyyyMMdd)
26	納入指示日	NUM	8	納入先が指定する納入予定日(yyyyMMdd)
27	納入指示時刻	NUM	4	納入先が指定する納入予定時刻(hhmm)
28	便	NUM	2	納入先が指定する納入予定便(#0)
29	輸送識別	CHAR	10	納入便の略称
30	便チケット番号	CHAR	13	便チケットの縦バーコード、QRコードに印字する情報 納入先で便チケットの縦バーコード、QRコードを読み取って検収する場合に使用する
31	納品書番号	CHAR	8	納品書発行単位に付与する連番 英数字等の付番ルールは発注元による 下1桁は分納回数の為、初回は0
32	ページ数	NUM	2	同一納品書番号の中のページNo.(2桁) 1ページ目は"01"、2ページ目は"02"となる(#0)

No	CSV項目名	属性	最大桁数	項目の説明
33	行No	NUM	2	同一納品書番号の中の行No(2桁) 1行目は"01"、2行目は"02"となる(#0)
34	発行番号	CHAR	17	外部システムで、品番毎に番号管理している場合に、利用する項目
35	表示用品番	CHAR	25	前出の部品番号にハイフン等を付け、見易くしたものの帳票に印字される ※部品番号が元からハイフン付の場合は同じ値になるケースもある
36	背番号	CHAR	10	後工程が品番の識別に使用する略番
37	品名	CHAR	30	部品の名称
38	収容数	NUM	8	部品箱一箱の最大入り数 取引契約単位の入数(#####0)
39	所番地	CHAR	10	部品の置き場の名称
40	箱種	CHAR	8	部品収容機の箱種を表すコード
41	打切区分	NUM	1	部品発注の停止（打切り）の際に、その状態を表す区分 この区分に従って、かんばんに打切りの状態を印字する "0"：打切り対象外⇒印字なし（デフォルト） "1"：打切り予定部品⇒"打切対象" "2"：打切り中部品⇒"打切中" "3"：打切り時、最後の発注⇒"打切最終"
42	打切残数	NUM	8	部品発注の停止の際の、発注停止までの残数(#####0)
43	端数区分	NUM	1	端数発注(収容数に満たない発注)の場合に、現品票（かんばん）にコメントを印字する為の区分 "1"（端数）
44	枝番	NUM	17	現品票（かんばん）1枚単位の連番 品番単位に付与する 最大17桁だが、かんばんの印字は下4桁 4桁セットの場合「9999」の次は「0001」となるが、5桁以上の場合印字は下4桁表示のため「0000」が表示される
45	納入指示数	NUM	8	部品の納入数量(#####0)
46	単位	CHAR	4	数量の単位が何であるかを表す CS：箱 GRM：グラム KGM：キログラム K6：キロリットル LTR：リットル MLT：ミリリットル MMT：ミリメートル CMT：センチメートル MTR：メートル MTK：平方メートル CMQ：立方センチメートル MTQ：立方メートル C62：個（枚、本等含む） SET：セット
47	手配担当	CHAR	12	部品発注担当者の名前
48	部品色	CHAR	35	部品の色を表すコード
49	包装単位個数	NUM	8	梱包包装単位個数
50	納品書フリーヘッダー1	CHAR	40	納品書に印字する発注単位の備考項目
51	納品書フリーヘッダー2	CHAR	40	"
52	納品書フリーヘッダー3	CHAR	40	"
53	納品書フリーヘッダー4	CHAR	40	"

No	CSV項目名	属性	最大桁数	項目の説明
54	納品書フリー明細	CHAR	70	納品書に印字する品番単位の備考項目
55	納入方式	CHAR	1	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分
56	納入方式名称	CHAR	12	納入先企業が任意に設定する納入方法を識別するための区分の名称
57	かんばん発行有無	NUM	2	現品票（かんばん）の発行可否 "00"：発行しない "01"：標準のかんばん
58	帳票発行指示区分	NUM	2	納品書、受領書の種類と発行可否 "00"：印字しない "01"：JAMA納品書＋受領書（デフォルト） "02"：JAMA納品書のみ "03"：JAMA受領書のみ "04"：便チケット
59	後工程エリア(1)	NUM	2	後工程エリア(1)のレイアウト "01"：搬入コース・MROS・分割No "02"：搬入コース＋2項目 "03"：自由設定2段 "04"：自由設定3段 "05"：自由設定1段 "06"：輸出用国内調達2段 "07"：輸出用国内調達1段 "08"：輸出品対応 "09"：鋼材対応
60	後工程エリア(1)－1	CHAR	256	
61	後工程エリア(1)－2	CHAR	256	
62	後工程エリア(1)－3	CHAR	256	
63	後工程エリア(1)－4	CHAR	256	
64	後工程エリア(1)－5	CHAR	256	
65	後工程エリア(1)－6	CHAR	256	
66	後工程エリア(1)－7	CHAR	256	
67	後工程エリア(1)－8	CHAR	256	
68	後工程エリア(1)－9	CHAR	256	
69	後工程エリア(1)－10	CHAR	256	
70	後工程エリア(1)－11	CHAR	256	
71	後工程エリア(1)－12	CHAR	256	
72	後工程エリア(1)－13	CHAR	256	
73	後工程エリア(1)－14	CHAR	256	
74	後工程エリア(1)－15	CHAR	256	
75	後工程エリア(1)－16	CHAR	256	
76	後工程エリア(1)－17	CHAR	256	
77	後工程エリア(1)－18	CHAR	256	
78	後工程エリア(1)－19	CHAR	256	
79	後工程エリア(1)－20	CHAR	256	

No	CSV項目名	属性	最大桁数	項目の説明
80	後工程エリア(2)	NUM	2	後工程エリア(2)のレイアウト "01" : 3行 "02" : 1行 "03" : 5行 "04" : 海外対応 (文字のみ) "05" : バーコード "06" : 企業シリアルNo. (3行) "07" : 企業シリアルNo. (1行) "08" : 企業シリアルNo. (5行) "09" : 企業シリアルNo. (バーコード)
81	後工程エリア(2)-1	CHAR	256	
82	後工程エリア(2)-2	CHAR	256	
83	後工程エリア(2)-3	CHAR	256	
84	後工程エリア(2)-4	CHAR	256	
85	後工程エリア(2)-5	CHAR	256	
86	後工程エリア(2)-6	CHAR	256	
87	後工程エリア(2)-7	CHAR	256	
88	後工程エリア(2)-8	CHAR	256	
89	後工程エリア(2)-9	CHAR	256	
90	後工程エリア(2)-10	CHAR	256	
91	後工程エリア(2)-11	CHAR	256	
92	後工程エリア(2)-12	CHAR	256	
93	後工程エリア(2)-13	CHAR	256	
94	後工程エリア(2)-14	CHAR	256	
95	後工程エリア(2)-15	CHAR	256	
96	後工程エリア(2)-16	CHAR	256	
97	後工程エリア(2)-17	CHAR	256	
98	後工程エリア(2)-18	CHAR	256	
99	後工程エリア(2)-19	CHAR	256	
100	後工程エリア(2)-20	CHAR	256	
101	後工程エリア(3)	NUM	2	後工程エリア(3)のレイアウト 01 : 文字のみ6行 02 : QR+6行 03 : 文字のみ10行 04 : バーコード+4行 05 : 海外対応 (4行+QR) 06 : 海外対応 (バーコード+6行+QR) 07 : 海外対応 (3行+QR) 08 : 輸出品対応 (4行+QR) 09 : 輸出品対応 (バーコード+QR) ※発注側でデータセットがなければ、空データあり
102	後工程エリア(3)-1	CHAR	256	
103	後工程エリア(3)-2	CHAR	256	
104	後工程エリア(3)-3	CHAR	256	
105	後工程エリア(3)-4	CHAR	256	
106	後工程エリア(3)-5	CHAR	256	
107	後工程エリア(3)-6	CHAR	256	
108	後工程エリア(3)-7	CHAR	256	
109	後工程エリア(3)-8	CHAR	256	
110	後工程エリア(3)-9	CHAR	256	
111	後工程エリア(3)-10	CHAR	256	
112	後工程エリア(3)-11	CHAR	256	

No	CSV項目名	属性	最大桁数	項目の説明
113	後工程エリア(3)－12	CHAR	256	
114	後工程エリア(3)－13	CHAR	256	
115	後工程エリア(3)－14	CHAR	256	
116	後工程エリア(3)－15	CHAR	256	
117	後工程エリア(3)－16	CHAR	256	
118	後工程エリア(3)－17	CHAR	256	
119	後工程エリア(3)－18	CHAR	256	
120	後工程エリア(3)－19	CHAR	256	
121	後工程エリア(3)－20	CHAR	256	
122	Q R フリー項目	CHAR	100	かんばん中央のQRのフリー項目
123	処理番号	NUM	14	外部システムからトヨタWG共通EDIシステムへ登録したデータを特定するための参照項目(#####0)
124	変更情報提供識別	NUM	1	"9": 初回納入指示 "4": 納入指示取消 ※マスタ管理⇒システムパラメータ⇒出力管理 "CSV変更情報提供識別ダウンロードフラグ"が "Y:利用する"の場合に出力

2. 出荷実績CSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	納入指示CSV 対応No
1	発注者	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの発注者	1
2	発注者事業所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの発注者事業所	2
3	受注者	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの受注者	3
4	受注者事業所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの受注者事業所	4
5	品番	○	CHAR	25	納入指示CSVファイルの品番	5
6	部品取扱識別		CHAR	25	納入指示CSVファイルの部品取扱識別	6
7	出荷元	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの出荷元(自社)	11
8	出荷元工区	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの出荷元工区(自社)	12
9	納入先	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの納入先	17
10	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの納入先工区	18
11	納入場所		CHAR	5	納入指示CSVファイルの納入場所	19
12	納入指示日	○	NUM	8	納入指示CSVファイルの納入指示日(yyyymmdd)	26
13	納品書番号	○	CHAR	8	納入指示CSVファイルの納品書番号	31
14	ページ数	○	NUM	2	納入指示CSVファイルのページ数(#0)	32
15	行No	○	NUM	2	納入指示CSVファイルの行No(#0)	33
16	出荷実績日	○	NUM	8	出荷実績日とする日付(yyyymmdd)	
17	出荷数	○	NUM	8	部品の出荷数量(#####0)	
18	未納数	○	NUM	8	出荷時に未納が発生した際の未納数(#####0) ⇒未納が発生する場合は納期回答のCSVの作成も必要となる	
19	処理番号		NUM	14	納入指示CSVファイルの処理番号(#####0)	123

3. 納期回答CSVレイアウト

No	CSV項目名	必須	属性	最大桁数	項目の説明	納入指示CSV 対応No
1	発注者	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの発注者	1
2	発注者事業所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの発注者事業所	2
3	受注者	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの受注者	3
4	受注者事業所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの受注者事業所	4
5	品番	○	CHAR	25	納入指示CSVファイルの品番	5
6	部品取扱識別		CHAR	25	納入指示CSVファイルの部品取扱識別	6
7	出荷元		CHAR	10	納入指示CSVファイルの出荷元(自社)	11
8	出荷元工区		CHAR	5	納入指示CSVファイルの出荷元工区(自社)	12
9	納入先	○	CHAR	10	納入指示CSVファイルの納入先	17
10	納入先工区	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの納入先工区	18
11	納入場所	○	CHAR	5	納入指示CSVファイルの納入場所	19
12	納入指示日	○	NUM	8	納入指示CSVファイルの納入指示日(yyyymmdd)	26
13	納品書番号	○	CHAR	8	出荷実績の納品書番号の下1桁を繰り上げた値 品番毎に別の挽回予定日、便となる場合は、日付が近いものから順に連番を付与する	
14	ページ数	○	NUM	2	納入指示CSVファイルのページ数(#0)	32
15	行No	○	NUM	2	納入指示CSVファイルの行No(#0)	33
16	挽回日	○	NUM	8	出荷時に未納が発生した際の挽回予定納入日(yyyymmdd)	
17	挽回便	○	NUM	2	出荷時に未納が発生した際の挽回予定納入便	
18	回答納入数	○	NUM	8	出荷時に未納が発生した際の未納数(#####0) ⇒未納が発生する場合は納期回答のCSVの作成も必要となる	
19	処理番号		NUM	14	納入指示CSVファイルの処理番号(#####0)	123

3. 外部I/Fを利用し、出荷を行う

ここではトヨタWG共通EDIの外部I/Fを利用し、外部システムで出荷業務を行う際の準備と業務の流れについて説明します。

また、帳票はトヨタWG共通EDIとは別のシステムにて発行するものとして説明します。

＜初期設定＞

外部システムから外部I/Fを利用し、出荷業務を行うにあたり、運用に応じて必要な設定について説明します。

各種設定方法につきましては、システム提供会社へお問い合わせをお願いします。

■任意■

1) 材料品を扱う

材料品を取引する場合に、出荷品番マスタのダウンロードで、どの品番が対象であるか判別するための項目を取得することができます。

対象の品番は納入指示数に対して出荷数が一致しない場合でも、出荷を行うことができます。

2) かんばん単位に情報を扱う

納入先がかんばん単位に情報を扱う場合に、設定を行います。

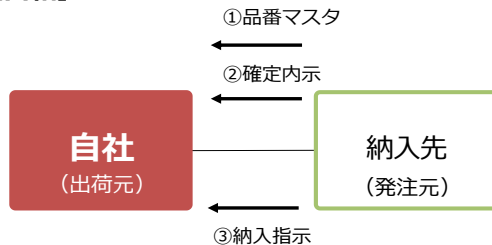
<受注・出荷>

事前に確認すべき内容と受注から出荷の業務について説明します。
業務はトヨタWG共通EDIと外部システムでファイルのやり取りにより行います。

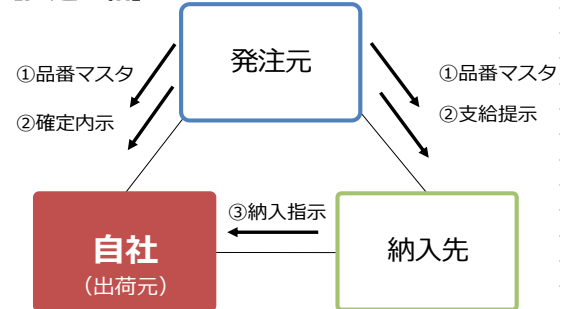
出荷業務を行う前の確認

出荷を行うためには"品番情報（品番マスタ）"と"内示情報"が必要です。
業務を行う前に出荷業務を行う品番が登録されているか確認します。

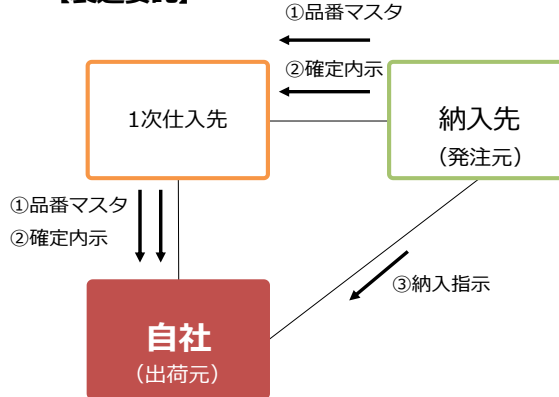
【自給】



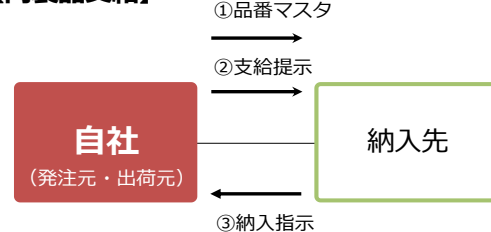
【直送支給】



【製造委託】



【内製品支給】



① 品番マスタを確認する

品番の情報は発注元または商流上上位にあたる企業から受信し、"出荷品番マスタ"で確認します。自社で作成する必要はありません。もし品番が存在しない場合は送信元にあたる企業にマスタの送信を依頼をしてください。



マニュアルの「3.15 品番情報の照会をする」を参照

内製品の場合、自社から納入先へマスタを送信したか確認します。



マニュアルの「6.25 内製支給品の品番情報(出荷品番)を登録する」

「6.26 登録した内製支給品の品番情報(出荷品番)を支給先へ送信する」を参照

② 内示情報を確認する

内示情報は発注元または商流上上位にあたる企業から受信し、"得意先からの内示"で確認します。自社で作成する必要はありません。もし内示情報が存在しない場合は送信元にあたる企業に内示情報の送信を依頼をしてください。



マニュアルの「4.1.1 得意先から受信した内示情報を照会する」

「4.2.1 得意先から受信した確定内示情報を照会する」を参照

内製品の場合、自社から納入先へ送信した支給提示を確認します。



マニュアルの「7.10.2 登録した支給提示情報を支給先へ送信する」を参照

1) 受注

納入先からの納入指示を受信（受注）し、納入指示データを取得できます。
キャンセルが発生した場合にも適宜データとして取得することができます。

2) 出荷

出荷できる準備が全て整いましたら、出荷情報を送信します。
送信することで、物流上の取引先と、商流上の取引先へ実績が計上されます。
外部システムの操作方法や自社システムとの連携方法、ファイルの作成要領に関してはシステム提供会社へご確認ください。

下記では完納による出荷と未納がある場合の出荷で作成するファイルについて説明させていただきます。

A) 完納による出荷を行う

① 出荷実績ファイルを作成する

アップロードを行う出荷実績ファイルを作成します。

② 出荷実績を送信する

作成した出荷実績ファイルを外部システムよりアップロードします。

B) 未納がある場合の出荷を行う

① 出荷実績ファイルを作成する

アップロードを行う出荷実績ファイルを作成します。

② 納期回答ファイルを作成する

アップロードを行う納期回答ファイルを作成します。

③ 出荷実績を送信する

作成した出荷実績ファイルを外部システムよりアップロードします。

④ 納期回答を送信する

作成した納期回答ファイルを外部システムよりアップロードします。

4. 取得できるデータ

ここでは出荷元の立場で取得できるデータについて説明します。

1) 取得できるデータについて

Web画面、外部I/Fから取得できるデータについて説明します。

外部I/Fの場合、ファイルの連携方法はシステム提供会社へお問い合わせをお願いします。



ワンポイント

共通EDIではデータを90日間保持しています。

90日を超えた場合、共通EDIからは削除されますので、実績など必要な場合、適宜保存をお願いします。

※品番マスタは取引終了日から90日間保持

・品番マスタ

自社で取り扱う品番の情報になります。発注元もしくは商流上上位にあたる企業から送信されてきた品番情報になります。

内製品の場合、納入先へ送信した品番情報になります。



マニュアルの「3.15 品番情報の照会をする」を参照

・支給提示

内製品の場合に納入先へ送信した支給提示の情報になります。



マニュアルの「7.10.1 支給提示のCSVデータをアップロードし、登録する」を参照

・内示

発注元もしくは商流上上位にあたる企業から送信されてきた内示情報になります。



マニュアルの「4.1.2 得意先から受信した内示情報のCSVデータをダウンロードする」

「4.2.2 得意先から受信した確定内示情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・納入指示

納入先から送信された受注データになります。



マニュアルの「5.6 集計条件を指定し、CSVデータをダウンロードする」を参照

・納入指示（キャンセル分）

受注があった品番の内、キャンセルされた品番の情報になります。



マニュアルの「4.7.2 受注キャンセル情報のCSVデータをダウンロードする」を参照

・出荷実績

自社で出荷を行った実績になります。



マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」

「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

- ・納期回答

自社で未納処理を行った情報の実績になります。

 マニュアルの「5.6 集計条件を指定し、CSVデータをダウンロードする」を参照

- ・受領実績

納入先で受領を行った実績になります。

 マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」
「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

- ・受領実績（返品分）

納入先で受領を行った品番の内、返品が発生した実績になります。

返品の実績は受領数が"マイナス"の値で取得されます。

 マニュアルの「5.4.1 条件指定で集計し、CSVデータをダウンロードする」
「5.4.2 納入先単位のCSVデータをダウンロードする」を参照

2) データ送受信の相関図と取得可能なデータ

各データの送受信の流れと取得できるデータについて説明します。

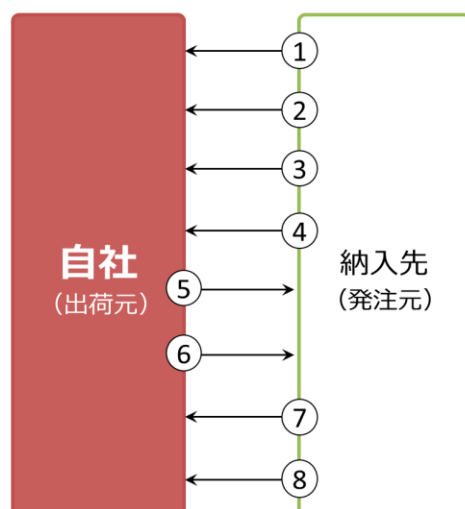
A) 自給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サ-ハ-間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	受信	○	○
②	内示	受信	○	○
③	納入指示	受信	○	○
④	納入指示キャンセル	受信	○	○
⑤	出荷実績	送信	○	○
⑥	納期回答	送信	○	○
⑦	受領実績	受信	○	○
⑧	受領実績 返品	受信	○	○



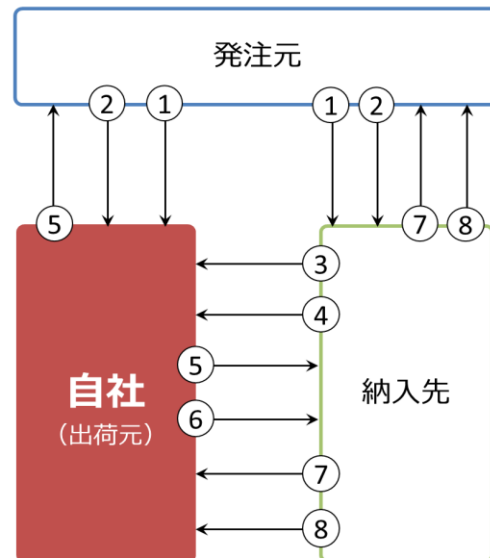
B) 直送支給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	受信	○	○
②	内示	受信	○	○
③	納入指示	受信	○	○
④	納入指示キャンセル	受信	○	○
⑤	出荷実績	送信	○	○
⑥	納期回答	送信	○	○
⑦	受領実績	受信	○	○
⑧	受領実績 返品	受信	○	○



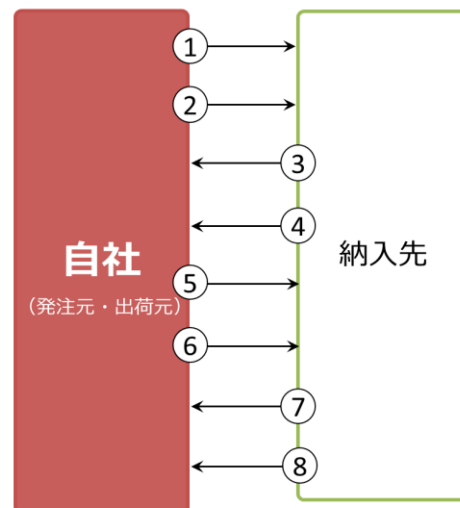
C) 内製支給

右図の矢印は各データの流れです。

「自社」から取得できるデータについては
下記一覧の通りです。

【データ取得一覧】

No.	データ種類	サーバ間	取得可否	
			CSV	外部I/F
①	品番マスタ	送信	○	○
②	支給提示	送信	○	×
③	納入指示	受信	○	○
④	納入指示キャンセル	受信	○	○
⑤	出荷実績	送信	○	○
⑥	納期回答	送信	○	○
⑦	受領実績	受信	○	○
⑧	受領実績 返品	受信	○	○



5. よくある問合せ

下記に記載のない症状については、サポートサイトのよくあるご質問を参照頂くか、サポートデスクへご連絡ください。

出荷	
こんなとき（症状）	どうする（対応方法）
「内示が存在しない」というエラーメッセージが表示され出荷案内を行えない	トヨタWG共通EDIのサポートデスクへお問い合わせください。リカバリを実施し、出荷処理を行えるようにします。
納入先からキャンセルの処理を依頼された	対象品番を未納処理してください。 トヨタWG共通EDIでは、キャンセル時のガイドラインとしまして、納入先と互いに合意を得る目的で、出荷元にて対象品番を未納にさせていただくことを推奨しています。
出荷処理をしたものをキャンセルしたい	出荷処理前の状態に戻すことはできません。 トヨタWG共通EDI上では納入先にて受領まで行っていたき、商流上の企業で、別システムにて管理している実績を訂正していただくか、運用で調整する必要があります。
受注をキャンセルしたい	出荷元でキャンセルすることはできません。 納入先へご相談をお願いします。
未納処理で、挽回日が確定していない場合どうしたらよいか	挽回日は納入の予定日を入力してください。 ※ここで指定した挽回日が未納処理後の納品書番号の納入指示日になります。挽回日は納入指示日以降の日付から指定できますので、ご注意ください。
未納処理の方法が知りたい	トヨタWG共通EDIの分納実行が未納処理になります。 品番に対して、未納数（出荷できない数）・挽回日・便を入力します。 分納実行は、納品書番号に対して、出荷できる数量、出荷できない数量が全て把握できた状態をお願いします。 詳細は下記手順をご確認ください。 (⇒サポートサイト 基本モジュール 4章 3.3項、4.3項)
未納情報の入力を誤ってしまった、登録した未納情報を訂正したい	一度登録した未納情報は訂正することができません。 トヨタWG共通EDI上では納入先にて受領まで行っていたき、商流上の企業で、別システムにて管理している実績を訂正していただくか、運用で調整する必要があります。 ※納品書番号に対して、出荷できる数量、出荷できない数量が全て把握できた状態で、分納実行を行ってください。

分納後に、かんばん・受注明細が発行できない	分納後に、その未納情報に応じたかんばんと受注明細は発行できないため、元々発行している帳票をお使いください。 ※納品書（便チケツト）、受領書は出荷処理を行うと発行できます。
納品書・便チケツト・受領書が発行できない	出荷案内実行後に納品書・便チケツト・受領書が発行できます。
サーマルプリンタでかんばんを印刷したら、帳票サイズが想定していたものと違う	印刷のサイズに関する以下の設定の確認をお願いします。 ● Acrobat Readerの印刷設定 （⇒"運用ガイド_PC設定"の 「2. AcrobatReaderのインストール」 ■ AcrobatReaderの印刷設定） ● サーマルプリンタのドライバの設定 （⇒"運用ガイド_PC設定"の 「3. プリンタドライバのインストールと設定」 2)サーマルプリンタの印刷設定）
かんばんの発行順を変更したい	並び替えの為のキー情報を登録し、そのキー情報に対して並び替え（昇順・降順）の設定を行います。下記手順をご確認ください。 （⇒サポートサイト 基本モジュール 3章 6項）
かんばんに自社の情報を印字したい （前工程エリア）	1) 前工程エリアのレイアウトを設定する （⇒サポートサイト 基本モジュール 3章 4項） 2) 印字する内容を登録する A) Web画面から登録する （⇒サポートサイト 基本モジュール 3章 5項） B) CSVを利用して登録する （⇒サポートサイト 基本モジュール 3章 7項、8項、9項）
受注明細を発行したくない	受注明細を発行しない設定ができます。 （⇒サポートサイト 基本モジュール 3章 2項）
0件納入指示の受注明細を発行したくない	0件納入指示の受注明細のみ発行しない設定ができます。 （⇒サポートサイト 基本モジュール 3章 2項）